マニュアルメニュー

概要	コンソール画面	クライアントの設定
製品の特徴	基本操作	<u>Windows95/98/Meクライアント</u>
製品の機能	メモリモード	<u>WindowsNT/2000/XPクライアント</u>
動作環境	<u>ソフトミラーリングの設定</u>	Macintoshクライアント
マニュアルの表示	ディスクモード	<u>Windowsドメイン/WINS/ブラウジング</u>
<u>動作モードについて</u>		<u>WindowsVista/7/8/10クライアント</u>
設定画面について		
<u>稼動までのステップ</u>	ブラウザ画面	
	接続方法	
	基本設定	その他情報
起動するまでの設定	詳細設定	技術仕様
<u> 起動用USBメモリの設定</u>	<u>ユーザー登録</u>	<u>対応ネットワークカード</u>
<u>製品CD-ROMの作成</u>	<u>グループ登録</u>	<u>対応SCSI/RAIDカード</u>
<u>BIOSの設定</u>	フォルダ登録	<u>リリースノート</u>
<u>システムの起動</u>	<u>プリンタ登録</u>	<u>お問合せ</u>
	<u>コンピュータ登録</u>	
	<u>ステータス</u>	<u>1.8.0-pr4a以前からのアップデート</u>
	<u>バックアップ</u>	
	<u>UPS</u>	
	<u>アクセス制限</u>	
	<u>メンテナンス</u>	
	<u>モニタ</u>	
	<u>シャットダウン</u>	
	ライセンスキー	
	<u>アンチウイルス</u>	



http://www.kirala21.com

←前ページ

↑メニュー

次ページ→

概要-> 製品の特徴

「だいこん」にはインストール作業はありません。CD-ROM、またはUSBメモリから起動し、CD-ROM/USBメモリ上で動作しま す。そのことにより、管理コストを抑え、かつ、安定したサーバーが、「マシンにCD-ROMを入れるだけ」という感覚で、構築で きます。

CD-ROM/USBメモリ駆動

- コストが安く、入れ替えの簡単なCD-ROM、または、機械動作がなく安定動作するUSBメモリのうち、いづれか一方を選ん でご利用いただけます。
- 煩わしく、難しいインストール作業が必要ありません。
- システムそのものが(ソフト的に)壊れることがなく、非常に安定した動作が可能です。
- バージョンアップはCD-ROMを入れ替えるだけ、USBメモリでは簡単な書き換えで、常に最新の環境が得られます。
- CD-ROMであるがゆえのレスポンスの問題は、キャッシングにより解消し、違和感なくご使用いただけます。

🦳 ハードウェアの自動認識

• ネットワークカード、SCSIカードなどは、起動時に自動認識し、必要なドライバは自動的に組み込まれます。

🦳 自由なハードウェア選択

• 一世代前のPCから、SCSI/SAS-RAIDサーバー機まで、お客様の環境に合わせ、自由なハードウェア選択が可能です。

🔵 仮想環境でファイルサーバーの構築

CD-ROMイメージファイル(ISO)から起動するだけで、Hyper-V, VMWarePlyaerなど、仮想環境でファイルサーバーが構築できます。

評価モードについて

「だいこん」は、ご購入前に内容の確認、評価をしていただくことが可能です。

「メモリーモード」での評価では、ハードディスク内容は一切書き換えないため、既存のパソコンで簡単に評価していただけま す。

詳しい手順につきましては、「<u>稼動までのステップ</u>」をご覧ください。



http://www.kirala21.com

↑メニュー

←前ページ

概要-> 製品の機能

次ページ→

本製品は以下の機能を備えています。

	Windowsパソコン
	(NT/95/98/Me/2000/XP/Vista/7/8/10)、 Macintosh(MacOS 7.6-
	9.2.x/MacOS X 10.1-10.4まで)に対して共有フォルダを開放
	し、ファイルを共有することが可能。
ファイルサーバー	また、共有フォルダにはユーザー/グループ毎に、読込/書込の権
	限設定が可能。(ファイル単位の権限設定はできません)
	※Vista/7/8/10から接続する場合、設定変更が必要です。
	「 <u>WindowsVista/7/8/8.1/10クライアント</u> 」参照
FTPサーバー	対Windows/Macintoshと全く同じユーザー認証/権限で、共有
	フォルダに、FTPクライアントからアクセス可能。
	「だいこん」サーバーのパラレルポート接続のプリン
	タ、TCP/IP接続可能な、プリントサーバー接続プリンタを、共
プリントサーバー	有プリンタとして、クライアントへ提供。
	Macintoshに対しては、Postscriptプリンタなど、一部機種につ
	いて共有が可能です。
	ユーザー/グループの登録。
ューザー/グループ管理	ユーザー/グループ毎、共有フォルダの権限設定が可能。
ユーリー/リルーノ官庄	ユーザー/グループは、テキストファイルにより一括登録が可
	能。
ウチバックフップ/同切物	指定曜日、日付、時刻に、共有フォルダ内のデータを自動バッ
	クアップ。
ᅊ	バックアップ先には、ローカルディスク、リモートWindows共
・ローカルティスク	有、リモートFTPサーバーが指定できます。
・リモード Willdows共有	同期指定により、別のマシンをバックアップサーバーとして機
•92-66169-77-	能させることが可能。
毎値電電酒壮罢 (IIDC) 対	シリアル(RS-232C)ケーブルにて、停電信号の得られるUPSで
杰·F·电电标表但(UF3)刘	あればメーカーを問わず対応。停電時、自動的にシャットダウ
μU	ン。
	2台のディスクが接続されていれば、ソフトウェアミラーリン
ディスク2重化/RAID	グが可能。

	対応SCSI/IDE/RAIDカードを使用すれば、ハードウェアRAID	
	も可能。	
	IPアドレス、WINSサーバー、ディフォルトゲートウェイ、DNS	
DHCPJ-//-	サーバーアドレスも配布可能。DHCP機能OFFも可能。	
	ネットワーク上にDHCPサーバーがあれば、自動的にIPアドレス	
	を設定。	
プライマリドメインコント	プライマリドメインコントローラの設定が可能。	
ローラ	Windows2000 Acti v e Directoryは未対応。	
WINSサーバー	WINSサーバー機能	
	ネットワーク上に、Windowsドメインコントローラ、2000、X	
認証の妹々	P (Pro)マシンなどがある場合、認証を委ねることが可能。	
影曲の液口	ネットワーク上の認証を一括管理できます。	
	また、認証は、Windows、Macintosh、FTPで共通化されます。	
	指定フォルダ内のフォルダに対して、ユーザーのアクセス記録	
アクセスログ機能	が保存できます。	
	(Windows/FTP)	
マクトマ生物	管理ツール、Windows、FTPなど、アクセスをローカルネット	
アクセス制限	ワークのみに制限できます。	
エークリング機会	ディスク残量、エラー情報などのモニタリングを行い、問題が	
モニダリング機能	あれば、管理者に自動的にメール送付して知らせます。	
アンチウイルス(オプショ	リアルタイムチェック(Windows,FTP,Macintosh)、定期チェッ	
ン)	クのウイルス感染チェックが可能。	



http://www.kirala21.com

↑メニュー

←前ページ

概要-> 製品の動作環境

本製品は、以下の環境が必要です。

※アンチウイルス機能を使用するには、インターネットにLAN経由で接続した環境が必要です。

※下記条件を満たしていても、動作しない場合もあります。あらかじめテストの上、ご使用ください。

	IBM PC/AT互換機(DOS/Vパソコン)	
	サーバー/デスクトップ/ノートタイプ	
パソコン本体	Hyper-V, VMWarePlayerなど仮想環境。	
	※UEFI起動には対応しておりません。BIOS(Legacy)起動にてご	
	使用ください。	
	※NEC9801シリーズ、Macintoshは未対応。	
	インテル製CPU、Pentium以降	
	(Pentinum,II,III,4,Crelon,Core2Duo,Xeon,Core-i3/i5/i7等)	
	互換CPU(事前に動作確認をお願いします)	
СРИ		
	※アンチウイルス機能を使用する場合	
	Intel Xeon 3040 プロセッサまたは Core2 Duo 1.86 GHz プロ	
	セッサ以上	
	128MB以上	
メモリ	※アンチウイルス機能を使用する場合1GB以上	
	※スワップファイルも利用可能	
キーボード	PS/2タイプ、USBタイプ。 運用時はなくても可。	
マウス	不要	
ディスプレイカード/	VGA(640x480)表示可能なもの(一部液晶ディスプレイでは、日	
ディスプレイ	本語表示ができない場合があります)	
	運用時はなくても可	
	(USBメモリ起動を行う場合は不要)	
	IDE/USB/SATA接続のものが必須。SCSI接続は不可。	
	SATA接続はIntel系チップセットなどに対応。	
	CD-ROMブート可能なもの。	
-	※アンチウイルス機能を使用する場合、DVDの読み込みが必要	
	※仮想環境では、CDイメージファイルから起動可能。物理CDド	
	ライブは不要。	
	USBメモリ起動する場合のみ必要。1GB以上。	

次ページ→

USBメモリ	パソコン本体がUSBメモリ起動に対応していること。	
	※パソコン、USBメモリの組み合わせにより、起動不可の場合も	
	あります。事前に動作確認をお願いします。	
	IDE/SATA/SCSI/SCSI-RAID/SAS/USB	
ハードディフク	(2TBオーバー対応)	
N-171X9	データ保管/バックアップに必要な容量	
	※アンチウイルス機能には4GB程度を使用	
IDE-RAID/SCSI/	PCI/PCI-Express DELL PERC, HP Smart Arrayなど	
SCSI/RAID	※詳しくは、 <u>対応SCSI/RAIDカード</u> をご覧ください	
ネットロークカード	PCI/PCI-Express Intel,Broadcomなど主要なものには対応	
ホットワークカート	※詳しくは、 <u>対応ネットワークカード</u> をご覧ください	



http://www.kirala21.com

↑メニュー

←前ページ

次ページ→

概要-> マニュアルの表示

製品マニュアルは以下の方法でご覧いただけます。

Windows/Macintosh上で製品CD-ROMより

(html)

CD-ROM内、[manual]フォルダのindex.htmlをダブルクリックして、表示させることができます。

(PDF)

製品CD-ROM、[manual]フォルダ内、man_radish.pdf をダブルクリックして、表示させることができます。

(Acrobat Readerが必要)

Windows/Macintosh上へコピーして

(html)

製品CD-ROM内、[manual]フォルダ以下すべてのフォルダ、ファイルをハードディスクなどにコピーすれば、常に参照することが

できます。

(PDF)

[manual]フォルダ内、man_radish.pdfをハードディスクなどにコピーすれば、常に参照することができます。 ※お客様社内でのご利用に限ります。

🥘 「ブラウザ画面」の「マニュアル」より

(html)

「ブラウザ管理画面」の「マニュアル」リンクをクリックすると、マニュアルが表示されます。

🦳 弊社WEBページより

http://www.kirala21.com/radish/manual.html

以下に常に最新版のマニュアルがあります。こちらもご覧ください。



http://www.kirala21.com

←前ページ

↑メニュー

次ページ→

概要-> 動作モードについて

本製品には2種類の動作モードがあり、それぞれ以下の特徴をもっています。

「メモリモード」では、接続されているハードディスクには一切書き込みなどを行わない状態で、システムが動作します。

・ハードディスクのフォーマット、設定

・ハードディスク異常時のディスクのチェック

・製品評価用途(Windowsなど既存OSを書き換えることなく、評価していただけます)

の場合、このモードを使用します。

ディスクモード

「ディスクモード」は、ハードディスクをマウント(接続)した状態で、システムが動作します。 通常の稼動はこのモードでの実行となります。

●モードの切り替え

2つの動作モードは、起動時に自動的に環境をチェックし、ディスク設定などが完了し、「ディスクモード」で動作可能と判断し た場合には、「ディスクモード」で起動し、それ以外では、「メモリモード」で起動します。 現在、どちらのモードであるかは、

1.起動完了後の画面の上部"[MEMORY]/[DISK] mode"の表示

Vegetable [MEMORY] mode ... Ver x.x.x ------[off - shutdown / config - system configuration]

2.起動完了後のビープ音の数 ディスクモード・・・3回 メモリモード・・・5回 ※モニタレス運用を想定して、音だけでわかるようにしています。 3.「ブラウザ画面」下部の表示

のいづれかにて確認できます。

一強制的に「メモリモード」で起動する

ディスク異常時など、ディスクのチェックを行う、あるいは、ディスク設定を変更する場合などでは、強制的に「メモリモード」 で起動することが必要です。

1.起動画面で、"mem"と入力し起動する



※1文字目の入力を、3秒以内に開始してください。遅れると、通常起動となります。

2.コンソール画面メニューでの設定

「#次回「メモリモード」で起動」を実行後、再起動する。



のいづれかにて「メモリモード」にすることができます。



http://www.kirala21.com

←前ページ

↑メニュー

次ページ→

概要-> 設定画面について

本製品を設定するには、製品CD-ROM/USBメモリの稼動するサーバーパソコンに直接つないだ、モニター+キーボードで行う「コンソール画面」と、ネットワーク上のクライアントパソコンのWEBブラウザからの「ブラウザ画面」とがあります。

()コンソール画面

「コンソール画面」では、ディスクのフォーマット、IPアドレスの変更など、当初必要な基本的事項の設定、および、ディスクの チェックなどを行います。

¦ メニュー - ディスクモード¦	
ネットワーク	
# 現在の設定状況	
# IPアドレスの変更	
ディスク	
# 現在の設定状況	
その他	
# 設定情報をフロッピーに保存	
# 設定情報をフロッピーから戻す	
# 設定を初期状態に戻す	
# 次回「メモリモード」で起動	
# コマンド実行	
# バージョン情報	
# ライセンスキーの登録	
#終了	

一旦、稼動をはじめれば、サーバーパソコンには、モニターもキーボードも必要ありません。

特に、本製品では、起動完了時、シャットダウン完了時にビープ音を鳴らし、モニター、キーボードレス運用をやりやすいよう、 工夫がなされています。

※キーボードをはずすと、起動時エラーとなる機種があります。その場合、BIOSにより設定を変更して、エラーを回避できる場合があります。

()ブラウザ画面

「ブラウザ画面」では、ユーザー/グループの登録、フォルダ登録など、日常の運用設定をすべて行います。



ブラウザ画面は、ユーザーID/パスワードで保護され、許可されたもののみ使用することが可能です。 操作は、WEBブラウザがあれば、ネットワーク上のどのパソコンからでも、同様に行うことができます。



http://www.kirala21.com

←前ページ

↑メニュー

次ページ→

概要-> 稼動までのステップ

以下のステップに従って、設定を行ってください。

🥘 通常稼動までの手順

※RAIDカードなどをご使用なる場合、事前にカードBIOSなどで、ディスク構成の設定を終えておいてください。

NO	設定	内容	対応マニュアルページ
		■USBメモリ起動を行う場合	
	USBメモリの設定	USBメモリを起動可能な状態に設定します。	お新田川にマイエリの引つ
•	または、		<u>に朝用USBメモリの設定</u>
U	CD-ROMの作成	■CD-ROM起動を行う場合	
	(起動用FDの作成)	CD-ROMを作成します。	<u> 装品CD-RUMUTF成</u>
		また、必要に応じて、起動用FDを作成します。	
		CD-ROM/USBメモリまたは、起動用FDから、システ	<u>BIOSの設定</u>
1	システム起動	ムを起動します。	
		(メモリモードで起動します)	<u>システムの起動</u>
2	ディスクの初期化	接続されているディスクをフォーマットします。	コンソール画面 <u>メモリモード</u>
2		ディスクをデータ用、バックアップ用に割当てま	
3	アイスク割当て	す。	コンソール画面 <u>メモリモート</u>
4	設定状況の確認	ディスク、ネットワークの設定状況を確認します。	コンソール画面 <u>メモリモード</u>
E	표험해	再起動します。	コンソール画面 <u>基本操作</u>
С	丹起到	(ディスクモードで起動します)	コンソール画面 <u>メモリモード</u>
		初期状態ではDHCPサーバーより取得しようと	
6	ルマドレスの設定	し、DHCPサーバーが見つからない場合、固定	コンソール画面 <u>ディスクモー</u>
U	ドアドレスの設定	(192.168.0.250)アドレスとなります。必要に応じ	<u></u>
		て、設定を変更してください。	
7	ブラウザズの按結	クライアントマシンより、WEBブラウザで接続しま	ブラウザ両面接結士注
/		す。	ノノノリー画面 <u>安和川ム</u>
8	ライセンスキーの登録	ライセンスキーを登録します。	ブラウザ画面 <u>ライセンスキー</u>
0	ユーザー、グループ、共有	七安祥の寝信に合わせ、 必要た登録を行います	ブラウギ両面
9	フォルダなど、各種設定	の各体の境境にロリビ、必要な豆球で1」いより。	ノノノリー回回
10	アンチウイルス機能の	アンチウイルス機能の有効化、アンチウイルス用ラ	ブラウザ両面マンチウイルフ
	有効化(オプション)	イセンスキーの登録を行います。	ノノノク凹凹 <u>ノノノフィルへ</u>
11	アンチウイルス機能の	ウイルス定義ファイルのアップデート、必要な設定	ブラウザ両面アンチウイルフ
	設定(オプション)	をおこないます。	ノノフリ幽囲 <u>ノノナワイル人</u>

()評価使用での手順

本製品は、ご購入前に評価していただけるよう、評価使用機能を備えています。

「メモリモード」での評価

「メモリモード」では、Windows等、既存OSがインストールされているパソコンで、ディスクを一切書き換えることなく、機能 評価していただけます。

・ディスクによるキャッシングが行われないため、CD-ROMの読み込みがより多く発生し、「ディスクモード」による実稼動環境 よりレスポンスが悪くなります。

・ユーザー、共有フォルダなど設定情報は、電源を切ると、消えてしまいます。

・共有フォルダに保存できるのは、2Mバイト程度です。

・アンチウイルス機能は、評価も含め、ご使用できません。

※モードについては、「<u>動作モードについて</u>」をご覧ください。

NO	設定	内容	対応マニュアルページ
		■USBメモリ起動を行う場合	
	USBメモリの設定	USBメモリを起動可能な状態に設定します。	お動用UCDマエリの設守
0	または、		
U	CD-ROMの作成	■CD-ROM起動を行う場合	制品CD-BOMの作成
	(起動用FDの作成)	CD-ROMを作成します。	
		また、必要に応じて、起動用FDを作成します。	
		CD-ROMまたは、起動用FDから、システムを起動し	<u>BIOSの設定</u>
1	システム起動	ます。	
		(メモリモードで起動します)	<u>システムの起動</u>
2	設定状況の確認	ネットワークの設定状況を確認します。	コンソール画面 <u>メモリモード</u>
		初期状態ではDHCPサーバーより取得しようと	
2	IPアドレスの設定	し、DHCPサーバーが見つからない場合、固定	コンソール画面メモリモード
5		(192.168.0.250)アドレスとなります。必要に応じ	
		て、設定を変更してください。	
Д	ブラウザでの接続	クライアントマシンより、WEBブラウザで接続しま	ブラウザ画面 接続方法
		す。	
5_	ユーザー、グループ、共有	お実様の環境に会わせ、必要な登録を行います	ブラウザ画面
-5	フォルダなど、各種設定	05日11ホッシネベルトロ1ノヒ、 20安は豆珠(と1)り(みり。	

「ディスクモード」での評価

通常稼働環境と、全く同一状態でテストしていただけます。

・設定手順は、上記「通常稼動までの手順」と全く同じです。

・評価用ライセンスキーは、弊社sales@kirala21.comまで、ご請求ください。

・評価使用後、正式なライセンスキーを登録すると、それまでの設定、保存ファイルなどはそのまま使用できます。

※モードについては、「<u>動作モードについて</u>」をご覧ください。



http://www.kirala21.com

←前ページ

↑メニュー

次ページ→

起動するまでの設定-> 起動用USBメモリの設定

このページの内容は、USBメモリから起動を行う場合のみが対象です。

CD-ROMから起動する場合、必要ありません。

USBメモリから起動する場合、USBメモリに必要なファイルを入れ、起動可能な状態にする必要があります。 以下の手順に従ってUSBメモリの設定を行ってください。

設定を行うとUSBメモリの内容は<u>すべて消去</u>されます。ご注意ください。

■USBメモリ設定ユーティリティの起動 Windows(2000/XP/Vista/7/8/10)のインストールされているコンピュータに、本製品CD-ROM、使用するUSBメモリを挿入し、CD-ROM内「usb」フォルダ内にある、 [radusb.exe]

をダブルクリックして起動してください。

製品をオンラインダウンロードで入手された場合、解凍したフォルダにあります。

※管理者(Administrators)でログインして実行してください。

※WinowsVistaの場合は、[radusb.exe]上で、マウス右ボタンクリック->「管理者権限で実行」により起動してください。 ※Windows7以降では、管理者権限で実行するための「ユーザーアカウント制御」確認画面が表示されます。

■USBメモリ設定ユーティリティの使用法

定するUSBメモリドライブ (ドライブ情報	USBデバイスを選択)	•
設定タイプ ・ HDDタイプ		
○ 大容量FDDタイプ		
書き込むファイルの指定		
USB起動ファイル(usbbootpa	c)	参照
L CD-ROMイメージファイル(cd.i	so)	参照

─USBメモリドライブ

設定を行うUSBメモリドライブを指定してください。 設定を行うと、内容はすべて消去されますのでご注意ください。

※USBメモリ以外のリムーバブルディスクも一覧には表示されます。 ※USBメモリをPCに挿入しているにも関わらず、表示されない場合、一度プログラムを終了後、再度起動してください。

選択を行うと、「ドライブ情報」に詳細な情報が表示されます。内容をご確認後、次のステップにお進みください。

──USBメモリの設定タイプ

使用するPC、BIOSの設定、USBメモリの容量等の組み合わせ、起動可能なタイプが異なってきます。 どのタイプで起動可能かどうかは、必ずしも確定的ではなく、さまざまお試しいただいた上で、最適な組み合わせを見つけていた だく必要があります。また、どの組み合わせでも、起動不可の場合もあります。

・タイプ1 HDD(ハードディスク)タイプ USBメモリをハードディスクのように扱い、設定を行います。

・タイプ2 大容量FDDタイプ

USBメモリを大容量のFD(フロッピーディスク)のように扱い、設定を行います。

「タイプ1」で起動できない場合、こちらをお試しください。

USBメモリサイズが、2GBより大きい場合、以下のように「2GBに制限する」のチェックボックスが現れます。

設定タイプ	
● HDDタイプ	□ 2G(2制限
○大容量FDDタイプ	

もし、通常の設定で起動不可な場合、このチェックを入れてお試しください。

チェックを入れると、USBメモリを2GBの容量とみなして設定しますので、設定後Windowsなどで表示させた場合、 2Gバイトまでしか使用できなくなります。

※再フォーマットすれば、全容量お使いいただけます。

---技術解説--

タイプ	パーティション	フォーマット
	たし.	○2G以下の場合、「2Gに制限する」指定の場合
1	全容量使田	FAT16
	*1010000000000000000000000000000000000	○上記以外
		FAT32
	あり	○2G以下の場合、「2Gに制限する」指定の場合
2	55 / 第1パーティションのみ使田	FAT16
2	第177 9 7 2 3 2 000 (C用) ※26 制限の場合 26パーティションを作成	○上記以外
		FAT32

─書き込むUSB起動ファイル

本製品CD-ROM内「usb」フォルダ内にある、

[usbboot.pac]

ファイルを指定してください。

製品をオンラインダウンロードで入手された場合、解凍したフォルダにあります。

書き込むCD-ROMイメージファイル

本製品CD-ROM内にある、

[cd.iso]

ファイルを指定してください。

製品をオンラインダウンロードで入手された場合、解凍したフォルダにあります。



設定を行うとUSBメモリの内容は<u>すべて消去</u>されます。ご注意ください。

設定内容を確認後、「処理実行」をクリックしてください。

処理が始まります。

処理中は、画面の指示に従って進めてください。

エラーなく終了すれば、完了です。

設定の完了したUSBメモリを、本製品を稼働させるPCに入れて、ご使用ください。



http://www.kirala21.com

←前ページ

↑メニュー

次ページ→

起動するまでの設定-> 製品CD-ROMの作成

※USBメモリから起動する場合は、以下必要ありません。

製品CD-ROMをイメージファイルでご提供させていただいている場合、また、起動CD-ROMを使用する場合、CD-ROMイメージファイルから、起動可能なCD-Rを作成する必要があります。

通常のデータ書き込みと同じ方法で書き込んでも、起動可能なCD-Rにはなりません。書き込み後、書き込んだファイルと同じ ファイルがCD-R内に書き込まれているだけであれば、書き込み方法は正しくありません。

誤りの例: cd.iso を書き込んだ後、CD-R内に、cd.iso ファイルのみが存在する場合。

CD-ROMは、CD-R装置の接続されている、Windowsパソコンにおいて、以下の方法で作成します。

Windows 7/8の場合

Windows7は、CDイメージファイルの書き込みに対応しており、書き込むファイルをダブルクリックするだけで、書き込む準備ができます。

Windows8では、書き込むファイル上でマウスの右ボタン「ディスクイメージの書き込み」を選択してください。

🕤 Windows ディスク イメージ書き込みツール 🛛 🗮 🏧
ディスク イメージ - cdimage.iso ファイル:
書き込み用ドライブ DVD R ドライブ (D:) ▼ (D):
7.00 × 10
ディスク イメージの書き込みを開始するには。[書き込み] をクリックします。
■書き込み後のディスクの確認(V) ■き込み(E) キャンセル(C)

CDイメージファイルをダブルクリックすると、このような画面が表示されます。

※画面では"cdimage.iso"を使用

CD-Rをドライブに入れ、「書き込み」ボタンをクリックして書き込んでください。

Windows8での「ディスクイメージの書き込み」選択



Windows 7 /8以外の場合

CDイメージファイル(ISO9660フォーマット)の書き込みに対応したCD-Rライティングソフトが必要です。

(多くのソフトウェアは対応しています)

使用中のCD-Rライティングソフトウェアによって、書き込み方法が異なります。詳しくは、お使いのソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

例:

●ULEAD社 WinCDR9: 「トラックイメージからCD の作成」を選択後、ファイルリストに、cd.isoファイルをドロップ

●BHA社 B'sRecorderGOLD8 Security: 画面下部左の「トラックの種類」にcd.isoをドロップして書き込み

●SONIC社 Record NOW! (ver.7): cd.isoを使って、「イメージの書込み」

●NERO社 NERO Express6: cd.isoを使い、「イメージをディスクへ書き込む」

●Roxy社 Easy CD&DVD Creator 6: Creator Classicを使用。cd.isoを使い、「ディスク イメージからディスクに 書き込む」

●Adaptec Easy CD Creator 3.5J: cd.isoを使い、「CDイメージからCDを作成」

書き込みが完了したあと、CD-R内には、書き込んだファイル名がひとつだけの状態ではなく、いくつかの他のファイルが存在することを確認してください。

初めての時は、再度書き込みが可能なCD-RWを使い、お試しいただくとよいかもしれません。

http://www.kirala21.com

←前ページ

↑メニュー

次ページ→

起動するまでの設定-> BIOSの設定

※UEFI起動には対応していません。BIOS(Leacy)起動を有効にして使用してください。

本製品の特徴である、CD-ROM、USBメモリ起動を行うためには、コンピュータのBIOS設定の変更が必要な場合があります。 以下の手順に従って、BIOSの設定を変更してください。初期設定のまま、変更しなくてもよい場合も多くあります。

※以下、Phoenix社のAward BIOSを例に説明します。機種、メーカーにより、内容は異なりますので、詳しくは、コンピュータの マニュアルをご覧いただくか、メーカーにお問合せください。

BIOSセットアップユーティリティの起動

(D2L):B10S_Setup/Q-Flash (F9):XpressRecovery2 (F12) 11/22/2007-633-10H9-6A7906010-00

コンピュータの電源を入れ、起動するまでに、「Press DEL to enter SETUP」と表示され手いる間に、[Delete]キーを1回押してください。

(メーカーによっては、F1、F2、その他複数キーの組み合わせの場合があります。)

一起動優先順位の設定

CD-ROM、USBメモリから起動させるため、ハードディスクよりもそれらの優先順位を高くする必要があります。

CHOS Setup Utility - Copyright ((Standard CHOS Features Advanced BIOS Features Integrated Peripherals Power Management Setup PnP/PCI Configurations

「Advanced BIOS Features」を選択し [Enter] キーを押します。

🦲CD-ROM起動を行う場合、「First Boot Device」において、CDROMを選択します。

CMOS Setup Utility Copyright (C) 1984-2887 Award Advanced BIOS Features			fuard
Hard Disk Boot Pri First Boot Device	ority (Press (CDRO)	Enter]]	
Second Boot Device Third Boot Device	triopp [Hard	gj Diskl	ffei
HDD S.M.A.R.T. Ca Limit CPUID Max.	First Boot De	vice	
No-Execute Memory	Floppy	····· 11	1
CPU Thermal Monit	Hard Disk	arrest I I	
CPU EIST Function Full Screen LOGO	CORON 21P	[1]	
Init Display Firs Onboard VGA	USB-FDD USB-21P	\dots $\begin{array}{c} 1 \\ 1 \\ \dots \end{array}$	
On-Chip Frame Buf	USB-CBROM		Ű.

OUSBメモリ起動を行う場合、「First Boot Device」において、USB-HDDを選択します。

※メーカーにより、表記が異なる場合があります。また、「USB-ZIP」「USB-FDD」などで動作する場合があります。

CHOS Setup Uti	ility - Copyri Advance	ght (C) 1984-289 d BIOS Features	87 Award
+ Hard Disk Boot Pri First Boot Device	iority (Pres (USB-)	s Enter] HDD]	
Second Boot Device Third Boot Device Researd Chark	l Flop (Hard	py] Disk]	ffes
HDD S.M.A.R.T. Ca Limit CPUID Max.	First Boot D	evice	
No-Execute Memory CPU Enhanced Halt	COROM 21P	····· []	1
CPU EIST Function Fall Screen LOGO	USB-FDD USB-21P USB-CDROM		
Init Display Firs Onboard UGA Do-Chin France Bud	USB-HDD Legacy LAN	[1]	

●USBメモリの有効化の設定(USBメモリ起動を行う場合のみ)

USBメモリが一切認識されない場合、以下のようなUSB関係の設定が行われていない場合があります。

この例では、緑下線部分を有効「Enabled」にする必要があります。

CHOS Setup Utility - 1 In	Copyright (C) 1984-2 ntegrated Peripheral
SATA RAID/AHCI Mode	[Disabled]
SATA Port8-3 Native Mode	[Enabled]
USB Controller	[Enabled]
USB 2.0 Controller	[Enabled]
USB Keyboard Support	[Disabled]
USB Mouse Support	[Disabled]
Legacy USB storage detect	[Enabled]
Azalia Codec	[Auto]
Onboard H/H LAN	[Enabled]
E SHORT LON	[Broon Pater]

「Save & Exit Setup」を選択し、設定値を保存します。

以下確認画面では[Y](Yes)を押してください。



〇以上で、CD-ROM/USBメモリから起動できるようになります。

※CD-ROMは、基本的に多くのIDE/USB/SATAのものに対応していますが、基本チップセット以外の付属コントローラ接続による IDE、SATAなどには対応していません。また、対応外のものもあります。

※USBメモリ起動は、BIOSによりさまざまな設定があり、また、USBメモリ(容量、型番)などとの組み合わせにより、すべての PC、USBメモリの組み合わせで起動が可能ではありません。起動不可の場合もあります。

●他BIOSの例

例1:動優先順位を、CD-ROM→USBメモリとする



例2:起動優先順位を、CD-ROMとする

Boot Device Priority	
1st Boot Device	(CD/DVD Drives)
2nd Boot Device	[Removable Drives]
3rd Boot Device	[Hard Disk Drives]
4th Boot Device	[Network:IBA GE Slo]
Boot from Other Device	[Yes]

例3:USBメモリの有効化の設定

Top of Usable Memory USB 1.1 Controller USB 2.0 Controller Legacy USB Support	[Auto] [Enabled] [Disabled] [Enabled]
USB 2.0 Controller Legacy USB Support	[Disabled] [Enabled]
LAN Controller	LEnabledJ
Network Boot Agent	[Enabled]
Audia Controllor	(Frashlad)



http://www.kirala21.com

←前ページ

↑メニュー

次ページ→

起動するまでの設定-> システムの起動

一起動

コンピュータに製品CD-ROM/USBメモリを入れ、電源を入れます。

システムが起動し、以下のような画面になります。

記動画面にならない場合

・起動しない、あるいは、ハードディスクにインストールされているOSが起動する場合、BIOSの設定をご確認ください。

・起動時、CD-ROM/USBメモリから起動するかを確認する機種もあります。その場合、CD-ROM/USBメモリ起動を指示するか、FD起動にてご使用ください。



通常は、何も操作しなくても、3秒後に自動的に起動の処理にはいります。

強制的に「メモリモード」で起動させる場合、ここで3秒以内(1文字目を入力するのを)に、

boot: mem

memと入力し、[enter]を押してください。

──起動の完了

※定期的にディスクのチェックプログラム(WindowsでいうScanDisk)が動作するため、起動時に時間がかかる場合があります。

※起動モードについては、「動作モードについて」をご覧ください。

「メモリモード」の場合、ビープ音が5回鳴ったあと、下記画面となります。



「ディスクモード」の場合、ビープ音が3回鳴ったあと、下記画面となります。

Vegetable [DISK] mode ... Ver x.x.x

[off - shutdown / config - system configuration]

vegetable>

記動が完了しない場合

起動が完了しない場合、以下のような理由が考えられます。

(ストップした個所までのメッセージをご連絡ください)

・ハードウェアが本製品に対応していない。

※Athlon CPUなどは対応しておりません。

※その他マザーボード、周辺機器の非対応。

※周辺機器については、一度はずしてお試しください。

※CD-ROMはIDE/USB/SATA接続のみ対応しています。また、対応外のものもあります。

・メディアの障害(CD-ROM、USBメモリ、FD)

・その他ハードウェアの障害



http://www.kirala21.com

↑メニュー

次ページ→

←前ページ

コンソール画面-> 基本操作

コンソール画面は、本製品を稼動させるパソコンに、直接つないだモニター、キーボードで操作する画面です。 ※しばらく、何も操作しないで放置すると、スクリーンセーバー機能が働き、画面には何も表示されなくなります。その場合、 キーボードより、何かキー入力を行うことにより、画面が復旧します。

起動完了後、以下の画面になります。

※ディスクモード時・・・ Vegetable [DISK] mode メモリモード時・・・Vegetable [MEMORY] mode の表示

Vegetable [DISK] mode ... Ver x.x.x ------[off - shutdown / config - system configuration] vegetable>

シャットダウン操作vegetable>のところにキーボードより

vegetable>off[enter]

(off入力後[enter]キー)

とすると、

really shutdown computer? (Y/N):

と確認を求めますので、ここで、本当にシャットダウンしていい場合、Y[enter]、キャンセルする場合、N[enter]、を入力してください。

シャットダウンの処理が進行し、ビープ音が4回鳴った後、以下の画面が出るのを確認して、電源を切ってください。

または、ctrl+alt+deleteのキー操作によっても、シャットダウンされます。モニターレス運用時便利です。



一設定画面

vegetable>のところにキーボードより

vegetable>config[enter] (off入力後[enter]キー)

とすると、以下のような設定画面が出ます。

※一部の液晶ディスプレイなどでは、画面の一部が掛けたり、きれいに表示されない場合があります。

その場合、configの代わりに、configeと入力してください。

表示は英語となりますが、機能的には全く同じ画面が表示されます。

¦ メニュー - ディスクモード¦
ネットワーク
現在の設定状況
IPアドレスの変更
ディスク
現在の設定状況
その他
設定情報をフロッピーに保存
設定情報をフロッピーから戻す
設定を初期状態に戻す
次回「メモリモード」で起動
コマンド実行
バージョン情報
ライセンスキーの登録
終了

キー操作は、 矢印キー[←→↑↓]:メニュー、項目の選択 [TAB]/[ALT]+[TAB]: 項目間の移動 [enter]: 入力、実行 [space]: チェック項目のチェック/解除



http://www.kirala21.com

←前ページ

↑メニュー

次ページ→

コンソール画面-> メモリモード



i ノーユー - ノモリモー ドi	-
#現在の設定状況	
# IPアドレスの変更	
ディスク	
# 現在の設定状況	
# ディスクの初期化	
# ディスクの割当て	
# ディスクの検査	
# ミラーリングの設定/復旧	
# コマンド実行	
# バージョン情報	
# 終了	

---ネットワーク---

●現在の設定状況

ネットワークの設定状況を表示します。

内容としては、「コンソール画面(ディスクモード)」と同じです。

●IPアドレスの変更

IPアドレスの変更、DHCPクライアントの設定を行います。 内容としては、「コンソール画面(ディスクモード)」と同じです。

ただし、「メモリモード」でのIPアドレスの変更は、「メモリモード」での評価使用ためのもので、内部的に設定値は保存され ず、コンピュータを再起動すると、初期値に戻ります。

---ディスク--

●現在の設定状況

ディスク、ディスクの割当て、SCSI/RAIDカードの状況を表示します。

接続されているディスク:

PCI/ストーレッジデバイス:

この2つの内容は、「コンソール画面(ディスクモード)」と同じです。

ディスクの状況:

ディスクの設定状況を表示します。

・領域本製品で使用可能な領域(パーティション)が存在する場合"O"、ない場合"X"。

・初期化本製品で使用可能な状態で初期化されている(Linux ext2/ext3)場合"O"、ない場合"X"。

・ミラー ソフトウェアミラーリングが設定されている場合、その2つのディスクに"O"がつきます。

・割当て ディスクの割当て状況を表示します。data:データ保存用、backup1/backup2:バックアップ1/2用

設定状況チェック:

[OK]・・・ディスクの初期化、割当てが行われ、ディスクの設定が完了している場合。

[エラー]・・・ディスクの設定が完了していません。

※<u>ここがOKでない場合、「ディスクモード」での起動はできません。</u>

接続されているディスク				
[1]IC35L040AVVA07-3(33.0GB)				
[2]ST320011A(19.6GB)				
[3]QUANTUM FIREBALL ST3.2A(3.2GB)				
ディスクの状況				
Disk 領域 初期化 サイズ ミラー 割当て				
[1] O O 33GB data				
[2] O O 19GB backup1				
[3] O O 3.1GB backup2				
設定状況チェック				
[OK]				
PCI/ストーレッジデバイス				
Other: [10b9][5229][10b9][5229]				
SCSI: Adaptec¦AIC-7861				
OK				



()ディスクの初期化

接続されているディスクを初期化(フォーマット)します。

ディスクの内容はすべて消去されますので、ご注意ください。

※ディスク全体をひとつのパーティションとして確保し、Linux ext3フォーマットを行います。



[↓][↑]キーで、初期化するディスクを選択したあと、[tab]キーで[OK]にカーソルを送り、[enter]キーを押します。 次の「実行します」という確認画面で、実行する場合は[OK]、キャンセルする場合は[CANCEL]を選択。

●ディスクの割当て

初期化されたディスクに対し、その使用法を割当てます。

既に運用を開始している環境で、ディスクの割当てを変更する場合、必ず、<u>外部にデータのバックアップを取ってから</u>、処理を 行ってください。

基本的に、割当ての変更されなかったディスクの内容は保持されますが、操作手順に問題があった場合、あるいは、割当てが変更 された場合には、内容が消去されます。

・[データ]ディスク

共有フォルダはすべて、このディスクに作成されます。データを保存するディスクを選択してください。

・[バックアップ1][バックアップ2]ディスク

本製品は、ローカルディスクに対し、2セット、別のバックアップイメージを保持できるように作成されております。

複数台のディスクが接続されている場合、別のディスクにバックアップを保持するよう設定してください。

また、ディスクが1台しかない、あるいは、バックアップを取らない場合でも、いづれかのディスクに対して、割当ては行ってください。

例:ディスクが3台 データ・・・[1] バックアップ1・・・[2] バックアップ2・・・[3]

※ディスク[2][3]は[1]と同容量以上であれば、全容量、2セットのバックアップが保持できます。

例:ディスクが2台

データ・・・[1]

バックアップ1・・・[2]

バックアップ2・・・[2]

※ディスク[2]は[1]の2倍容量あれば、全容量、2セットのバックアップが保持できます。

※ディスク[2]は[1]と同程度の容量であれば、割当ては行いますが、運用として、1セットのみのバックアップとします。

例:ディスクが1台

データ・・・[1]

バックアップ1・・・[1]

バックアップ2・・・[1]

※同じディスクへのバックアップとなるため、消去データの復旧などは可能ですが、RAID構成でないかぎり、ディスクのク ラッシュの場合、復旧できません。



[tab]キーで、設定する項目へ移動し、[↓][↑]キーで、ディスクを選択してください。 [tab]キーで[OK]にカーソルを送り、[enter]キーを押します。 次の「実行します」という確認画面で、実行する場合は[OK]、キャンセルする場合は[CANCEL]を選択。

||●ディスクの検査/修復

ディスク状態の検査、修復を行います。

(※Windowsのスキャンディスクに相当します。Linux/fsck)

コンピュータの電源がシャットダウン処理せず落ちてしまったとき、長期間電源ONのまま運用した場合などは、システム起動時、自動的にディスクのチェックが行われます。

もし、ディスクの状態に問題があるとき、軽度の障害については、自動的に修復されますが、修復できない場合、この処理で修復 する必要があります。

この処理では、接続されているすべてのディスクについて検査/修復が行われます。

・自動修復ONでの検査/修復

通常はON[*]の状態で行ってください。問題があった場合、自動的に修復を試みます。

ただし、1回の修復処理では、修復しきれない場合も多く、その場合、2-3回、自動修復ONで処理を行ったあと、最後に自動 修復OFFで実行してください。

・自動修復OFFでの検査/修復

エラーメッセージが確認できるため、より確実に状況をつかむことができます。 処理の過程で

.....Fix?

というメッセージが出ることがあります。この場合、Yと入力してください。

最終的に1つもエラーメッセージが出なくなるまで、繰り返して実行してください。



終了時のメッセージ

エラー:エ致命的なエラーがあります/もう一度実行してください・・・もう一度実行してください。 エラー:エラーがまだ残っています/もう一度実行してください・・・もう一度実行してください。

エラー:エラーは修復されました/もう一度実行して確認してください・・・もう一度実行してください。

確認:ディスクの検査は終了しました・・・エラーがない場合のメッセージ。

何度行ってもエラーがなくならない場合、ディスクの障害か、修復不可能なファイルシステム障害の可能性があります。ファイル システム障害の場合、初期化を行えば(内容は消去されます)修復可能ですが、ディスクの障害の場合、ディスクの交換が必要で す。どのディスクが障害を起こしているかを特定する方法ですが、ディスク名としてvghda,vghdb....などが表示されていますの で、この名前から特定します。vghda,vghdb...などの最後の文字は、接続されているディスク毎a,b,c,dと順に振られています。 この順はコンソールでのメニュー、ディスクの「現在の設定状況」で表示されるディスクの順序と一致します。

●ミラーリングの設定/復旧

ほぼ同容量のディスクが2台接続されている場合、ソフト的にミラーリング(2重化)を行うことができます。 詳しくは、「ソフトミラーリングの設定」をご覧ください。

()コマンド実行

指定のコマンドを実行します。

「実行するコマンドの指定」でコマンドを指定し、必要なパラメータを「パラメータの指定」に入力後「OK」で実行されます。 終了後、[enter]キーでメニュー画面に戻りますが、戻らない場合[ctrl+C]により処理を中断後、[enter]で戻ります。



• ping

指定のアドレスまでパケットが届いているか確認することができます。

パラメータ指定

192.168.0.1, www.kirala21.com など。

パケットが届いている場合の出力例 64 bytes from 192.168.0.250: icmp_seq=1 ttl=2.5 time=1.17ms 64 bytes from 192.168.0.250: icmp_seq=2 ttl=2.5 time=1.17ms ...

パケットが届いていない場合の出力例

from 192.168.0.250 icmp_seq=1 Destination Host Unreachable

パケットが届いていない場合の出力例

ctrl+cで中断後

5 packets transmitted, 0 received, 100% loss, time 4010ms

バージョン情報
システムのバージョンNOなどを表示します。

○終了

メニューを終了させます。



http://www.kirala21.com

←前ページ

↑メニュー

次ページ→

コンソール画面-> ソフトミラーリングの設定(メモリモード)

ソフトウェアミラーリングは、特別なハードウェアを使用せず、ソフト的に2台のディスクをミラーリングする方法です。 ハードウェアミラーリングに比べ、CPUで処理し、2台のディスクにそれぞれ書き込みの処理を行う分、多少パフォーマンスの劣 化があります。また、障害時、ハードウェアミラーリングよりも、復旧の操作が複雑になります。

ミラーリングする場合の設定手順は

- ・「ミラーリングの設定/復旧」「ミラーを新たに作成」
- ・「ディスクの割当て」
- ・「設定状況の確認」

となります。

「ミラーリングの設定/復旧」では、以下のような設定画面となります。

ミラー構成されたディスクが存在しない時



ミラー構成されたディスクが存在する時



●ミラーを新たに作成

2台のほぼ同容量のディスクが接続されている時、その2台を使用して、ソフトウェアミラーリング構成とします。

※2台のディスクは初期化する必要はありません。

※2台のディスクの内容はすべて消去されます。

※2台のサイズが異なるとき、小さい方のサイズでミラー構築されます。



[↓][↑]キーで、[マスタ]ディスク、[スレーブ]ディスクを選択したあと、[tab]キーで[OK]にカーソルを送り、[enter]キーを押します。

次の「実行しますか?」という確認画面で、実行する場合は[YES]、キャンセルする場合は[CANCEL]を選択。

構築中は、画面下部にさまざまなメッセージが表示されたのち、下記のような画面となり、処理進行状況が表示されます。 この%が100になるまで、そのままお待ちください。

[resync = 27.4% (884416/3140800) finish=7.3min speed=5345K/sec]

※しばらくすると、スクリーンセイバーが働いて、画面が消えることがあります。その場合、スペースキーなど、なにかキーを押 してください。

※ディスク容量に依存しますが、この処理には、数10分から、数時間かかります。

()ミラーを[マスタ]ディスクから復旧

ミラーディスクの1台が故障した場合など、ミラーの1台を入れ替えた場合などに使用します。 以前使用していた、ミラーディスクの1台[マスタ]を元に、今回入れ替えた[スレーブ]ディスクをミラーとして組み込み、ミラーリ ングを復旧します。 ※[マスタ]ディスクは、以前にミラーとして作成されたものでなくてはなりません。 ※単独で使用していたディスクを[マスタ]として、ミラーの構築はできません。 ※[スレーブ]ディスクの内容はすべて消去されます。 ※[スレーブ]ディスクサイズは、[マスタ]以上でなくてはなりません。



[↓][↑]キーで、[マスタ]ディスク、[スレーブ]ディスクを選択したあと、[tab]キーで[OK]にカーソルを送り、[enter]キーを押します。

次の「実行しますか?」という確認画面で、実行する場合は[YES]、キャンセルする場合は[CANCEL]を選択。

エラー:[マスタ]よりミラー起動できません。[マスタ]は、ミラーの1台として設定されたものでない可能性があります。

のメッセージは、[マスタ]が以前ミラーとして作成されたものでない場合出ます。

指定の2台でミラー構成としたい場合、「ミラーを新たに作成」を使用してください。ただし、ディスクの内容は消去されます。

構築中は、画面下部にさまざまなメッセージが表示されたのち、下記のような画面となり、処理進行状況が表示されます。 この%が100になるまで、そのままお待ちください。

[recovery = 27.4% (884416/3140800) finish=7.3min speed=5345K/sec]

※しばらくすると、スクリーンセイバーが働いて、画面が消えることがあります。その場合、スペースキーなど、なにかキーを押 してください。

※ディスク容量に依存しますが、この処理には、数10分から、数時間かかります。

●既存ミラーディスクの分離

現在ミラー構成されているディスクを分離し、単独のディスクとして使用できるようにします。 分離処理だけでは、ディスクの内容は維持されます。 ただし、ミラーリング時、小さい方のサイズに合わせて領域がとられているなど、ディスクの容量を使い切れていない場合があり ます。

一度分離してしまうと、再度ミラー構成とするには、「ミラーを[マスタ]ディスクから復旧」を行ってください。

○終了

メニューを終了させます。



http://www.kirala21.com

←前ページ

↑メニュー

次ページ→

コンソール画面-> ディスクモード



¦ メニュー - ディスクモード¦ ネットワーク # 現在の設定状況 # IPアドレスの変更 ディスク # 現在の設定状況 その他 # 設定情報をフロッピーに保存 # 設定情報をフロッピーから戻す # 設定を初期状態に戻す # 次回「メモリモード」で起動 # コマンド実行 # バージョン情報 # ライセンスキーの登録
ネットワーク # 現在の設定状況 # IPアドレスの変更 ディスク # 現在の設定状況 その他 # 設定情報をフロッピーに保存 # 設定情報をフロッピーから戻す # 設定を初期状態に戻す # 次回「メモリモード」で起動 # コマンド実行 # バージョン情報 # ライセンスキーの登録
現在の設定状況 # IPアドレスの変更 ディスク # 現在の設定状況 その他 # 設定情報をフロッピーに保存 # 設定情報をフロッピーから戻す # 設定情報をフロッピーから戻す # 設定を初期状態に戻す # 次回「メモリモード」で起動 # コマンド実行 # バージョン情報 # ライセンスキーの登録
<pre># IPアドレスの変更ディスク # 現在の設定状況その他 # 設定情報をフロッピーに保存 # 設定情報をフロッピーから戻す # 設定を初期状態に戻す # 次回「メモリモード」で起動 # コマンド実行 # バージョン情報 # ライセンスキーの登録</pre>
ディスク # 現在の設定状況 その他 # 設定情報をフロッピーに保存 # 設定情報をフロッピーから戻す # 設定を初期状態に戻す # 次回「メモリモード」で起動 # コマンド実行 # バージョン情報 # ライセンスキーの登録
 # 現在の設定状況 その他 # 設定情報をフロッピーに保存 # 設定情報をフロッピーから戻す # 設定を初期状態に戻す # 次回「メモリモード」で起動 # コマンド実行
その他 # 設定情報をフロッピーに保存 # 設定情報をフロッピーから戻す # 設定を初期状態に戻す # 次回「メモリモード」で起動 # コマンド実行 # バージョン情報 # ライセンスキーの登録
 # 設定情報をフロッピーに保存 # 設定情報をフロッピーから戻す # 設定を初期状態に戻す # 次回「メモリモード」で起動 # コマンド実行
設定情報をフロッピーから戻す # 設定を初期状態に戻す # 次回「メモリモード」で起動 # コマンド実行 # バージョン情報 # ライセンスキーの登録
設定を初期状態に戻す # 次回「メモリモード」で起動 # コマンド実行 # バージョン情報 # ライセンスキーの登録
次回「メモリモード」で起動 # コマンド実行 # バージョン情報 # ライセンスキーの登録
コマンド実行 # バージョン情報 # ライセンスキーの登録
 # バージョン情報 # ライセンスキーの登録
バージョン情報 # ライセンスキーの登録
ライセンスキーの登録
#終了

---ネットワーク---

(の)現在の設定状況

ネットワークの設定状況を表示します。

ステータス:

ネットワークカードを正しく認識し、IPアドレスが割当てられている場合、ステータス:OKとなります。

ステータスがエラーの場合、装着されているネットワークカードが本製品対応外である(確認は、この画面にある、card IDを弊社 までお知らせください)、IPアドレスが正しく設定されていない場合などです。

エラーの場合、ファイルサーバーとしての機能は一切動作しません。

インターフェース、IPアドレス、サブネットマスク: 現在の設定情報です。IPアドレスに(自動設定)とある場合、DHCPサーバーにより、自動的に割り振られた値であることを示し PCIネットワークカード自動設定:

認識している、ネットワークカード名を表示します。この名称は必ずしも、カードの型名とは一致しません。 card ID:は、カードのPCI-IDです。ネットワーク設定がおかしい場合、このID番号を弊社までお知らせください。



○IPアドレスの変更

IPアドレスの変更、DHCPクライアントの設定を行います。 この機能は、「ブラウザ設定画面」にもあります。 この画面による設定は、クライアントからアクセスできない場合のみ行ってください。 また、ここでアドレス変更した場合、DHCPサーバー機能は、停止します。 (これは、十分な設定が行えないための措置です。)

IPアドレスの自動取得:

スペースキーでON/OFFを切り替えます。

ON(*)にすると、DHCPクライアントとして、システム起動時に、DHCPサーバーを検出し、見つかると、IPアドレス、デフォルト ゲートウェイなどを、自動的にDHCPサーバーより取得します。

ONになっているのにもかかわらず、DHCPサーバーが見つからない場合、固定IPアドレス(192.168.0.250)が設定され、起動します。

現在のIPアドレス、サブネットマスク: 現在設定されている値です。

新しいIPアドレス: IPアドレスを自動取得しない場合のみ、入力してください。 入力値を有効にするには、「OK」、無効にして終了する場合「CANCEL」にカーソルを合わせ、[enter]を押してください。

※Macintosh接続サービスを設定している場合、サービスの再起動が完了するまで、1分程度かかります。その間、IPアドレスの変更処理を何度もかけないようにしてください。



---ディスク--

同現在の設定状況

ディスク、SCSI/RAIDカードの状況を表示します。

接続されているディスク:

現在システムが認識しているディスクの型式と、容量です。

先頭の数字が[x]でくくられているものは、IDE接続のディスク、<x>でくくられているのはSCSI接続のものです。

接続されているのにここに表示されていない、あるいは容量が正しくない場合、ご使用のハードウェア環境で使用できない、ある いは、本製品対応外のデバイスです。ただし、表示されるのは、最大4台までです。

PCI/ストーレッジデバイス:

コンピュータに接続されているIDEコントローラ、SCSIコントローラなどのデバイスです。

Other: [xxxx][xxxx][xxxx][xxxx]

と表示されているものは、通常のIDEコントローラで、特別のドライバが必要のないもの、あるいは、本製品で対応外のデバイスです。

正しく認識されないSCSIカードなどがある場合、この番号を弊社までご連絡ください。

SCSI: Adaptec¦AIC-7861		
	ОК	

---その他--

一設定情報をフロッピーに保存

「コンソール画面」「ブラウザ画面」で設定した、ユーザー、グループ、共有フォルダ、ライセンスキー、IPアドレス、バックアップ設定など、設定情報を、フロッピーディスクに保存する処理です。

設定情報のバックアップとして、また、新たにサーバーを作成するとき、全く同じ内容で移行するために使用することができます。

※保存された情報は、Windowsで読めるテキストファイルです。テキストファイルを編集することも可能ですが、あくまで、お客様責任での運用となります。また、製品バージョンによって内容が異なります。

※「<u>ブラウザ画面(メンテナンス)</u>」「設定情報の保存/復旧」で使用されるファイルと、ここで使用される設定情報ファイルは 同一のものです。



2HD (1.44MB)フロッピーディスクを入れ、「OK」を押してください。

「2HDフロッピーディスクを入れてください」では、FDを入れてから「OK」

「初期化しますか?(MS-DOSフォーマット)」では、 フォーマットの必要がある場合・・・「OK」 フォーマットの必要がない場合・・・「No」 処理をキャンセルする場合・・・「Cancel」

「保存は終了しました」のメッセージが出れば、完了です。

一設定情報をフロッピーから戻す

「設定情報をフロッピーに保存」で保存したフロッピーディスクより、設定情報をシステムに戻します。戻した場合、現在の設定 情報はすべて上書きされ、フロッピーディスクに保存された内容に置き換わってしまうので注意してください。 これは、以前の設定状態に戻す、システム故障時に復旧する、別マシンを同じ設定情報で設定する、場合などに使用します。



設定情報を保存したフロッピーディスクを入れ「OK」を押してください。

「設定情報を保存したフロッピーディスクを入れてください」では、FDをいれてから「OK」

「設定情報の復旧は、終了しました」のメッセージが出れば、完了です。 次に「設定を有効にするには、コンピュータを再起動してください」とのメッセージが出ます。 今「復旧」した情報は、次回再起動するまで別枠で保持されます。 通常の手順でシステムを再起動してください。

一設定を初期状態に戻す

現在設定されている、ユーザー、グループ、アドレス、共有、バックアップなど、すべての情報を消去し、初期状態に戻します。 ただし、保存されているデータ、バックアップのデータは消去されません。

データも含め、すべてを削除する場合、「メモリーモード」において「ディスクの初期化」を行ってください。



実行してよろしければ「OK」を押してください。

「設定は初期状態に戻されました」のメッセージ、「設定を有効にするには、コンピュータを再起動してください」のメッセージ が出て、それぞれ「OK」を押せば完了です。

コンピュータを再起動すると、初期状態にもどります。

〇次回「メモリモード」で起動

次回起動時、強制的に「メモリモード」で起動させます。 ※モードの違いについては「<u>動作モードについて</u>」をご覧ください。

◎コマンド実行

指定のコマンドを実行します。

「実行するコマンドの指定」でコマンドを指定し、必要なパラメータを「パラメータの指定」に入力後「OK」で実行されます。 終了後、[enter]キーでメニュー画面に戻りますが、戻らない場合[ctrl+C]により処理を中断後、[enter]で戻ります。



• ping

指定のアドレスまでパケットが届いているか確認することができます。

パラメータ指定

192.168.0.1, www.kirala21.com など。

パケットが届いている場合の出力例

64 bytes from 192.168.0.250: icmp_seq=1 ttl=2.5 time=1.17ms

64 bytes from 192.168.0.250: icmp_seq=2 ttl=2.5 time=1.17ms

•••

パケットが届いていない場合の出力例

from 192.168.0.250 icmp_seq=1 Destination Host Unreachable

パケットが届いていない場合の出力例

ctrl+cで中断後

5 packets transmitted, 0 received, 100% loss, time 4010ms

〇バージョン情報

システムのバージョンNOなどを表示します。

ライセンスキーの登録

● ライセンスキーを登録します。内容としては、「ブラウザ画面」から行うのと全く同じです。 ライセンスキーを入力して「OK」を選択してください。 ライセンスキーが正しくないと、

「ライセンスキーが正しくありません」のメッセージがでます。再度ご確認の上、入力してください。



○終了

メニューを終了させます。



http://www.kirala21.com

←前ページ

↑メニュー

次ページ→

ブラウザ画面-> 接続方法

「コンソール画面」による設定が終了後、本製品の詳細な設定は、すべて「ブラウザ画面」で行います。

一クライアントの設定

「ブラウザ画面」でサーバーに接続するには、クライアントパソコン(Windows,Macintosh)は、以下のように設定してください。

・本製品が動作するサーバーと、ネットワークで接続されている。

・サーバーと通信ができるよう、TCP/IPが正しく設定されている。(IPアドレス、ネットマスク、ゲートウェイなど)

- ・インターネットエクスプローラ、NetscapeなどのWEBブラウザがインストールされている。
- ・サーバーとの間でポート80のフィルタリングが行われていない。

ブラウザからのアクセス

ブラウザを起動し、アドレスとして、サーバーのIPアドレスを以下のように入力し[enter]を押します。

アドレス(D) http://192.168.0.250/

※IPアドレスは、「コンソール画面」の「---ネットワーク---」「現在の設定状況」にて確認できます。 ※Windowsにおいては、本サーバーのコンピュータ名を使用して、http://[コンピュータ名]、でもアクセスできます。

次に、以下のようにユーザー名/パスワードを聞いてきます。

ここで、初期状態では、ユーザー名:admin、パスワード: (入力なし)で、[OK]をクリックしてください。

※adminのパスワードは「ユーザー登録」で変更できます。

※「ブラウザ画面」は、「ユーザー登録」で、「管理者にする」チェックをいれたユーザーと、adminだけがアクセスできます。

192.168.253.102 に接	続	? ×
7		A ST
RadishAdminTool		
ユーザー名心	🖸 admin	¥
パスワード(<u>P</u>):		
	□ バスワードを記憶する	B
	ОК	キャンセル

以下のように、「ブラウザ画面」が表示されます。

画面左、縦にメニューボタンがあります。これらをクリックして、目的の設定画面を表示させてください。





http://www.kirala21.com

←前ページ

↑メニュー

次ページ→

ブラウザ画面-> 基本設定

コンピュータ名、日時など、基本的な項目を設定します。

項目を入力したあと、「登録/更新」ボタンを、押してください。

※「更新/登録」により、接続が切断される場合があります。更新前に、ユーザーの使用状況をご確認ください。

コンビュータ名	VEGETABLE		※半角英数15文字まで	
コンピュータの説明	vegetable		※32バイトまで	
ワークグループ名	WORKGROUP		※半角英数15文字まで	
FTPサーバー	● 設定する ○ 設定し	ない		
Macintosh接続	○ 設定する ◎ 設定しない			
ー般ユーザー向け画面 いパスワード変更)	○ 設定する ④ 設定しない			
ᆁᆓᅭᄆᄨ	○ 変更する ● 変更し	ない		
- 現4主の口 1号	2008年2月25日22時28分			
オートパワーOFF	○ 設定する ④ 設定しない			
		/ 更新		

Windowsネットワーク、Macintoshの「セレクタ」「サーバへ接続…」で認識されるコンピュータ名です。 半角英数字で15文字まで、1文字目に数字は使用できません。

〇コンピュータの説明

Windowsの「ネットワークコンピュータ/マイネットワーク」に表示される説明文です。この項目には入力しなくても構いません。

WindowsXPなどでは、コンピュータ名ではなく、コンピュータの説明が表示されます。 半角英数字で32文字、全角で16文字まで。

〇ワークグループ名

サーバーが所属するWindowsワークグループ名です。また、このコンピュータを「プライマリドメインコントローラ」にする場合、ドメイン名として使用されます。

半角英数字で15文字まで、1文字目に数字は使用できません。

─FTPサーバー

FTPサーバー機能を有効にする場合、「設定する」にしてください。

FTPサーバーを使用することにより、「フォルダ登録」で設定した権限そのままで、FTPクライアントから、本サーバーにアクセスすることが可能になります。リモート環境などでは、Windows接続よりも簡単、安全にファイル共有ができます。

Macintosh接続

Macintosh接続を有効にする場合、「設定する」にしてください。

使用しない場合、コンピュータリソースを節約するために、「設定しない」でご使用ください。

※「設定する」に変更して「登録/更新」すると、サービスが起動されます。ただし、起動が完了するまでに、1分程度かかりますので、その間に、何度も「登録/更新」をかけないようにしてください。

※ユーザー数、共有フォルダ数が多い場合、接続できない場合があります。小規模ネットワークでご使用ください。

一般ユーザー向け画面

一般ユーザー(管理者以外)が、自分のパスワードを変更するための画面を表示するかどうかの設定です。

「設定する」とした場合、WEBブラウザから「だいこん」にアクセスした場合、ユーザー名/パスワードに、一般ユーザーのもの を入れた場合、下記の画面が表示され、パスワード変更ができるようになります。

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
パスワード変更	ユーザー名	nomura	
	バスワード		※半角英数記号16文字まで
	パスワード再入力	•••••	
			/ 更新

| 現在の日時

現在の日付と時刻を設定します。変更する場合は「変更する」にチェックを入れて日時を入力してください。

一オートパワーOFF

対応している機種では、「設定する」にしておくとシャットダウン時に自動的に電源が切れます。

設定しても電源が切れず、最後に意味不明文字(レジスタのダンプ)が出るようであれば、「設定しない」でご使用ください。



http://www.kirala21.com

↑メニュー

←前ページ

ブラウザ画面-> 詳細設定

IPアドレス、DHCP機能など、詳細な項目を設定します。

項目を入力したあと、「登録/更新」ボタンを、押してください。

※「更新/登録」により、ネットワーク接続が切断される場合があります。更新前に、ユーザーの使用状況をご確認ください。

※Macintosh接続サービスを設定している場合、サービスの再起動が完了するまで、1分程度かかります。その間、何度も「登録/ 更新」を行わないようにしてください。

	○ 設定する ○ 設定しない ○ 認証を別サーバーに委ねる		
	認証を委ねるサーバー名 ※半角英数15文字まで		
WINSサーバー	192.168.0.5 (IPアドレスを設定) ※ドメインコントローラを設定する]以外にした場合のみ有効		
クライアント時刻同期	□ 設定する ※このサーバーのドメインにログオンした場合のみ有効		
ユーザーの自動追加	□ 設定する ※ 認証を別サーバーに委ねる]場合のみ有効		

DHCPクライアント	◎ 設定する ○ 設定しない	
※以下の設定は「設定しない」場合のみ必要です		
ΙΡアドレス	192.168.0.6	※例: 192.168.0.250 ※変更した場合、管理ツールの呼出アドレスも 変更してください
サブネットマスク	255.255.255.0	※例: 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1	※例: 192.168.0.1(ルーターアドレス)
DNSサーバーアドレス	192.168.0.1	※例: 192.168.0.1

DHCPサーバー	●設定する ○設定しない
※以下の設定は「設定する」	場合のみ必要です
配布IPアドレス範囲	192.168.0.100 から192.168.0.199 まで
デフォルトゲートウェイ	○ 配布しない ⊙ 指定アドレスを配布→ 192.168.0.1
WINSサーバーアドレス	○ 配布しない ⊙ 指定アドレスを配布→ 192.168.0.5
DNSサーバーアドレス	○ 配布しない ⊙ 指定アドレスを配布→ 192.168.0.1
NTP <u>サー</u> バーとの	●設定する ○設定しない
時刻同期	NTPサーバーアドレス 202.245.123.123
フロップファイル	●設定する ○設定しない
~>>>>>>	スワップファイルに使用する容量 512Mbyte 💌
	□ 登録 / 更新 ↓

次ページ→

ドメインコントローラ

本サーバーをドメインコントローラにするかどうか、設定します。

ドメインコントローラについての詳細は、「Windowsドメイン/WINS/ブラウジング」をご覧ください。

設定する: Windowsプライマリドメインコントローラとする

設定しない: 通常のWindowsワークステーションとする。

認証を別サーバーに委ねる: ネットワーク上にWindowsNT/2000サーバー/ワークステーションがある場合、そちらに認証を委ね る。

■「認証を別サーバーに委ねる」場合

認証を委ねるサーバー名を入力してください。

IPアドレス、または、コンピュータ名(半角英数字で15文字まで、1文字目に数字は使用できません)を指定してください。

本製品には、接続するユーザー名のみ登録し、パスワードは、任意のものを登録してください。

パスワードは「認証を委ねるサーバー」でチェックされ、OKの場合のみ、本サーバーへの接続が許可されます。

従って、本サーバーでは、パスワードのメンテナンスを行う必要はありません。

※認証サーバーでエラーとなっても、本サーバーでの認証がOKとなった場合、接続が許可されます。登録するパスワードには、ご 注意ください。

※Windowsクライアント/Macintoshクライアント/FTPクライアントに対して有効となります。ブラウザ管理画面へのログイン は、通常どおり、本サーバー登録のユーザー名/パスワードで認証されます。

■Windowsクライアントとのパスワードの同期

Windowsログオンのパスワードと、本サーバーの登録パスワードを自動的に同期させるためには、

・ドメインコントローラを「設定する」

・クライアントからは、本サーバー管理のドメインにログオン

する必要があります。その状態で、Windows上の操作(95/98/Meでは、コントロールパネル->パスワード、NT/2000/Xpでは Ctrl+Alt+Delから)でパスワードを変更すると、本サーバーのパスワードも変更されます。

OWINSサーバー

・ドメインコントローラを「設定しない」「認証を別サーバーに委ねる」

場合のみ有効です。必須項目ではありません。

本サーバーを登録するWINSサーバーのIPアドレスを設定してください。特にサブネットを越えた名前解決を行う場合に重要となります。

一クライアント時刻同期

・ドメインコントローラを「設定する」 ・クライアントからは、本サーバー管理のドメインにログオン した場合のみ、この機能は有効となります。 クライアントPCログオン時、本サーバーと時刻を同期させます。

〇ユーザーの自動追加

・ドメインコントローラを「認証を別サーバーに委ねる」

した場合のみ、この機能は有効となります。

「認証を別サーバーに委ねる」場合でも、本サーバーにユーザー名の登録は必要となります。

この機能を有効にすると、認証を行うサーバーで認証OKとなったユーザーが、本サーバーに登録されてない場合に限って、その ユーザー名を、アクセス時に自動登録します。パスワードはランダムな値が設定されます。

OHCP クライアント

「設定する」とした場合、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイなどの情報を、起動時、DHCPサーバーから 取得します。

ネットワーク上にDHCPサーバーが見つからない場合、初期値(192.168.0.250)に設定されます。

※「DHCPサーバー」機能と同時には設定できません。

IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーアドレス

これらは、「DHCPクライアント」を「設定しない」場合のみ設定してください。

デフォルトゲートウェイは、必要な場合のみ設定してください。

DNSサーバーは、このページ「NTPサーバーアドレス」、バックアップにおけるFTPサーバーアドレスの指定時、IPアドレスによらず、コンピュータ名で指定する場合のみ必要です。それら機能を使用しない場合、IPアドレスで指定する場合は、設定の必要はありません。

※IPアドレスを変更すると、この「ブラウザ画面」そのものも、そのままではアクセスできなくなります。更新画面は、途中で止 まったような状態になりますので、ブラウザのアドレスを変更して、アクセスしなおしてください。

OHCPサーバー

「DHCPサーバー」機能を使用するかどうかを設定します。 ※「DHCPクライアント」機能と同時には設定できません。 ※同一ネットワーク内に、別の「DHCPサーバー」がある場合、設定しないでください。

(二)配布IPアドレス範囲、デフォルトゲートウェイ、WINSサーバーアドレス、DNSサーバーアドレス

これらは、「DHCPサーバー」を「設定する」場合のみ設定してください。

「デフォルトゲートウェイ」、「WINSサーバーアドレス」、「DNSサーバーアドレス」については、配布する場合「指定アドレ スを配布」にチェックをいれて、配布するIPアドレスを指定してください。

NTPサーバーとの時刻同期

NTPサーバーに時刻を問合せ、自動的に本サーバーの時刻を合わせる機能を、使用するかどうかを設定します。

「設定する」にした場合、「NTPサーバーIPアドレス」も指定してください。

同期の処理は、毎日0:34/12:34の2回行われます。

〇スワップファイルの設定

アンチウイルス機能(オプション)の使用、多数のユーザーによる同時アクセスがある場合など、搭載しているメモリ容量が不足 する場合があります。その場合、「スワップファイル」を指定して、メモリの不足を補うことができます。

「スワップファイルに使用する容量」は、通常、搭載しているメモリ容量と同量以上を設定します。一旦設定したあとも、容量は 変更可能ですので、「<u>ステータス</u>」画面にて、使用状況を確認しながら適切な容量を設定してください。

メモリ容量が足りている場合、特に設定する必要はありません。

http://www.kirala21.com

←前ページ

↑メニュー

次ページ→

ブラウザ画面-> ユーザー登録

本サーバーに接続するユーザー、パスワード、所属グループなどを設定します。

■新規登録時

1. 「ユーザーの選択」で、「---新規登録---」を選択し、「選択」ボタン

ユーザーの選択	新規登録 ▼	
	新規登録	
	admin, administrator	
	user	
	nomura	
	yamada 🔰 👘 👘	

2.下記項目を入力して、「登録/更新」ボタン

ユーザー名	tanaka	※半角英数16文字まで
パスワード	*****	※半角英数記号16文字まで
パスワード再入力	****	
管理者にする		※管理ツールの使用、全フォルダの書込権限

所属グループの設定		
全グループ(選択候補)	所属グループ	
eigyo soumu gijyutu	eigyo	

■既存ユーザー変更時

1. 「ユーザーの選択」で、変更したいユーザーを選択し、「選択」ボタン

2.. 項目を入力して、「登録/更新」ボタン

■既存ユーザー削除時

- 1. 「ユーザーの選択」で、削除したいユーザーを選択し、「選択」ボタン
- 2. 「ユーザー削除」ボタン

■[admin][administrator]ユーザー変更時

「ユーザーの選択」で、[admin,administrator]を選択し、「選択」ボタン
 項目を入力して、「登録/更新」ボタン

つユーザー名

認証に使用されるユーザー名です。この項目は、新規登録時のみ入力可能です。 半角英数字で16文字までです。また、自動的に小文字に変換されます。

[admin][administrator]ユーザーは、システム組み込みユーザー名です。 パスワード変更は可能ですが、ユーザー削除、所属グループ変更はできません。 また、常に「管理者」となります。 ※[admin][administrator]は、システム内部では同一ユーザーとして扱い、パスワードなどは共通です。

パスワード/パスワード再入力
 認証に使用されるパスワードです。再入力欄は、確認のため、同じものを入力してください。
 入力した文字は'*'で表示されます。更新時で、パスワードを変更しない場合、入力する必要はありません。
 半角英数字記号で16文字までです。

※Windowsクライアントでは、16文字入力しても、14文字までで認証されます。
 ※Macintoshクライアントでは、セレクタなどのバージョンにより8文字までしか認識できない場合があります。
 ※ユーザー[admin]の初期パスワードは、設定されていません。変更してご使用ください。
 ※一般ユーザー自身でパスワードを変更する場合、
 Windowsクライアント→「詳細設定」「Windowsクライアントとのパスワードの同期」をご覧ください。
 Macintoshクライアント→本サーバーへの接続画面で、「パスワードの変更」を行ってください。

(二)管理者にする

管理者には

- ・この「ブラウザ画面」の操作権限
- ・設定した、全共有フォルダへの読込/書込権限
- ・バックアップ復旧フォルダの読込/書込権限
- ・プリンタのスプール管理(他ユーザーのスプール削除)など、プリンタ管理の特権
- が与えられます。
- 日常運用で使用するユーザーとは別に、「管理者」ユーザーを登録することをお勧めします。

また、[admin]ユーザーは、常に「管理者」となります。

◎所属グループ

ユーザーが所属するグループを設定します。

左「全グループ」に、現在登録されている全グループが、右「所属グループ」に現在の所属グループが表示されます。 所属グループを追加するには・・・「全グループ」欄の追加したいグループを選択し、中央「→」ボタン 所属グループを削除するには・・・「所属グループ」欄の、削除したいグループを選択し、中央「←」ボタン ※登録できるグループの最大数は32です。



http://www.kirala21.com (C)kirala21 Co., Ltd.

←前ページ

↑メニュー

次ページ→

ブラウザ画面-> グループ登録

本サーバーに接続するユーザーの所属グループを設定します。

グループは、「共有フォルダ」における権限設定に使用されます。

■新規登録時

1.「グループの選択」で、「---新規登録---」を選択し、「選択」ボタン

グループの選択	新規登録 💌	選択
	新規登録 管理者	
	eigyo	
	soumu	
	gijyutu	

2.下記項目を入力して、「登録/更新」ボタン

グループ名	eigyo	
所属ユーザー		

■既存グループ変更時

1.「グループの選択」で、変更したいグループを選択し、「選択」ボタン

2.. 項目を入力して、「登録/更新」ボタン

■既存グループ削除時

- 1. 「グループの選択」で、削除したいグループを選択し、「選択」ボタン
- 2. 「グループ削除」ボタン

■[管理者]グループの表示

1. 「ユーザーの選択」で、[管理者]を選択し、「選択」ボタン

「管理者グループ」は、「ユーザーの登録」において「管理者にする」とした、ユーザーのグループです。

ここでは、表示のみ、修正はできません。

●グループ名

グループの名称です。既存グループで、グループ名を変更すると、所属ユーザーを維持したまま、グループ名の変更となります。 半角英数字で16文字までです。また、自動的に小文字に変換されます。 グループに所属する、ユーザーを表示します。 ここでの修正はできません。「ユーザー登録」で行ってください。



http://www.kirala21.com

←前ページ

↑メニュー

次ページ→

ブラウザ画面-> フォルダ登録

ファイルサーバーとして、ネットワークに公開するフォルダを設定します。

対Windows、Macintoshとも共通の設定です。

■新規登録時

1.「フォルダの選択」で、「---新規登録---」を選択し、「選択」ボタン

フォルダの選択	新規登録 💌	選択 ※ 解除』は共有解除中のフォルダ
	新規登録 share test	
	document	

2.下記項目を入力して、「登録/更新」ボタン

フォルダ名	pictures	※半角英数12文字ま	ŧæ
フォルダの説明	写真用フォルダ	※32バイトまで	
1			
利用可能 ユーザー/グループ	○ 全ユーザ読出可能(書込 ○ 全ユーザ読出/書込可能 ○ 管理者のみ読出/書込可 ◎ 個別設定	스不可) 한 「能	
ゲストユーザー	⊙ 使用不可 ○ 読出可能	○ 読出/書込可能	
個別設定(※利用可能ユーザー	/グループを「個別設定」にすると有	(効になります)	
全ユーザー/グル	ープ 読出可能		読出/書込可能
ユーザー <mark>nomura</mark> yamada	→ ←	· → ←	nomura
グループ <mark>eigyo</mark> soumu <mark>gijyutu</mark>	→ eigyo eigyutu ←	·	gijyutu
		新	
	and the second se		

■既存フォルダ変更時

- 1. 「フォルダの選択」で、変更したいフォルダを選択し、「選択」ボタン
- 2.. 項目を入力して、「登録/更新」ボタン

登録 / 更新 共有解除 フォルダ削除

フォルダ削除を行うと、フォルダに保管されていた全データもすべて削除されます。

「フォルダの選択」で、削除したいフォルダを選択し、「選択」ボタン
 「フォルダ削除」ボタン

■共有解除時

「共有解除」は、フォルダ、内部に保存されているデータはそのままに、ネットワーク上への公開のみを中止する処理です。 解除されたフォルダは、「フォルダの選択」において「[解除]xxxxx」と表示されます。選択して、「登録/更新」することにより、内部のデータを維持したまま、再度共有が可能です。

「フォルダの選択」で、共有解除したいフォルダを選択し、「選択」ボタン
 「共有解除」ボタン

 「フォルダの選択」で、再共有したいフォルダを選択し、「選択」ボタン ※[解除]xxxxx と表示されています。
 項目を入力して、「登録/更新」ボタン

■共有解除されたフォルダの、再共有

共有フォルダ名です。この名称が、公開フォルダ名となります。 WindowsXP、Macintoshでは、主に次の「フォルダの説明」が、表示用に使用されます。 半角英数字で12文字までです。

つすルダの説明

共有フォルダの説明文章です。 半角英数字で32文字、全角で16文字まで。

◎利用可能ユーザー/グループ

※以下、どの設定においても、「管理者」ユーザーは、読出/書込権限をもちます。 ※権限設定は、共有フォルダ単位で行います。ファイル単位ではできません。

- 「全ユーザ読出可能(書込不可)」・・・すべての登録ユーザーは読取専用でアクセス可能です。
- ・「全ユーザ読出/書込可能」・・・すべての登録ユーザーは読取、書込、削除可能となります。
- ・「管理者のみ読出/書込可能」・・・「管理者」以外は、アクセス不可となります。
- ・「個別設定」・・・下記の「個別設定」欄を使用して、ユーザー、グループ単位にアクセス権を設定します。

63 / 165 ページ

「ユーザー登録」で登録されていないユーザーのアクセス権限を設定します。

この設定は、「利用可能ユーザー/グループ」には影響されず、別の扱いになります。 ※ゲストアクセスはWindows/ftpクライアントのみで可能です。Macintoshクライアントからはゲストアクセスはできません。 ※ユーザー名が漢字など全角文字の場合、ゲストでのアクセスができません。

- ・「使用不可」・・・非登録ユーザーは、アクセスできません。
- 「読出可能」・・・非登録ユーザーも、読取専用でアクセス可能となります。
- ・「読出/書込可能」・・・非登録ユーザーも、読取、書込、削除可能でアクセス可能となります。

一個別設定

この欄を使用して個別設定を行う場合は、「利用可能ユーザー/グループ」において、「個別設定」を設定してください。 ※「読出可能」/「読出/書込可能」に設定できる情報には1024バイトの制限があります。それぞれユーザー名、グループ名(内部 的にプラスの情報も付加されます)合わせての長さが限度を超えると、エラーとなります。ユーザー数が多い場合、極力グループ での権限設定を利用してください。

左「全ユーザー/グループ」に、現在登録されている全ユーザー/グループが、中央「読出可能」に、現在の読出可能ユーザー/グ ループが、右「読出/書込可能」に、現在の読出/書込可能ユーザー/グループが表示されます。

「読出/書込可能」なユーザー/グループは、必ず「読出可能」権限を持つため、まず、「読出可能」権限を与えた後、「読出/書込 可能」にする必要があります。

読出可能ユーザー/グループを追加するには・・・「全ユーザー/グループ」欄の追加したいユーザー/グループを選択し、「→」ボ タン

読出可能ユーザー/グループを削除するには・・・「読出可能」欄の、削除したいユーザー/グループを選択し、「←」ボタン ※このとき、「読出/書込可能」からも、同時に削除されます。

読出/書込可能ユーザー/グループを追加するには・・・「読出可能」欄の追加したいユーザー/グループを選択し、「→」ボタン 読出/書込可能ユーザー/グループを削除するには・・・「読出/書込可能」欄の、削除したいユーザー/グループを選択し、「←」 ボタン

ごみ箱 (win,ftp)	□ 設定する
アクセスログ (win,ftp)	□ 設定する

─ごみ箱

このフォルダに対して「ごみ箱」機能を有効にする場合「設定する」にしてください。

※「ごみ箱」機能は、Windows/ftpクライアントのみに有効です。

「ごみ箱」は、各フォルダに[.trash]という名前で自動作成されます。

隠しフォルダとなりますので、Windows側で「隠しフォルダ」を表示する設定にしないと表示されません。

※「エクスプローラ」での設定。「ツール」->「フォルダオプション」->「表示」ページ

「ごみ箱」内の古いファイルを自動的に消去する機能があります。詳しくは「<u>メンテナンス</u>」をご覧ください。

⑦アクセスログ

このフォルダに対して「アクセスログ」機能を有効にする場合「設定する」にしてください。 ※「アクセスログ」機能は、Windows/ftpクライアントのみに有効です。

「アクセスログ」の表示方法などは「<u>メンテナンス</u>」をご覧ください。



http://www.kirala21.com

↑メニュー

次ページ→

←前ページ

ブラウザ画面-> プリンタ登録

プリンタサーバーとして、ネットワークに公開するプリンタを設定します。

※パラレルポート接続、TCP/IP lprネットワークプリンタのスプール管理、ネットワーク公開を行います。
 ※特に双方向通信を必要とするプリンタなど、使用できない機種があります。
 ※Windowsクライアントに対しては、Windowsネットワークプリンタとして接続が可能になります。
 ※Macintoshクライアントに対しては、AppleTalkプリンタとして接続が可能になります(一部機種のみ)。
 ※また、TCP/IP lprプリンタとして、Windows/Macintoshその他クライアントで使用が可能です。

■新規登録時

1. 「プリンタの選択」で、「---新規登録---」を選択し、「選択」ボタン

2.下記項目を入力して、「登録/更新」ボタン

プリンタ名	PostScript1	※半角英数12文字まで	
接続ポート	○ ローカル(パラレル)	 ・ネットワーク(TCP/IP) IPアドレス 192.168.0.5 キュー名 lp1 	
ゲストユーザーの使用	□ 許可する		
AppleTalkプリンタタイプ ※「Macintosh接続」使用時	Postscript	➡ →設定値 Laser Writer	
登録 / 更新			

■既存プリンタ変更時

1. 「プリンタの選択」で、変更したいプリンタを選択し、「選択」ボタン

2.. 項目を入力して、「登録/更新」ボタン

登録 / 更新	プリンタ削除	スプール削除	

■既存プリンタ削除時

- 1. 「プリンタの選択」で、削除したいプリンタを選択し、「選択」ボタン
- 2. 「プリンタ削除」ボタン

■スプール削除時

Windowsプリンタでは、基本的にWindowsクライアントのスプール管理画面で、スプールの削除が可能です。 lpr、Macintosh、あるいは、プリンタ異常時など、スプールを一括削除したい場合使用してください。 指定のプリンタに対して、残っているスプールデータはすべて削除されます。

1. 「プリンタの選択」で、スプール削除したいプリンタを選択し、「選択」ボタン

2. 「スプール削除」ボタン

()プリンタ名

プリンタ名です。この名称が、ネットワークプリンタ名/lprキュー名となります。 既存プリンタで、プリンタ名の変更も可能です。 半角英数字で12文字までです。

──接続ポート

プリンタを接続しているポートを指定します。

本サーバーのパラレルポートに接続している場合は、「ローカル(パラレル)」、ネットワーク上のlprプリンタを管理する場合 は、「ネットワーク(TCP/IP)」を選択してください。

「ネットワーク(TCP/IP)」の場合は、そのIPアドレス、キュー名を入力してください。

(「ゲストユーザーの使用

通常ここで登録したプリンタを使用可能なのは、「ユーザー登録」で登録したユーザーのみです。 「許可する」と、未登録ユーザーも、このプリンタが使用可能になります。 ※この設定は、すべてのプリンタを通して共通となります。

OppleTalkプリンタタイプ

AppleTalkで本サーバー接続プリンタを共有するためには、PostScriptプリンタを除き、AppleTalk対応のプリンタドライバが存在 し、そのプリンタタイプがわかっていることが前提条件となります。プリンタタイプが、プリンタドライバと一致する と、Macintoshのプリンタ設定画面に、AppleTalkプリンタとして認識されます。ただし、その場合でも、必ずしも正しく印刷され ない場合があります。

左コンボボックスで、プリンタ種類を選択すると、右「設定値」欄に、プリンタタイプが設定されます。最終的に右「設定値」欄 に設定された値のみが使用されます。コンボボックスにふさわしいものがない場合、「設定値」に直接入力してください。



http://www.kirala21.com

↑メニュー

←前ページ

ブラウザ画面-> コンピュータ登録

本サーバーに接続するコンピュータ名を設定します。

※ コンピュータ登録は、クライアントのコンピュータのOSが、Windows NT/2000/XPで、このコンピュータのドメインに参加さ せる場合にのみ行います。

※ 先に、この登録を行ったあと、クライアントPCでドメインへ参加させる設定を行ってください。

※「ドメインに参加する許可を与えられたアカウントのユーザー名とパスワードを入力してください」には、[ユーザー名:root、 パスワード:adminユーザーのパスワード]を入力してください。

※ その際「このコンピュータアカウントをドメインに作成する」は行わないで下さい。

■新規登録時

1.「コンピュータの選択」で、「---新規登録---」を選択し、「選択」ボタン



2.下記項目を入力して、「登録/更新」ボタン



■既存コンピュータ変更時

- 1.「コンピュータの選択」で、変更したいコンピュータを選択し、「選択」ボタン
- 2.. 項目を入力して、「登録/更新」ボタン

■既存コンピュータ削除時

- 1. 「コンピュータの選択」で、削除したいコンピュータを選択し、「選択」ボタン
- 2. 「コンピュータ削除」ボタン

コンピュータ名

次ページ→

http://www.kirala21.com

←前ページ

↑メニュー

次ページ→

ブラウザ画面-> ステータス

現在の本サーバーのステータス情報を表示します。

前回起動時刻 2004/04/21 22:03:43				
アクセス状況				
ユーザー名	コンビュータ名	IPアドレス	接続開始時刻	
admin	december(win)	192.168.253.254	04/21 22:55	
admin	-(mac:tcp)	192.168.253.112	04/21 22:58	
CPU使用状況				
使用率平均		負荷率		
(前回表示以降)	1分平均	5分平均	15分平均	
0.1%	7%	2%	0%	
メモリ使用状況				
全容量	使用容量	空容量	使用率	
126MB	26MB	100MB	20%	
スワップファイル使用状況				
全容量	使用容量	空容量	使用率	
131 MB	0KB	131 MB	0%	
ディスク使用状況	※割当てD.データ用 B1:75%	ウアップ1 B2:バックアップ2		
型式	全容量	使用容量	使用率割当て	
QUANTUM FIREBALL ST3	3.10GE	355MB	11% D B1 B2	
ディスクレ/O状況	※ディスクNDは「ディスク使」	用状況川に表示したNO。前回表	気がい降の数値です。	
ディスクNO	読込 読込(byte	es/sec) 書込	書込(bytes/sec)	
[1]	1KB 102	4 23KB	23552	
インタフォーフ使用状況	※洋骨信ギョカけが回まそ	以降の数値です		

1222 24	Tato to ta	STAL IN ELECTION AND CONTRACTOR		
インタフェース	受信	受信(bytes/sec)	送信	送信(bytes/sec)
eth0	2KB	2234	19KB	20094

前回起動時刻

前回本サーバーを起動した時刻です。連続稼働時間を知ることができます。

数ヶ月に一度は、シャットダウンして、ディスクのチェックを行った方がいい場合があります。

●アクセス状況

現在の本サーバーへのアクセス状況を表示します。コンピュータ名、そのIPアドレス、ログインユーザー名、接続を開始しした時 刻の情報です。

コンピュータ名の"(win)"はWindowsからの接続、"(mac:tcp)","(mac:talk)"はMacintoshからの接続を表します。Macintosh接続

は、コンピュータ名は表示されません。

CPU使用状況

CPUの使用率と負荷率を表示します。

使用率平均は、前回にステータス表示させてから現在までの間で、CPUが実際に命令を処理していた時間を総時間で割った数値を 表します。

負荷率は、処理待ちおよび処理中の命令数を、そのCPUが単位時間に処理できる命令数で割った数値を、過去それぞれの時間での 平均値として表示します。

●メモリ使用状況

メモリ全容量と使用量/空き容量/使用率を表示します。 接続するクライアント数が増えるとメモリーの使用量も(1クライアン トにつき約1.5~2MB程度)増加します。使用量からは、ファイルキャッシングに利用されている分を除外しています。

〇スワップファイル使用状況

「<u>詳細設定</u>」で設定した、「スワップファイル」の全容量と使用量/空き容量/使用率を表示します。 一度使用されると、実際にはほとんど使用されていなくても、使用量として残る場合があります。

◎ディスク使用状況

ディスク容量と現在の使用量/空き容量/使用率を表示します。

◎ディスクI/O状況

表示されている数値は、前回この画面が表示された後、今回表示されるまでの間に行われた読込/書込データ量です。

一インターフェース使用状況

ディスクの読込/書込状況表示します。

ネットワークインタフェースィスクの送信/受信状況表示します。 表示されている数値は、前回この画面が表示された後、今回表示されるまでの間に行われた送信/受信データ量です。



http://www.kirala21.com
「だいこん」オンラインマニュアル

←前ページ

↑メニュー

次ページ→

ブラウザ画面-> バックアップ

バックアップの設定、および、バックアップからの復旧の設定です。

バックアップ先には、ローカルディスクか、他のコンピュータのWindows共有フォルダ、または、FTPサーバーが指定できます。

〇ローカルディスクバックアップ

領域には、「<u>コンソール設定画面(メモリモード)</u>」「ディスクの割当て」において、「[バックアップ1][バックアップ2]ディスク」 として割当てたディスクが使用されます。

「バックアップセットの選択」コンボボックスにおいて、先頭のセット(バックアップ先:ローカルディスク(_BACKUP1))は、 [バックアップ1]ディスク、2番目のセット(バックアップ先:ローカルディスク(_BACKUP2))は、[バックアップ2]ディスクが、 バックアップ先となります。

(1番目、2番目はローカルディスクバックアップに固定され、順序の変更、削除はできません。)

」
リモートバックアップ

「バックアップセットの選択」コンボボックスにおいて、「新規登録」で登録されます。

• Windows (SMB)

ネットワーク上のWindowsマシンの共有フォルダにバックアップします。

Macintosh固有文字を含むファイル、フォルダは、バックアップされず、エラーとなります。

• FTP

ネットワーク上のFTPサーバーにバックアップします。

FTPサーバーに別の「だいこん」コンピュータを指定することにより、別の「だいこん」サーバーと、データの同期をとることが可能です。

その場合、FTPサーバー側の共有フォルダは、事前に作成し、適切な権限を与えておく必要があります。

バックアップ先のファイル日付はFTPの仕様により、バックアップを行った日付となります。

■バックアップの設定

「バックアップセットの選択」で、セットを選択し、「選択」ボタン。リモートバックアップを追加する場合、「新規登録」を選 択。



ローカルディスクバックアップ

セット名	Local_d	※半角英数163	文字まで
セットの説明	ローカル Daily	※32バイトまで	
バックアップ先	ローカルディスク(_BA	CKUP1)	
バックアップの方式	 ● 追加※バックアップフ ○ 複製※共有フォルダ 	オルダに追加コピーします と同じ状態を保ちます	
バックアップするフォルダの詩	锭		
全フォルダ		対象フォルタ	i'
n ight test test2 test3	 [j]	·追加 night test test2 test3	
		🗌 フォアグランドで実行	すぐにバックアップ実行
	● 毎日	3 時 0 分	
いっクアッチのタイミング	〇毎週	□月□火□水	
	〇毎月	日同時	分
	○システム起動時		
	○ 設定しない		
詳細なログを残す			
	登翁	*/更新	

─セット名

バックアップセット名です。セット名単位にバックアップが管理されます。 半角英数字で16文字までです。

一セットの説明

セットの説明文章です。

半角英数字で32文字、全角で16文字まで。

〇バックアップ先

以下のように表示されます。 [バックアップ1]ディスク・・・ローカルディスク(_BACKUP1) [バックアップ2]ディスク・・・ローカルディスク(_BACKUP2)

〇バックアップの方式

・追加: バックアップ先へ追加コピーを行います。バックアップ先のデータ量は増えつづけますが、誤って削除さたファイルなどをさかのぼって復旧することが可能です。

・複製: バックアップ先と、共有フォルダを常に同じ状態に保ちます。データ量も共有フォルダと同じになりますが、誤って削除

されたファイルは、バックアップ先からも、削除され、復旧できなくなります。

いずれの場合も、バックアップ元、バックアップ先の日付比較により、更新されたファイルのみバックアップが行われます。 完全な全ファイルバックアップを行う場合、バックアップ先のファイルをすべて削除してから実行してください。

「バックアップするフォルダの設定

共有フォルダの中で、どのフォルダをバックアップするかを指定します。

「全フォルダ」には、現在の全共有フォルダ(共有解除分を含みます)が表示されます。「対象フォルダ」に表示されるのが、バッ クアップ対象のフォルダです。

対象フォルダを追加するには・・・「全フォルダ」欄の追加したいフォルダを選択し、中央「→追加」ボタン

対象フォルダを削除するには・・・「対象フォルダ」欄の、削除したいフォルダを選択し、中央「削除←」ボタン

一すぐにバックアップ実行

現在画面上で設定されている、セット、「バックアップの方式」「バックアップするフォルダの設定」に元づいて、バックアップ 処理をすぐに開始します。

「フォアグランドで実行」にチェックをいれると、処理の進行状況が画面で確認できます。

「フォアグランドで実行」にチェックをいれない場合、バックアップ処理はバックグラウンドで開始され、画面は通常の画面に戻 ります。バックアップが終了したかどうかは、以下で説明する「バックアップ履歴」にて確認できます。

「バックアップのタイミング」

「毎日」・・・毎日、指定時刻にバックアップを開始します。

「毎週」・・・毎週、指定曜日、時刻にバックアップを開始します。

「毎月」・・・毎月、指定日、時刻にバックアップを開始します。

「システム起動時」・・・24時間運用ではない場合に向いています。システム起動時に毎回バックアップします。

「バックアップしない」・・・バックアップしません。

一詳細なログを残す

チェックを入れると、バックアップ時の詳細なログを残すことができます。

「バックアップログ」の表示方法などは「<u>メンテナンス</u>」をご覧ください。

リモートバックアップ-Windows共有

セット名	remote_win	※半角英数16文字まで
セットの説明	バックアップサーバー	※82ノŸイトまで
接続プロトコル	● Windows(SMB) ○ FTP((🗹 PASVモード) 〇 Windows(目)
IPアドレス/コンピュータ名	192.168.10.2	※例: 192.168.0.250/ WINSERVER
共有名/ディレクトリ名	share	※Windows:共有名、FTP:ディレクトリ
ユーザー名	backup ×	※ログインユーザー名
パスワード	*****	※ログインパスワード
バックアップの方式	○追加※バックアップフォルタ ●複製※共有フォルタと同じ	(ICE加口ビーします) 状態を保ちます

ビックアップオスコムルが小型字

一接続プロトコル

Windows(SMB)、または、Windows(旧)を選択

・通常は「Windows(SMB)」を選択してください。

・「Windows(旧)」は、「Windows(SMB)」では漢字の文字化けを起こす場合にお試しください。

Windows9x、だいこん(Ver1.9.xまで)、比較的古いNAS等へバックアップする際に有効な場合があります。

IPアドレス/コンピュータ名

バックアップ先Windowsコンピュータ名(例:WINSEREVR)または、IPアドレス(例:192.168.0.250)を入力。 ローカルネットワーク以外のコンピュータへバックアップを行う場合、「詳細設定」での「WINSサーバーアドレス」、「デフォ ルトゲートウェイ」などが、正しく設定されている必要があります。

バックアップ先Windowsコンピュータにおける、共有名を設定。

〇ユーザー名/パスワード

バックアップ先Windowsコンピュータに接続するための、ユーザー名、パスワードを設定。 バックアップ先コンピュータの使用する共有フォルダに、書き込み権限のあるユーザー名を指定する必要があります。

〇バックアップの方式

基本的にローカルディスクバックアップと同様です。 ファイルの日付比較により、更新されているファイルだけコピーされます。

リモートバックアップ-FTPサーバー

セット名	remote_radish	※半角英数16文字まで
セットの説明	バックアップだいこん	※32バイトまで
接続プロトコル	○ Windows(SMB) ⓒ FTP(🛛	Z PASVモード)
IPアドレス/コンピュータ名	192.168.0.6	※例: 192.168.0.250/ WINSERVER
共有名/ディレクトリ名		※Windows:共有名、FTP:ディレクトリ
ユーザー名	backup	※ログインユーザー名
パスワード	*****	※ログインパスワード
バックアップの方式	○ 追加※ バックアップフォルダば ◎ 複製※共有フォルダと同じ状態	追加コピーします 時を保ちます

●接続プロトコル

FTPを選択。

接続するFTPサーバーまでの間に、ファイアーウォールがある、または、本サーバー「アクセス制限」でFTPアクセスのリモートア クセス制限を行っている場合など、「PASVモード」に設定してください。

※基本的に「PASVモード」で使用し、接続できない場合チェックをはずしてください。

○IPアドレス/コンピュータ名

バックアップ先FTPサーバーのコンピュータ名(例:ftp.kirala21.com)または、IPアドレス(例:192.168.0.250)を入力。

コンピュータ名を使用する場合、「詳細設定」で「DNSサーバーアドレス」が必要です。

また、ローカルネットワーク以外のコンピュータへバックアップを行う場合、「詳細設定」での「デフォルトゲートウェイ」など が、正しく設定されている必要があります。

──共有名/ディレクトリ名

バックアップ先FTPサーバーにおける、初期ディレクトリを設定。 別「だいこん」サーバーと同期をとる場合、図のように空欄にすると、バックアップ先でも同様の共有フォルダ構成となります。 その場合、バックアップ先に、事前に同じ名前で共有フォルダを作成し、必要な権限を設定しておいてください。

()ユーザー名/パスワード

バックアップ先FTPサーバーに接続するための、ユーザー名、パスワードを設定。 バックアップ先コンピュータの使用するディレクトリに、書き込み権限のあるユーザー名を指定する必要があります。

〇バックアップの方式

基本的にローカルディスクバックアップと同様です。

ファイルの日付比較により、更新されているファイルだけコピーされます。

ただし、ローカル/リモートWindows共有へのバックアップと異なり、ファイルの更新日付はコピーされず、バックアップ先の ファイル日付は、バックアップを行った日時となります。従って、実際には、前回バックアップを行った日時以降更新されたファ イルのみ、コピーが行われます。 ■バックアップからの復旧

ローカルディスクバックアップの場合のみが対象です。

ローカルディスクにバックアップした内容から、ファイルの復旧を行う場合に使用します。

1. 「バックアップセットの選択」で、セットを選択し、「選択」ボタン

2. 「バックアップからの復旧」において、「共有」ボタンをクリック。

共有フォルダ[_BACKUP1]または[_BACKUP2]が作成されます。

クライアントパソコンから、バックアップされた通常の共有フォルダ以下のファイルにアクセスできるようになりますので、クラ イアントからの操作で、必要なファイルを復旧してください。

[_BACKUP1]/[_BACKUP2]は、「管理者」のみ読取/書込可能となります。

バックアップからの復旧印ー	ルディスク)		
_BACKUP1	共有 ※「共有」すると[」BA	CKLP1]という共有フォルダが作成されます	
1			

共有中は、表示は以下のようになります。

共有を解除するには、「共有解除」ボタンを押します。

※共有を解除しても、すでにアクセスしている場合、接続が維持され、すぐにはアクセス不可とはなりません。

バックアップからの復日(ロー	カルディスク)
_BACKUP1(共有中)	共有解除

■バックアップ履歴の表示

履歴は、バックアップセットの選択に関わらず共通の表示です。

表示する件数を入力し、「履歴表示」ボタン。

			A REAL PROPERTY OF THE REAL PR		
バックアップ履歴の表示					
表于供對	20	14 / L	厨厨表示		
\$CIVITRX	20	1千万	NR ME SCOT		

下記のように、「バックアップ履歴」が表示されます。

バックアップ履歴			
セット	コピー先	日付・時刻	処理内容
remote_radish	ftp.kirala21.com	10/24 16:07	処理終了
remote_radish	ftp.kirala21.com	10/24 16:03	処理開始
remote_win	winserver	10/24 16:02	処理終了
remote_win	winserver	10/24 16:02	エラー:(23) [test2]
remote_win	winserver	10/24 16:02	処理開始
local_w	_backup2	10/24 16:01	処理終了
local_w	_backup2	10/24 16:01	処理開始
local_d	_backup1	10/24 16:01	処理終了
local_d	_backup1	10/24 16:01	処理開始
local1	_backup1	10/16 12:33	処理終了
		戻る	

──エラー情報

ローカルディスクバックアップ、リモートバックアップ時

ソケット接続(10): リモートサーバーへの接続エラー

ファイルI/O(11):ファイルの読み込み、書込みエラー

データ通信(12): リモートサーバーとの通信エラー

一部コピー不可(23): 一部のファイルがコピーできなかった(Macintosh固有文字ファイル名などで発生します)

タイムアウト(30): 接続、通信タイムアウト

その他

リモートWindows共有接続時

接続エラー(1): リモートマシンへの接続エラー。コンピュータ名、共有名、ユーザー名、パスワード違い。 その他

リモートFTPサーバー接続時

接続エラー: リモートマシンへの接続エラー。コンピュータ名、ユーザー名、パスワード違い。 転送エラー(エラー番号): ファイル転送時のエラー

その他



http://www.kirala21.com

(C)kirala21 Co., Ltd.

「だいこん」オンラインマニュアル

←前ページ

↑メニュー

次ページ→

ブラウザ画面-> UPS登録

無停電電源装置(UPS)の設定を行います。

UPSをモニタリングして、停電が発生したときに、自動的に本サーバーをシャットダウンします。

UPSはシリアル (RS-232C)接続が可能で、停電時、いずれかのラインが変化するものであれば、メーカー機種を問わず対応可能です。

また、UPS本体は対応可能でも、ケーブルによって正しい信号が得られない場合がありますので、ご注意ください。

※例えばAPC社のUPSでは、940-0024C型番のケーブルでは対応不可ですが、940-0020B型番のケーブルで可能な機種があります。

※弊社ホームページにWindows上で稼動する、「UPS接続チェックツール」を用意しています。こちらを利用して、信号線の状態 を簡単に確認することができます。

設定は、.下記項目を入力して、「登録/更新」ボタン

UPSオートシャットダウン	◎ 設定する ○ 設定しない
※以下の設定は「設定する」」	易合のみ必要です
停電後の待機時間	2 分 ※0-30分の間で設定
ケーブルの接続ボート	© COM1 © COM2 © COM3 © COM4
UPSの型名	APC Smart-UPS 700
※以下は「UPSの型名」に一致	yするものがない場合など、個別設定をする場合使用
UPSからの信号	CTS ▼ が High ▼ IC変化
UPSへの信号	RTS: Low ▼を維持 DTR: Low ▼を維持
信号状態の確認	確認画面の表示

OUPSオートシャットダウン

停電が発生したときに自動的にシャットダウンする機能を、使用するかどうかを指定します。 以下の設定は、「設定する」としたときのみ必要です。

@停電後の待機時間

停電の信号変化を感知してから、実際にシャットダウン処理にはいるまでの時間を設定します。

この時間を長くとると、停電時間が短かった場合など、無駄なシャットダウンを防ぐこと、また、クライアントがファイル保存な どを行う時間を稼ぐことが可能です。ただし、UPSのバッテリ容量、接続されている機器の消費電力を考え、完全にシャットダウ ンを終えるまで、UPSが電力を供給し続けることが可能な時間以内で設定してください。

一ケーブルの接続ポート

シリアルケーブル (RS-232C)を接続してる、サーバーのポートを設定してください。

OUPSの型名

一部の機種について、コンボボックスを用意しています。ここで選択すると、以下の「UPSからの信号」「UPSへの信号」の項目 を自動設定します。

※APC社の機種については、940-0020B型番のケーブルをご使用ください。

OUPSからの信号

停電時、どのラインの信号がどう変化するかを指定します。 この情報は、UPSのマニュアルをご覧いただくか、以下「信号状態の確認」でテストしてご確認ください。

OUPSへの信号

機種によっては、パソコンからUPSに対し、RTS、DTRなどのラインを[High]か[Low]に維持しないと正しく動作しない場合があり ます。

その場合、ここで指定してください。

()信号状態の確認

停電時、UPSからの信号がどのように変化するか、実際にテストし、確認するために使用します。

テストするときは、本サーバーの電源はUPSを通さず、別に取り、「UPSオートシャットダウン」は「設定しない」状態で行って ください。

UPSの機種によっては、PC側からの信号を正しく設定しないと動作しない機種があります。

その場合、弊社ホームページのサポートにある「「だいこん」UPS接続チェックツール」をお使いいただき、信号線の状態をご確認ください。

このツールはWindows上で動作するアプリケーションで、Windows上でより簡単に信号状態をご確認いただけます。

■信号状態の確認

UPS信号線の確認				
	⊙ COM1			
テフトオスポート	C COM2			
	О сомз			
	O COM4			
現在の信号状態	DCD: H DSR: Lo CTS: H	ligh ow ligh		
※ テストは「オートシャ 行ってください	ットダウン」を	8「設定しない」状態で、	このコンピュータの語	電源を、UPSIこ接続しないで
	- 1 mb	<u>i i i i i i i i i i i i i i i i i i i </u>		
最新の	状態に更新		Ē	₹ る

テストするポートを選択し、「最新の状態に更新」を押してください。指定のポートの現在の状態が表示されます。

停電状態をチェックするには、UPSを停電状態にし、「最新の状態に更新」してください。

※「現在、ポートは使用中です。」のメッセージが表示される場合、「UPSオートシャットダウン」を「設定する」になっている と思われます。「設定しない」で「登録/更新」を行ってください。



「だいこん」オンラインマニュアル

←前ページ

↑メニュー

次ページ→

ブラウザ画面-> アクセス制限

アクセス制限の設定を行います。

本サーバーはWindows/Macintosh/FTPサーバー機能を持ち、ルータの設定等をうまく行えば、インターネットなどを介したリモート接続が可能となります。

外部からの接続を可能にした場合、ルータなどにより不要、不正なアクセスをフィルタリングするのが基本ですが、本サーバーに おいても、外部ネットワークからの接続を許可するかどうかの設定を行い、より接続の安全性を高めることが可能になっていま す。

リモート接続・・・一般的に、ハブのみで接続されている同一構内のネットワークはローカル接続。インターネット、離れた事業 所など、ルータを越えた先からの接続はリモート接続。

※厳密には、IPアドレスとサブネットマスクよりローカル/リモートは決定される。

設定は、.下記項目を入力して、「登録/更新」ボタン

リモート接続の許可	○全て許可 ○全て許可しない ● 個別設定
※以下の設定は「個別設定」の場合のみ	必要です
管理ツール	○許可する ⊙許可しない
Windows(NetBios)	○許可する ⊙許可しない
Maintosh(AFP)	○許可する ⊙許可しない
FTP	⊙許可する ○許可しない
Printer(LPR)	○許可する ⊙許可しない
※リモート接続とは、ローカルアドレス以 ※ローカル接続は、いずれの設定でも許	外(ルータを超えた外部)からの接続です。 可されます。

一リモート接続の許可

外部からの接続を行わない場合、「すべて許可しない」。 インターネットなど、外部ネットワークとの接続が一切ない場合などは、「すべて許可」でも問題ありません。 個別に設定する場合、「個別設定」を選び、以下を設定してください。

●管理ツール

現在設定を行っている「ブラウザ画面」の許可設定です。 ※ポート:80

Windows(NetBios)

Windows接続の許可設定です。

※ポート:137,138,139,445

Macontosh(AFP)

Macintoshの許可設定です。 ※ポート:548

OFTP

FTP(サーバー)の許可設定です。 「すべて許可する」以外では、21ポートのみ接続を許可しますので、PASVモード以外での接続はできません。 ※ポート:21

Printer(LPR)

LPRの許可設定です。

※ポート:515

※技術補足

「すべて許可する」:

一切のフィルタリングは行われません。

「すべて許可しない」:

リモートアクセスを許可するもの

DNS(53:udp)、DHCP(67,68:udp)、NTP(123:udp)のみ。

「個別設定」:

リモートアクセスを許可するもの

設定で許可したもの+

DNS(53:udp)、DHCP(67,68:udp)、NTP(123:udp)。

ローカルアドレスからの接続は、常に許可されます。



http://www.kirala21.com

(C)kirala21 Co., Ltd.

「だいこん」オンラインマニュアル

←前ページ

↑メニュー

次ページ→

ブラウザ画面-> メンテナンス

コンピュータのメンテナンス関連の設定をします。

■ユーザー/グループの一括登録

ユーザー、グループをテキストファイルから一括登録します。ファイル等を指定して「登録実行」。

読み込み/登録エラーなどは、「エラー情報」ボタンで確認。

※「メモリーモード」では、容量が十分確保できないため、動作しない場合があります。

ユーリアンルーンの一指要家			
ファイルの指定	C:¥user.txt	参照	│ □ 登録前に全削除
		登録実行	

ファイルの指定

「参照」ボタンを押し、読み込むテキストファイルを指定してください。

一登録前に全削除

チェックを入れると、テキストファイルから登録を行う前に、現在登録されているユーザー、グループをすべて削除します。 チェックをはずして実行した場合、既に登録されているユーザーの情報(パスワード、所属グループ情報など)は変更されず、 ユーザー、グループの追加のみが行われます。

一テキストファイルのフォーマット

使用するテキストファイルは以下のフォーマットで作成してください。

[ユーザー1],[パスワード],[所属グループ1],[所属グループ2],[所属グループ3], [ユーザー2],[パスワード],[所属グループ1],[所属グループ2],[所属グループ3],

・項目間の区切りは[,](カンマ)またはタブ。

- ・ダブル/シングルクォーテーションでのくくりは不可。
- ・行末は、[CR](MacintoshOS9x)、[CR+LF](Windows)、[LF](Unix,MacOS-X)が可能。
- ・所属グループは、最大32グループまで、必要数分、各ユーザーの行に区切って続ける。
- ・「管理者」グループは[admins]で指定。
- ・ユーザー名:半角英数16まで、パスワード:半角英数16まで、グループ名:半角英数16まで。
- ・グループは、所属グループ部分から登録されます。

・ホームフォルダの作成機能
各行の最後に", () (カンマ、チルダ)をつけることにより、自動的にそのユーザーのホームフォルダを作成します。
例:, group1, group2, ()
ホームフォルダは、ユーザー名と同じフォルダ名(ただし、最大12文字でカット)。
権限は、そのユーザーと、管理者のみ、読み書き可能。
既に、同じ名前のフォルダが存在するとき、権限のみ書き換え。

「登録前に全削除」を指定しても、既存のフォルダに変更はなし。

例:

nomura, nomurapass, eigyo, seizo, admins yamada, yamadapass tanaka, tanakapass, seizo kato, katopass, admins

->グループは

eigyo,seizoが登録されます。

──エラー情報

・一括登録時のエラー情報が表示されます。処理後、ご確認ください。

■設定情報の保存

「コンソール画面」「ブラウザ画面」で設定した、ユーザー、グループ、共有フォルダ、ライセンスキー、IPアドレス、バック アップ設定など、設定情報を、クライアント側でファイルとして保存する処理です。

設定情報のバックアップとして、また、新たにサーバーを作成するとき、全く同じ内容で移行するために使用することができます。

設定情報の保存 保存実行

※保存された情報は、Windowsで読めるテキストファイルです。テキストファイルを編集することも可能ですが、あくまで、お客様責任での運用となります。また、製品バージョンによって内容が異なります。

※「<u>コンソール画面(ディスクモード)</u>」での「設定情報をフロッピーに保存」「設定情報をフロッピーから戻す」でやり取りさ れるファイルと同じものです。

■設定情報の復旧

「設定情報の保存」で保存したファイルより、設定情報をシステムに戻します。戻した場合、現在の設定情報はすべて上書きさ れ、ファイルの内容に置き換わってしまうので注意してください。

※共有フォルダのデータ、ローカルディスクバックアップのデータはそのまま残ります。

※「メモリーモード」では、容量が十分確保できないため、動作しない場合があります。

これは、以前の設定状態に戻す、システム故障時に復旧する、別マシンを同じ設定情報で設定する、場合などに使用します。

ファイルの指定 C:¥radishcnf 復旧実行	設定情報の復旧			
復旧実行	ファイルの指定	C:¥radishcnf	参照	
REXT:		復	【旧実行	

■定期シャットダウン

指定日時に、自動的に本サーバーのシャットダウンをする、再起動をする設定です。

これは、24時間運用をせず夜などには自動的に電源を切りたい、あるいは、定期的に再起動をし、メモリ、ディスクのクリーン アップをしたい場合などに使用します。

ユーザーが接続していても、強制的にシャットダウンします。運用にご注意ください。

定期シャットダウン		
	○ 設定しない	
	〇毎日	時 分
タイミングの設定	€ 毎週	□月□火□水□木□金□土☑日 3 時0 分
	〇毎月	日日分
その他の設定	☑ 再起動する	▶ 起動時ディスクの検査を行う
		登録 / 更新

●タイミングの設定

オートシャットダウンを行わない場合「設定しない」。

オートシャットダウンを行う場合、「毎日」「毎週」「毎月」のいづれかを選び、日付、曜日、時刻を設定してください。

一その他の設定

「再起動する」: 指定時刻にシャットダウン後、再起動する場合チェック。シャットダウンのみの場合チェックをはずす。「ブラ ウザ画面(基本設定)」で「自動電源OFF」の設定が行われ、使用コンピュータが対応している場合、自動的に電源が切れます。

「起動時ディスクの検査を行う」:オートシャットダウンによりシャットダウンした直後の再起動時、ディスクの検査を行うかどうかの指定です。定期的にメモリ/ディスクのクリーンアップを行う場合、「再起動」とともに、この指定も使用していただくと便利です。

■ユーザーログ

ファイルのアクセスログ、バックアップ時の詳細ログについて設定を行います。

ユーザーログ(アクセスログバックアップログ)				
ログ保存日数	アクセスログ:10 日 バックアップログ:1 日 ※(0-9999) 9999:無期限 ※既存のログで指定日数以前のファイルは「登録/更新」により削除されます			
	登録 / 更新			
ファイルの参照	共有 ※「共有」すると[_USERLOG\$]という共有フォルダが作成されます			

〇ログ保存日数

「アクセスログ」「バックアップログ」それぞれについて、ログの保存日数を設定します。

0-9999が指定可能です。9999を指定すると、手動で削除するまで無期限に保存されます。

また、設定日数を短くした場合、指定日より古いファイルは、「登録/更新」を行った時点で削除されますので注意してください。

※「アクセスログ」は「フォルダ登録」、「バックアップログ」は、「バックアップ」で有効にします。

ファイルの参照

「アクセスログ」「バックアップログ」を参照するための設定です。

「共有」ボタンを押すと、「隔離」フォルダが、「_USERLOG\$」という共有フォルダとして参照可能な状態になります。 ただし、「マイネットワーク」などの一覧には表示されず、「コマンドプロンプト」において

net use [ドライブ名:] ¥¥[サーバー名]¥_USERLOG\$

例:サーバー名 server, 割り当てるドライブ X の場合 net use x: ¥¥server¥_userlog\$

として、ドライブを割り当てて参照してください。 アクセス可能なのは、管理者のみです。

共有中は「共有解除」ボタンとなり、クリックすることにより、参照不可の状態に戻ります。

アクセスログ(Windows) ファイル名: ac_win.log フォーマット: [日付 時刻] [処理] [ユーザー名] [IPアドレス] [共有フォルダ名] [ファイル名] [モード] ※各項目は[tab]区切り。改行は[LF]のみ。エクセルなどで読み込むのが便利です。 例: 2008/02/26 11:17:10 login nomura 192.168.0.254 test mypc rw

"mypc" ログインコンピュータ名

"rw" read/writeモード 2008/02/26 11:17:22 open nomura 192.168.0.254 test bbbbb.txt wc "wc" write/createモード 2008/02/26 11:22:10 open yamada 192.168.0.212 test aaaaa.txt r "r" readモード アクセスログ(ftp) ファイル名: ac_ftp.log フォーマット: [日付 時刻] [処理] [ユーザー名] [IPアドレス] [共有フォルダ名] [ファイル名] [サイズ] ※各項目は[tab]区切り。改行は[LF]のみ。エクセルなどで読み込むのが便利です。 例: 2008/02/26 11:24:05 login nomura 192.168.0.254 2008/02/26 11:24:45 download nomura 192.168.0.254 test bbbbb.txt 19 "19" 19バイト 2008/02/26 11:24:48 quit nomura 192.168.0.254

バックアップログ

ファイル名: [バックアップセット名].log

■システムログの参照

システムの内部ログを参照します。通常は必要ありませんが、何か問題が発生したとき、あるいは、「<u>モニタ</u>」機能により、ログ チェックを行う場合の情報が得られます。

システムログの参照			
ログファイルの指定	messages	-	
	参照実行	ダウンロード	

〇ログファイルの指定

参照するログファイルを選んで、「参照実行」ボタンを押してください。

また、「ダウンロード」で、ファイルをダウンロードすることが可能です。

※ログファイルと、主な内容(ファイルの最後に.1、	.2、	など数字がついているものは、	同じファイルの旧版です)
---------------------------	-----	----------------	--------------

boot.log	システム起動時のプログラム起動などのログ
cron	指定時刻に自動実行されるプログラムのログ
dmesg	起動時にカーネルが出力したメッセージ
ksyms	カーネルモジュール、CPUなどの情報

maillog	メール関係ログ
messages	多くのシステムプログラムのログ、エラーログなど
secure	セキュリティに関わるログ
spooler	印刷時のスプールに関するログ
vsftpd.log	ftpサーバーのログ
log.nmbd	Windowsサーバー(samba)ネームサービス関連ログ
log.smbd	Windowsサーバー(samba)ファイルサービス関連ログ
kavXXX.log	(アンチウイルス関係)[アンチウイルス]ページ发昭
keepup2date.log	

■ゴミ箱

ゴミ箱に捨てられた後、指定日付を経過したファイルを自動的に削除し、容量が増え続けるの防ぐことができます。

ゴミ箱		
ゴ≳箱保存日数	999 日(0-999) ※999:無期限。夜間、 ※[すく ゴ削除処理実	起動時の処理において自動消去されます (行)は(登録/更新)後に実行してください
	登録 / 更新	すぐに削除処理実行

◎ごみ箱保存日数

保存する日数を指定します。999を指定することにより、無期限に保存できます。

●すぐに削除処理実行

すぐに削除処理を実行する場合使用します。この場合も、保存日数に指定した日数以前に削除されたファイルが削除対象となりま

す。

また、この処理では、処理の経過が画面で表示されますので、削除ファイルの確認を行うことができます。

日数を変更した場合は、一旦「登録/更新」した後、この処理を実行してください。

※ごみ箱内部の消去処理は、24H運用では夜間、 電源OFF運用では、起動後約1時間後の処理によって行われます。 ※「ごみ箱」は「フォルダ登録」で有効にします。

■ハードディスクのチューニング

通常は自動的に最適化されていますので使用しないでください。IDEタイプのディスクに対してのみ有効です。

ハードディスクのチューニング(IDE) ※誤った値設定により、データが壊れる場合があります。					
型式	DMA	MODE	情報	速度	
tual HE	💌	•	情報表示	速度測定	
	💌	•	情報表示	速度測定	
	登録 /	更新			

ディスクに関する各種詳細情報、アクセス速度の測定を行うことができます。

■Macintosh接続のリセット

Macintoshサービスを使用中、急なサーバーの電源OFF、クライアントマシンのフリーズ等により、Macintosh接続に関わる内部 ファイルが異常な状態になることがあります。そのような状態では、OS-9から、セレクタによる接続時、ユーザー名/パスワード 入力後、セレクタがフリーズしてしまい、接続ができなくなります。

この機能では、異常な状態の内部管理ファイルだけを削除し、接続が可能な状態に戻します。

Macintosh接続のリセット			
※Macintosh接続ができなくなったとき、環境を	リセット	します。	(データ/リソースに影響はありません)
	実	行	

※データファイル、リソースファイルには影響はなく、保持されます。

※Windows接続には関係しません。



http://www.kirala21.com

(C)kirala21 Co., Ltd.

↑メニュー

←前ページ

ブラウザ画面-> アンチウイルス

※この機能は、<u>オプション</u>として提供されます。

※「<u>ディスクモード</u>」でのみ、使用可能です。

※大量のファイルをスキャンする場合、パターンファイルの更新の際、「out of memory」のエラーが、「だいこん」画面、ある いは、messagesログに出る場合があります。「<u>詳細設定</u>」において、十分なスワップファイルを設定してご使用ください。

■アンチウイルス機能により、本サーバーに保管されるファイルについて、ウイルスチェックが行われます。

・Kaspersky Anti-Virus(TM) 組み込んだリアルタイムアンチウイルス機能です。

- ・Windowsファイル共有/Macintosh、FTPからの接続に関して、リアルタイムにウイルスチェックが行われます。
- ・定期スキャン機能により、全ファイルについて、定期ウイルススキャンが可能です。
- ・ウイルスパターンファイルは、自動的にインターネット経由で更新されます。

注意!

「だいこん」1.9より前のバージョンで、Kaspersky Antivirusを使用している場合、使用していたバージョンの「だいこん」で 「アンチウイルス」を「無効」にしてください。 その後、「だいこん」CDをVer1.9以降に入れ替え、「アンチウイルス」を設定 してください。

■有効化

アンチウイルス機能は、以下の手順に従って「有効化」することにより、使用可能な状態になります。

下記画面で、「有効化」ボタンを押してください。設定が始まります。

※処理にはしばらく(数分の場合もあり)かかります。

アンチウイルス機能 Kaspersky Anti-Virus(TM)			
現在の状態	有効になっていません		
	有効化		

下記のように、「現在の状態」が、「有効」になれば完了です。

アンチウイルス機能	Kaspersky Anti-Virus(TM)	
現在の状態	有効	
		無効化

※「無効化」により、アンチウイルス機能は、削除されます。

次ページ→

アンチウイルスプロセス起動中です。しばらくお待ちください。

もう一度メニューより「アンチウイルス」を選択してください。

の表示が出た場合、画面左メニューより「アンチウイルス」をクリックして、再度画面を表示させてください。

■ライセンスの登録

プログラムのインストールが完了したら、次にアンチウイルス用、ライセンスキーの登録を行ってください。 ※「だいこん」のライセンスキーと、アンチウイルスのライセンスキーは別のものです。 ※ライセンスキーのご請求/ご購入は、弊社サポート(support@kirala21.com)まで、お願いいたします。

キーファイルの指定

現在この「ライセンスの登録」画面を表示させているパソコンにおいて、ライセンスキーファイルを読める状態に準備したあと、 「参照」ボタンを押し、ライセンスキーファイルを指定してください。「登録/更新」ボタンにより登録されます。

※「未登録」の状態

ライセンス					
ライセンスの状態	期限切れ	詳細表示			
キーファイル	ファイルを選択 選択されてい	はせん			
登録 / 更新					

このように、「OK」になれば、ライセンスの登録は完了です。

ライセンス		
ライセンスの状態	OK 有効期限[2016/4/2]	詳細表示
キーファイル	ファイルを選択 選択されていません	
	登録 / 更新	

更新時のご注意

※ライセンスキーが期限切れになった場合「期限切れ」と表示されます。

※更新ライセンスは、必ず、期限切れになる1ヶ月前までにお申し込みください。

※更新ライセンスは、期限切れの前に登録してください。更新にならず、新規ご購入となってしまいます。

※更新時は、新しい「キーファイル」を登録することにより、有効期限が延長されます。

---以下は、ライセンスが有効の場合のみ表示されます。

■プロセス(プログラム)実行状況、WEB管理画面

アンチウイルスプロセス	[実行中] WEB管理[実行中]	再起動
Kaspersky WEB管理	http://192.168.254.102:9080 ※基本的な設定は現在のページのみで可能です。詳細な設定が必 い。 ※現在のページで登録/更新を行うと、設定は上書きされます。 ※共有フォルダは[/mnt/hd1/share]以下にあります。	;要な場合使用してくださ

アンチウイルスプロセス

現在のアンチウイルスプログラムの実行状況を表示します。

[実行中] WEB管理画面[実行中]

通常はこのように表示されます。実行されていない場合など、「再起動」により、再起動をさせることができます。

Maspersky WEB管理

Kaspersyオリジナルの管理画面を表示します。

現在の画面のみで必要な登録、更新設定は可能ですが、より詳細な設定、より詳細なログ表示などを行いた場合に使用してください。

リンクをクリックすると表示されます。

初期ユーザーID:admin

初期パスワード:admin

※ユーザーID、パスワードは、「だいこん」とは別管理のものです。

※パスワードは、「Kaspersky WEB管理画面」内で変更が可能です。

Kaspersky WEB管理画面使用上の注意

・「Kaspersky WEB管理画面」の使用方法、設定方法は、画面内「ヘルプ」をご覧ください。

・現在の画面で「登録/更新」を行うと、その設定が優先され、「Kaspersky WEB管理画面」で設定した内容は無効になります。

・スキャン対象フォルダとして、「だいこん」の共有フォルダを指定する場合、"/mnt/hdN/share"以下にある各フォルダを指定してください。

※"N"は、ディスク環境によって変わります。"※共有フォルダは[/mnt/hdN/share]以下にあります"の表示をご覧ください。

■リアルタイムスキャン

「だいこん」に保存されるファイルが感染していなかどうか、ファイルが保存、読込されるタイミングでチェックする方法です。 Windows共有、FTP、Macintochからのアクセス、いずれに対しても有効です。

感染したファイルが広がるのを防ぐためには最も有効ですが、負荷の増大、保存、読込レスポンスの低下が起きますので、必要な フォルダを選んで設定してください。

リアルタイムスキャン 実行状態	 ● 使用する ○ 使用しない [実行中] 	
※以下の設定は「使用する」」	易合のみ必要です	
スキャン対象フォルダ		
全フォルダ	対象フォルダ	
test す 象外ファイル	→ 追加 削除 ← tmp:mdb ※対象からはずすファイルの拡張子を注て区切って入力	
	✓ 書庫ファイル(チェックで対象外)	
スキャン制限	次のサイズを超えるファイルをスキップので無効)20 MB スキャンが次の時間を超えた場合スキップので無効)60 秒	
ウイルス検出時の動作	感染が確認された時 推奨処理 ▼感染が疑われる時 推奨処理 ▼	
	登録 / 更新	

項目を変更後「登録/更新」ボタンで、有効となります。

一リアルタイムスキャン

使用する場合、「使用する」を選択してください。

実行状態

リアルタイムスキャン機能が動作している場合「実行中」、動作していない場合「停止中」と表示されます。

※「使用する」になっているのに、「実行中」とならない場合、もう一度「登録/更新」を押すか、「ログの」参照において、 「kavmonitor.log」ファイルの内容をご確認ください。

〇スキャン対象フォルダ

リアルタイムスキャンの対象とするフォルダを指定してください。 左「全フォルダ」の中から選択するものをクリックし、「追加」ボタンを押すことにより「対象フォルダ」となります。 「対象フォルダ」からはずす場合、右「対象フォルダ」でクリックし、「削除」ボタンを押してください。

一対象外ファイル

対象フォルダ内であっても、チェック対象外とするものを指定します。 感染の可能性の低いもの、サイズが大きく、チェックに時間がかかる場合などに指定してください。

拡張子の指定:対象外とするファイルの拡張子を、「:」(半角コロン)で区切って指定してください。 書庫ファイル: zip,lzhなど、書庫ファイルは、内部的に解凍処理を行いチェックを行いますので、処理に時間がかかります。リア ルタイムチェックでは、対象外とすることも可能です。

〇スキャン制限

指定のサイズより大きいファイル、スキャン処理が指定の時間を超えた場合、そのファイルに対するチェックをスキップします。

一ウイルス検出時の動作

リアルタイムスキャンによりウイルスが検出された場合、感染したファイルをどう扱うかを指定します。

推奨処理・・・検出されたウイルス等の種類により、自動的に、駆除、削除等の処理が行われます。

駆除/削除・・・まずファイルからウイルスを取り除く駆除の処理が行われ、駆除ができない場合、ファイルの削除処理を行いま す。

隔離・・・隔離用フォルダに、そのファイルを移動します。

削除・・・バックアップが隔離用フォルダに作成された後、ファイルを削除します。

何もしない・・・特に処理は行いません。(ログに記録は残ります)

・感染が確認された時

ウイルスパターンチェックにより、感染ファイルと確認された時の動作。

「隔離」あるいは「削除」を推奨。

・感染が疑われる時

ウイルスパターンチェックでは完全に感染とは確認できなかったが、パターンが似通っているなど、

感染していることが疑わしい場合。

「隔離」を推奨。

■一括スキャン

「だいこん」に保存されているファイルが感染していなかどうか、定期的あるいは、指定時に一括してチェックする方法です。 タイミングはリアルタイムに比べ遅れますが、リアルタイムチェック時には発見されなかったウイルスを、最新のパターンファイ ルでチェック、リアルタイムまでは必要ないフォルダのチェック、リアルタイムではチェックされないシステムの領域チェックな ど、リアルタイムチェックと併用することをお勧めいたします。

一括スキャン				
実行状態	[停止中]			
スキャン対象フォルダ				
全フォルダ		対象フォルダ		
test 🔺		test 🔺		
	→ iŧ	自力n		
	削除	→ ÷		
対象外ファイル		拡張子を[]で区切って入力		
	▲ 書庫ファイル(チェックで対象外)			
	次のサイズを超えるファイルをスキップので無効)0 MB			
スキャン制限	スキャンが次の時間を超えた場合スキップので無効)0 秒			
	感染が確認された時	#42登00.722 ▼		
ウイルス検出時の動作	感染が疑われる時	推奨処理 ▼		
	オクニまた			
	○毎週			
n - Luis an ethan				
スキャンの美行	○毎月	日 時 分		
	○ 1回のみ	年月 日		
		時 分		
	○システム起動時			
	● 自動実行しない			
	登録 /	更新		

項目を変更後「登録/更新」ボタンで、有効となります。

実行状態

一括スキャン処理が動作している場合「実行中」、動作していない場合「停止中」と表示されます。
 動作中は「処理中断」ボタンが表示され、途中で処理を中断することができます。
 ※複数の一括スキャン処理を同時に行うと、メモリが多く消費され、パフォーマンも低下します。

〇スキャン対象フォルダ

ー括スキャンの対象とするフォルダを指定してください。 設定方法は「リアルタイムスキャン」と同じです。

一対象外ファイル

対象フォルダ内であっても、チェック対象外とするものを指定します。 設定方法は「リアルタイムスキャン」と同じです。

〇スキャン制限

指定のサイズより大きいファイル、スキャン処理が指定の時間を超えた場合、そのファイルに対するチェックをスキップします。 設定方法は「リアルタイムスキャン」と同じです。

〇ウイルス検出時の動作

ー括スキャンによりウイルスが検出された場合、感染したファイルをどう扱うかを指定します。 設定方法は「リアルタイムスキャン」と同じです。

スキャンの実行

・「すぐに実行」

すぐに「一括スキャン」処理を始める場合。

対象フォルダ、検出時の動作などは保存された情報を用いますので、内容を変更した場合、一旦「登録/更新」後実行してください。

・定期的な実行

指定時刻に自動的に処理されます。夜間など、負荷の少ない時に実行することをお勧めいたします。

「毎日」「毎週」「毎月」「システム起動時」

を選んだ上で、日付、時刻、曜日などを指定してください。

■パターンファイルの更新

ウイルスの検出するために必要な「パターンファイル」を、Kasperskyサーバーよりダウンロードし最新にします。

パターンファイルに登録されていないウイルスは検知できないので、常に最新に保つことが重要です。

更新のためには、「だいこん」がインターネットに接続され、IPアドレス、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーアドレス (「詳細設定」で設定)などが正しく設定されていることが必要です。

バターンファイルの更新					
実行状態	[停止中]				
バージョン	database:2015/8/14	4 23:54 (GMT) update:2015/8	8/15 15:18	:23
	バッシブFTP				
		□使用する			
ネットワーク設定		rfux			
	ラロキシザーハー の使用	ボート	3128		
		認証ID			
		認証PASS			
	すぐに実行				
更新の実行	● 指定時間間隔で	で自動更新		5	時間毎
	○ システム起動時に実行				
	- <u>-</u> -	8禄/更新			

項目を変更後「登録/更新」ボタンで、有効となります。

_____実行状態

パターンファイルの更新処理が動作している場合「実行中」、動作していない場合「停止中」と表示されます。

〇バージョン

現在のパターンファイルがいつ更新されたものかを表示します。 databse: 現在のパターンファイルの日付時刻です(GMTでの表示、JST(日本時間)は、-9時間です) update: 更新が行われた日付時刻です。

〇ネットワーク設定

・パッシブFTP

パッシブFTPモードで接続する場合、使用するにチェックを入れてください。(通常はチェック)

・プロキシサーバー

FTPまたはHTTPプロトコルでのインターネット接続がプロキシサーバーを経由する場合、指定してください。

使用する場合「使用する」にチェックを入れ、必要な情報を入力してください。

- ※「アドレス」は、IPアドレスまたは、サーバー名を入力。
- ※「認証ID/PASS」は認証が必要な場合のみです。

●更新の実行

- ・「すぐに実行」
- すぐに「パターンファイル更新」処理を始める場合。

ネットワーク設定どは保存された情報を用いますので、内容を変更した場合、一旦「登録/更新」後実行してください。

・定期的な実行

「指定時間間隔で自動更新」「システム起動時に実行」「自動実行しない」を選択。 常にパターンファイルを最新にするために、「指定時間間隔で自動更新」をお勧めいたします。 5時間など、更新間隔を指定してください。

「システム起動時に実行」は、マシン起動時に自動的に更新を行う指定です。

■隔離フォルダの管理/ログの参照

隔離フォルダの管理	
現在の使用状態	ファイル数: 2 使用容量: 136Byte 最終処理日: 2015-11-12 23:27:21 内容表示
ファイルの処理	指定ファイルを復帰 ID: ● 以前の場所 ● 共有フォルダ test ▼ ※共有フォルダの場合、指定フォルダのルートフォルダに*.res'名で復帰
ログの参照	
ログファイルの指定	bl_20151111_222241167_1061.log.0000
	参照実行 ダウンロード

一隔離フォルダの管理

「リアルタイムスキャン」「一括スキャン」において、「隔離」/「バックアップ」されたファイルの管理を行います。

・現在の使用状況

現在「隔離」/「バックアップ」されているファイルの数、総容量、最終処理日を表示します。

「内容表示」:ファイルの一覧表示を行います。

*** Anti-Virus Contents of quarantine folder ***

 ID assign share
 file name
 type
 threat
 threat name
 add time

 1
 data
 test
 ???m?F 920765.crdownload
 Backup
 Virware
 EICAR-Test-File
 2015-11-12
 23:26:03

 2
 data
 test
 ???m?F 177635.crdownload
 Backup
 Virware
 EICAR-Test-File
 2015-11-12
 23:27:21

*** End Anti-Virus Contents ***

ID: ファイルのID番号です。「指定ファイルを復帰」の際、この番号を指定します。

assign: data/backup1/backup2の割り当て。

share: 共有フォルダ名。

filename: ファイル名(文字化けして正しく表示できない場合があります)

type: Backup 削除前のバックアップ

Infected 感染したファイル

Error スキャン中エラー

PasswordProtected パスワード保護されたファイル

Corrupted 破損したファイル

Curable 駆除できる可能性のあるファイル

Clean 感染していないファイル

UserAdded ユーザーにより追加されたファイル

threat: 脅威の内容

threat name: 脅威の名前

add time: 隔離フォルダに追加された時刻

・ファイルの処理

「指定ファイルを復帰」:上記「内容表示」で表示したIDを指定し、ファイルを復帰します。

復帰場所は「以前の場所」か、「共有フォルダ」の選択が可能です。

- ・フォルダ構成の変更により、以前の場所に戻せない場合、「共有フォルダ」を指定してください。
- ・「共有フォルダ」をし指定した場合、指定の共有フォルダのルートフォルダに、

[ファイル名].resという名前で復帰します。

「全削除」:隔離フォルダ内の全ファイルを一斉に削除します。

()ログの参照

参照するログファイルを選んで、「参照実行」ボタンを押してください。

また、「ダウンロード」で、ログファイルをダウンロードすることができます。

ログ内容は「Kaspersky WEB管理画面」の方が、より見やすい形で表示されます。



http://www.kirala21.com

(C)kirala21 Co., Ltd.

「だいこん」オンラインマニュアル

←前ページ

↑メニュー

次ページ→

ブラウザ画面-> モニタ

コンピュータの状態をメール等でレポートするなど、モニタリング関連の設定をします。 以下すべての項目を設定してから、「登録/更新」ボタンを押してください。

■メール送付先の指定

以下のチェック処理すべてに共通の設定です。ここで設定した、メールアドレスにレポートが送付されます。

「送信先メールアドレス」には、メールアドレスを3個まで指定することができます。

「メール送信設定」は、メールを送信する際の、送信サーバー、その認証に関する設定です。

「だいこん」が設置されているネットワーク内から、メールを送信する際のメールソフトの設定をご覧いただき、同様に設定して ください。

〇送信 (SMTP)サーバー

メール送信時使用するサーバーを指定してください。 一般的にはインターネット接続プロバイダーのメール送信サーバーです。

(●使用ポート

接続プロバイダーの送信サーバーを使用する場合、通常は「通常(25)」です。 プロバイダー以外のサーバーを使用する場合「サブミッション(587)」を使用する場合が多くなっています。

○認証方法

接続プロバイダーの送信サーバーを使用する場合、「(なし)」で使用できる場合が多いと思われます。 それ以外は、使用するサーバーに合わせて、必要な認証方法を指定してください。 認証方法を「(なし)」以外にした場合、以下「認証ID」等の設定が必要になります。

POP before SMTP: 「認証POPサーバー」に入力されたサーバーに「認証ID」「認証パスワード」で一旦メール受信のための認証 を行った後、送信サーバーからメール送信を行います。

POP (APOP) before SMTP: 「POP before SMTP」と同様ですが、「認証パスワード」を暗号化して送付する方式 (APOP)を使用し ます。POPサーバーがAPOPに対応していない時は、エラーとなります。

SMTP認証(自動): 「送信サーバー」において「認証ID」「認証パスワード」で認証された場合のみ、送信サーバーからメール送信を行います。「認証POPサーバー」の入力は必要ありません。サーバーが対応している場合、CRAM-MD5->PLAIN->LOGINの優

先順位で自動的に認証処理を行います。

SMTP認証(CRAM-MD5):「SMTP認証(自動)」と同様ですが、必ず暗号化された、CRAM-MD5によって認証を行います。サーバーが対応していない時は、エラーとなります。

「送信テスト」

メールアドレス、サーバー、認証設定などを変更した場合は、「登録/変更」で、一旦登録を行ったあと、「送信テスト」を行っ てください。

「送信テスト」では、サーバーとの詳細なやり取りが表示され、問題の特定に役立ちます。

テスト内容がよくおわかりにならない場合、表示される内容を弊社サポートまでお送りください。

最終「OK」となっている場合、正しくメールが送信されています。「ERROR」と表示される場合、なんらかの問題があり、送信 されていません。

正しくメールが送付されるには、「<u>詳細設定</u>」において、「ディフォルトゲートウェイ」「DNSサーバーアドレス」が設定されて いなかればなりません。

メール送付先の指定			
	送信先メールアドレス		
	1 support@kirala21.com		
	2 sales@kirala21.com		
	3		
	メール送信設定		
	送信(SMTP)サーバー	smtp.kirala21.com	
メールアドレス/ マールサーバー (SMTP)	使用ポート	サブミッション (587) 💌	
אראיי עער אין אין א	認証方法	SMTP認証(自動) ▼	
	※以下は、認証が必要な場合のみ必要です。		
	認証ID	smtp-userid	
	認証バスワード	•••••	
	認証POPサーバー (POP before SMTP時)		
		※先に「登録/更新」をしてください。送信テスト	

■ディスク残量チェック

ディスクの残量をチェックし、指定した量より少なくなったとき、メールによりディスク残量を知らせます。 複数台のディスクが接続されている場合、その中の1台でも、指定残量を下回った場合が対象となります。 すべてのディスクが、指定残量以上の場合、メールは送信されません。

「設定する」にチェックを入れた場合のみ、有効となります。

	◎ 設定する(メール送f) メール件名 [RADISH]	言) 〇 設定しない Disk Check Alert	(半角英数)	すぐに実行
ディスク残量チェック	※以下の設定は「設定す タイミング	する」場合のみ必要で 1時間毎	्रे	
	レポート条件	残容量が 10	MByte以下に	なった時

◎メール件名

送付されるメールの「件名」を指定してください。すべて、半角英数です。全角、半角カナなどは使用できません。

○タイミング

チェック処理の負荷が少なく、また、ディスク残量不足は、システムに重大な影響を与えるため、1時間毎自動的に行われます。 変更できません。

●レポート条件

レポートメールを送付する場合の、残容量を指定してください。 単位はMByte(メガバイト)です。 1Gbyte = 1000Mbyte

●すぐに実行

1時間毎の自動実行によらず、今すぐチェックを行う場合、「すぐに実行」ボタンを押してください。
 ※処理は、画面が変化することなく、すぐに実行されます。
 ※実行状況の確認は、下記「モニタ履歴の表示」で行ってください。
 ※このボタンにより、「登録/更新」と同様、一旦登録が行われ、その後、チェックを行います。

computer name : VEGETABLE disk space is left only [2872]Mbyte --- Diskstatus-----[QUANTUM FIREBALL ST3.2A] total:3.10GB used:230MB remain:2.87GB used(%):7%(data back1 back2)

■ログチェック

ログの内容をチェックし、指定したログファイルに、指定したキーワードが含まれている行がある場合、その行の内容をメールに て知らせます。

この機能により、ディスク装置のエラー、不正なアクセス等を自動的に監視することができます。

ログファイルの内容につきましては、「<u>メンテナンス</u>」画面、また、チェック方法のサンプルにつきましては、弊社ホームページ 等で解説いたします。 「設定する」にチェックを入れた場合のみ、有効となります。

	● 設定する(メール送信 メール件名 [RADISH] L	i) C 設定しない .og Check Alert (半角英数) すぐに実行
	※以下の設定は「設定す タイミング	る」場合のみ必要です
	曜日	☑月□火☑水□木☑金□土☑日
ログチェック	時刻	1.12 時15 分22 時10 分 3. 時 分4. 時 分
	レポート条件	
	ロクファイル 追加条件 ※チェック後日	含む文字 更新」で、追加されます。〈最大30件〉
	🗖 boot.log 🔽	
	設定済条件 ※チェック後	町更新」で、削除されます。
	🗖 messages	error
	🗖 secure	radish

●メール件名

送付されるメールの「件名」を指定してください。すべて、半角英数です。全角、半角カナなどは使用できません。

チェックのタイミングを曜日、時刻で指定してください。時刻は1日4回まで、全曜日共通の設定となります。

ログチェックは、ログの量にもよりますが、多少マシンに負荷がかかりますので、夜間など、あまりアクセスの多くない時に行う ようにしてください。

●レポート条件

レポートメールを送付する場合の、チェック項目です。

新たなチェック条件を指定する場合

・「追加条件」のチェックボックスをチェックし、「ログファイル」、「含む文字」を指定してください。「登録/更新」により、「設定済条件」に追加されます。最大は30件までです。

設定済みの条件を削除する場合

・削除したい条件の左チェックボックスをチェックし、「登録/更新」を押すことにより、指定行の条件が削除されます。複数行 同時に削除することもできます。

※ログファイルはmessage, message.1のように、旧ファイルには数字がつけられて保管されています。この画面で指定したログ ファイルは、そのファイルだけでなく、後ろに数字のつけられた、旧ログファイルもチェック対象となります。 ※含む文字は、大文字小文字は無視して比較されます。

※実際のログファイルのチェックコマンドは

grep -i "[指定した「含む文字」" [ログファイル名]*

で実行されています。 詳しい方は、grepに対する正規表現で記述していただいても、動作します。

─すぐに実行

指定タイミングの自動実行によらず、今すぐチェックを行う場合、「すぐに実行」ボタンを押してください。 ※処理は、画面が変化することなく、すぐに実行されます。 ※実行状況の確認は、下記「モニタ履歴の表示」で行ってください。 ※このボタンにより、「登録/更新」と同様、一旦登録が行われ、その後、チェックを行います。

computer name : VEGETABLE

[messages]:error-----

/var/log/messages:Apr 12 12:10:19 vegetable radbackup[530]: error code=0 specified name not found [ftp_sv03] /var/log/messages:Apr 13 09:14:55 vegetable radbackup[530]: error code=0 specified name not found [ftp_sv03] /var/log/messages:Apr 13 22:33:53 vegetable radmonitor[1985]: event_log check ok (log=messages text=error matched=2)

■ステータスレポート

「定期レポート」は、指定タイミングに無条件でレポートメールを送付する機能です。

レポート内容は、「<u>ステータス</u>」画面に準じ、

- ・前回起動時刻
- ・CPU使用状況
- ・メモリ使用状況
- ・ディスク使用状況
- です。

「設定する」にチェックを入れた場合のみ、有効となります。

	⑦ 設定する(メール送信) メール件名 [RADISH] F) C 設定しない Report Mail	(半角英数)	すぐに実行
ステータスレポート	※以下の設定は「設定す タイミング	る」場合のみ必要で	क	
	曜日	□月Ⅳ火□水	☑木□金☑∶	±□⊟
	時刻	1.3 時0 分 2 3. 時 分 4	· 時 分 · 時 分	

●メール件名

送付されるメールの「件名」を指定してください。すべて、半角英数です。全角、半角カナなどは使用できません。

チェックのタイミングを曜日、時刻で指定してください。時刻は1日4回まで、全曜日共通の設定となります。 処理の負荷はあまり大きくはありませんので、任意の時刻で設定してください。

─すぐに実行

指定タイミングの自動実行によらず、今すぐチェックを行う場合、「すぐに実行」ボタンを押してください。 ※処理は、画面が変化することなく、すぐに実行されます。 ※実行状況の確認は、下記「モニタ履歴の表示」で行ってください。 ※このボタンにより、「登録/更新」と同様、一旦登録が行われ、その後、チェックを行います。

●メールサンプル

computer name : VEGETABLE --- Previou&ootupTime------2004/04/14 12:32:38 --- CPUstatus-----load average(%) 1min: 0 5min: 0 15min: 0 --- Memorystatus-----total:126MB used:24MB free:102MB used(%):19% --- Diskstatus------

[QUANTUM FIREBALL ST3.2A] total:3.10GB used:230MB remain:2.87GB used(%):7% (data back1 back2)

■モニタ履歴の表示

モニタ処理が行われた場合の、履歴、エラー情報などを表示します。

特に、メールが正しく送付されなかった場合などの、原因究明に役立つ情報が得られます。

モニタ履歴の表示	
モニタ履歴 20	

一件数

画面に表示する件数を指定し、「モニタ履歴」ボタンを押してください。



http://www.kirala21.com

(C)kirala21 Co., Ltd.
←前ページ

↑メニュー

次ページ→

ブラウザ画面-> シャットダウン

本サーバーをシャットダウンします。

以下の項目を指定して、「実行」ボタン

シャットダウン処理	 シャットダウン(終了) リスタート(再起動) 				
	□ 次回起動時にディス	スクの検査を実行			
アクセス状況					
ユーザー名	コンビュータ名	IPアドレス	接続開始時刻		
admin	december(win)	192.168.253.254 07/21 23:55			
※注意! 接続中のユーザーが存在します。					
実 行		キャンセル			

シャットダウン処理

「シャットダウン(終了)」するか、「リスタート(再起動)」するか選択してください。

「次回起動時にディスクの検査を実行」は、ディスクの検査を行う場合設定してください。

前回チェック以降、一定の時間を経過していると、起動時にディスクの検査は自動的に行われますが、ディスクの状態を確認する ために、可能であれば、頻繁にディスクの検査を行うことをお勧めいたします。

●アクセス状況

現在の本サーバーへのアクセス状況です。

アクセスがある状態でシャットダウンすると、接続ユーザーが開いているファイルなどが壊れることがあります。

接続ユーザーの使用状況を確認してから、シャットダウンするようにしてください。

※アクセス=ファイルオープンではありません。一度アクセスすると、ログオフするまでリストに残ります。



http://www.kirala21.com

←前ページ

↑メニュー

次ページ→

ブラウザ画面-> ライセンスキー

※「<u>ディスクモード</u>」でのみ、使用可能です。

お客様コード、ライセンスキーの登録をします。

以下の項目を指定して、「登録/更新」ボタン

お客様コード	100
ライセンスキー	ABCDEFGHIJKL
	登録 / 更新

─お客様コード/ライセンスキー

弊社が発行した、お客様コード、ライセンスキーを入力してください。



http://www.kirala21.com

←前ページ

↑メニュー

次ページ→

クライアントの設定-> Windows95/98/Meクライアント

本サーバーと接続できるようにするには、クライアントパソコンのネットワーク設定を、正しく行うことが必要です。 クライアントの設定に関しての詳しい説明は、別の書籍等をご覧ください。

◎基本的な設定事項

本サーバーは、基本的に、通常のWindowsサーバーと同様の扱いになります。

WindowsサーバーとTCP/IPプロトコルにより(NetBEUIは非サポート)通信できるよう設定してください。

・本製品が動作するサーバーと、ネットワークで接続されている。

・サーバーと通信ができるよう、TCP/IPが正しく設定されている。(IPアドレス、ネットマスク、ゲートウェイなど)

・Microsoftネットワーククライアントがインストールされている。

・Windowsログオンユーザー名/パスワードが、本サーバー「ユーザー設定」で設定したものと一致している。

・ワークグループ名が、本サーバー「基本設定」で設定したものと一致している。(必須ではありません)

・クライアントのコンピュータ名/ワークグループ名に<u>全角文字(漢字など)を使用すると、アクセスできない場合があります</u>。 半角で指定してください。

・本サーバーの共有フォルダに適切な権限が設定されている。

・ウイルスチェック、セキュリティ系のソフトウェアがTCP/IPでの外部との通信を遮断していないこと。

・ネットワークの途中で、TCP/IPの必要な通信がフィルタリングされていないこと。

※設定方法は、Windowsのバージョンにより多少異なります。

〇ネットワークの設定

「コントロールパネル->ネットワークの設定」で設定してください。

ネットワーク設定例:

※以下の図の中で、「ダイアルアップアダプタ」「TCP/IP->ダイアルアップアダプタ」は、本サーバー接続には必要ありません。

ネットワーク			<u>?×</u>
ネットワークの設定 識別情報 〕	アクセスの制御		
	1.00		
現在のネットワークコンホーネン			
Interest イットワーク クライ INTEREST AND	1 アント A) - CD022(A) for	POMOIA	
ダイヤルアップ アダプタ	10, 0002240 10	10000	
TCP/IP -> TDK LAK-CD	021 (BX AX A),-CD	022(A) for	PCMCIA
🍹 TCP/IP -> ダイヤルアップ 🕻	アダプタ		
追加(<u>A</u>)	削除(<u>E</u>)	לם לי	(निर(<u>R)</u>
優先的にログオンするネットワーク	ケ(<u>L</u>):		
Microsoft ネットワーク クライア	ント		
ファイルとプリンタの共有(F)	. 1		
TOP/IP は、インターネットや	WAN への接続に使	用するプロト	コルです。
		ок	キャンセル

TCP/IPのプロパティ例:

※ネットワーク内にDHCPサーバーがある、本製品のDHCPサーバーを有効にしている場合の設定

TCP/IPのプロパティ			<u>? ×</u>
バインド 詳細設定 NetBIOS	6│DNS 設定│ゲート	ウェイ WINS 設定	[גטאק יוי]
IP アドレスは DHCP サーバー れます。ネットワークが自動的 一ク管理者がアドレスを割り当 い。	によって自動的にこの) に IP アドレスを割り当 行ます。この場合はア	コンピュータに書り当て 行ない場合は、ネッ ドレスを入力してくだ	ら 内 さ
○ IP アドレスを自動的(2)	.取得(<u>O</u>)		
□ IP アドレスを指定(S)			
IP アドレスの:			
サブネット マスク(山):			
		OK	キャンセル

識別情報の設定例:

※ワークグループ、コンピュータ名は、半角文字でない場合、ネットワークアクセスが出来ない場合あがあります。

ネットワーク		? ×
ネットワークの設定 識別情	報】アクセスの制御	
 広の情報は、 別するために 前と所属する 力してくださ 	ネットワーク上でコンピュータを識 使われます。 このコンピュータの名 ワークグループ名、簡単な説明を入 い。	
コンピュータ名:	pc001	
ワークグループ:	workgroup	
コンピュータの説明:		
	0K ++>	/セル

ヘネットワーク設定状態の確認

スタートメニュー->ファイル名を指定して実行 で

winipcfg

を実行して、現在のTCP/IPの設定状態を確認してください。

〇ユーザー名の確認

図の様に、スタートメニューの「x x x x のログオフ」、あるいは、起動時の「ネットワークパスワードの入力」で現れるものが 現在のユーザー名です。

新たなユーザー名でログインするには、「ネットワークパスワードの入力」で新しいユーザー名/パスワードを入力してください。

また、一度でもログインしたことのあるユーザーのパスワードを変更するには、「コントロールパネル->パスワード」を使用して ください。

※Windowsのバージョンにより表示は変わります。

※このユーザー名/パスワードが、本サーバーで設定したものと異なっていると、アクセスできません。

※ただし、「フォルダの登録」で「ゲストアクセス」を有効にしている場合、未登録ユーザーは「ゲスト」としてアクセス可能に なります。

※「ゲスト」は、ユーザー名が未登録の場合で、登録済ユーザー名でパスワードが間違っている場合は、アクセスできません。 ※ユーザー名が漢字など全角文字の場合、ゲストでのアクセスができません。



一サーバーへの接続

ネットワークコンピュータ(マイネットワーク)において、サーバーのコンピュータ名、その下階層に共有フォルダが表示されま す。

※ネットワークの状況、起動タイミングによっては、ネットワークコンピュータ(マイネットワーク)に、本サーバーが現れない ことがあります。「ネットワークコンピュータ」アイコンの上で、マウスの右ボタンを押し、「コンピュータの検索」を使用し て、サーバーを検索してください。

※共有フォルダにアクセスしようとしたときに、ユーザー名/パスワードを求められる場合、現在のWindowsへのログオンユー ザー名/パスワードが、本サーバーで設定したものと異なっています。

○ネットワークプリンタへの接続

通常のWindowsネットワークプリンタと同様に、「プリンタの追加」ウイザードを使用して、プリンタの設定を行います。 プリンタドライバは、ローカルにインストールする必要があります。



http://www.kirala21.com

←前ページ

↑メニュー

次ページ→

クライアントの設定-> WindowsNT4.0/2000/XPクライアント

本サーバーと接続できるようにするには、クライアントパソコンのネットワーク設定を、正しく行うことが必要です。 クライアントの設定に関しての詳しい説明は、別の書籍等をご覧ください。

●基本的な設定事項

本サーバーは、基本的に、通常のWindowsサーバーと同様の扱いになります。

WindowsサーバーとTCP/IPプロトコルにより(NetBEUIは非サポート)通信できるよう設定してください。

- ・本製品が動作するサーバーと、ネットワークで接続されている。
- ・サーバーと通信ができるよう、TCP/IPが正しく設定されている。(IPアドレス、ネットマスク、ゲートウェイなど)
- ・Microsoftネットワーククライアントがインストールされている。
- ・Windowsログオンユーザー名/パスワードが、本サーバー「ユーザー設定」で設定したものと一致している。
- ・ワークグループ名が、本サーバー「基本設定」で設定したものと一致している。(必須ではありません)
- ・クライアントのコンピュータ名/ワークグループ名に<u>全角文字(漢字など)を使用すると、アクセスできない場合があります</u>。 半角で指定してください。
- ・本サーバーの共有フォルダに適切な権限が設定されている。
- ・ウイルスチェック、セキュリティ系のソフトウェアがTCP/IPでの外部との通信を遮断していないこと。
- ・ネットワークの途中で、TCP/IPの必要な通信がフィルタリングされていないこと。

WindowsVISTAから接続する場合の注意

以下の設定変更を行わないと、接続ができません。(認証エラーとなる)

- ・[スタート]->[検索の開始]で「regedit」と入力
- ・HKEY_LOCAL_MACHINE 以下の [SYSTEM]->[CurrentControlSet]->[Control]->[Lsa]を順にたどる
- ・[LmCompatibilityLevel]をダブルクリックし、値を「1」に変更

※設定方法は、Windowsのバージョンにより多少異なります。

WindowsNT4.0 ネットワークの設定

Administrator権限でログオンし、「コントロールパネル->ネットワークの設定」で設定してください。

「プロトコル」「TCP/IPプロトコル」のプロパティにおいて、TCP/IPの設定を行います。

— Windows2000/Xp ネットワークの設定

Administrator権限でログオンし、「コントロールパネル->ネットワークとダイヤルアップ接続->ローカルエリア接続->プロパ

ネットワーク設定例:

🔸 ローカル エリア接続 のプロパティ 🔹 🕐 🔀
全般認証詳細設定
接続の方法:
Intel(R) PRO/1000 MT Desktop Adapter
構成(_)
この接続は、次の項目を使用します(型):
✓ ■ Microsoft ネットワーク用クライアント
✓ ☆ インターネット プロトコル (TCP/IP)
インストール(M) 削除(1) プロパティ(R)
説明 伝送期御プロトコルノインターネットプロトコル、相互接続されたさまざまな
ネットワーク間の通信を提供する、既定のワイドエリアネットワークプロトコ ルです。
□ 1支元型式と人間大山門県収化とイノンクークを取った9 る\
OK *****#

インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ例:

※IPアドレスを固定している場合の設定例

※ネットワーク内にDHCPサーバーがある、本製品のDHCPサーバーを有効にしている場合、「IPアドレスを自動的に取得する」を

選択

インターネット プロトコル (TCP/IP)のプロパ	ቻィ				? 🔀
全般					
ネットワークでこの機能がサポートされている場合 きます。サポートされていない場合は、ネットワー てください。	は、IP ク管理者	設定を値 行に通り	自動的 Dな IP i	こ取得する 没定を問い	ることがで い合わせ
○ IP アドレスを自動的に取得する(Q)					
 次の IP アドレスを使う(<u>S</u>): 	100	140	0	051	
IF アトレス型: サブネット マフクルウ	192	108	265	251	
デフォルト ゲートウェイ(D):	200	200	200		
 ○ DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B) ● 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E): 優先 DNS サーバー(P): 					
代替 DNS サーバー(<u>A</u>):					
				II¥#IIIg;	È₩
	(C)K		キャンセル

コンピュータ名、ワークグループの設定:

Administrator権限でログオンし、「コントロールパネル->システム」の「ネットワークID」で設定してください。 ※ワークグループ、コンピュータ名は、半角文字でない場合、ネットワークアクセスが出来ない場合あがあります。

ネットワーク設定状態の確認

「スタートメニュー->ファイル名を指定して実行」で

 cmd

コマンドプロンプトで、

ipconfig /all

にて、現在のTCP/IPの設定状況を確認することができます。

〇ユーザー名の確認

起動時に入力する、ユーザー名、パスワードが現在有効なものとなります。

※パスワードの変更は、ログイン後「ctrl+alt+delete」キー入力で表示される画面で、「パスワードの変更」を実行してください。

※このユーザー名/パスワードが、本サーバーで設定したものと異なっていると、アクセスできません。

※ただし、「フォルダの登録」で「ゲストアクセス」を有効にしている場合、未登録ユーザーは「ゲスト」としてアクセス可能に なります。

※「ゲスト」は、ユーザー名が未登録の場合で、登録済ユーザー名でパスワードが間違っている場合は、アクセスできません。 ※ユーザー名が漢字など全角文字の場合、ゲストでのアクセスはできません。

<u>WindowsXPでのユーザー名</u>

WindowsXPでは、初期ログオン時表示されるユーザー名と、内部的に認識されているユーザー名が異なることがあります。 現在のユーザー名を知るには、スタートボタンのあるツールバーで、マウスの右ボタンを押すか、「ctrl+alt+delete」キー入力で 表示される画面で、「タスクマネージャー」を選択し、「ユーザー」ページをご覧ください。

一サーバーへの接続

マイネットワークにおいて、サーバーのコンピュータ名、その下階層に共有フォルダが表示されます。

※ネットワークの状況、起動タイミングによっては、ネットワークコンピュータ(マイネットワーク)に、本サーバーが現れない ことがあります。「「マイネットワーク」アイコンの上で、マウスの右ボタンを押し、「コンピュータの検索」を使用して、サー バーを検索してください。

※共有フォルダにアクセスしようとしたときに、ユーザー名/パスワードを求められる場合、現在のWindowsへのログオンユー ザー名/パスワードが、本サーバーで設定したものと異なっています。

○ネットワークプリンタへの接続

通常のWindowsネットワークプリンタと同様に、「プリンタの追加」ウイザードを使用して、プリンタの設定を行います。 プリンタドライバは、ローカルにインストールする必要があります。

また、プリンタをインストールするには、ローカルマシンのAdministrators権限が必要です。



http://www.kirala21.com (C)kirala21 Co., Ltd.

←前ページ

↑メニュー

次ページ→

クライアントの設定-> Macintoshクライアント

本サーバーと接続できるようにするには、クライアントパソコンのネットワーク設定を、正しく行うことが必要です。

クライアントの設定に関しての詳しい説明は、別の書籍等をご覧ください。

※Macintoshから接続するには(smb接続以外)、「基本設定」で、「Macintosh接続」を「設定する」にしてください。

●基本的な設定事項

本サーバーは、AppleTalk, AFP (TCP/IP)サーバーとしての扱いになります。

・本製品が動作するサーバーと、ネットワークで接続されている。

・サーバーと通信ができるよう、AppleTalk, TCP/IPが正しく設定されている。(IPアドレス、ネットマスク、ゲートウェイなど)

・接続時のユーザー名、パスワードが、本サーバー「ユーザー設定」で設定したものと一致している。

・本サーバーの共有フォルダに適切な権限が設定されている。

・ウイルスチェック、セキュリティ系のソフトウェアがTCP/IPでの外部との通信を遮断していないこと。

・ネットワークの途中で、TCP/IPの必要な通信がフィルタリングされていないこと。

・31文字を超えるファイル名を、参照、保管することはできません。

・Macintoshがスリープモードになった場合、MacOS~9では、約2分、MacOS Xで約60分接続が解除されます。スリープモードに 入らないようにするか、ファイルを必ず保管するようにしてください。

・MacOS X 10.5以降では、「クリアテキストでのパスワードの送信を可能にする」設定変更により接続はできますが、日本語表示ができません。

MacOS 7.6-9.2.2 ネットワーク設定

「アップルメニュー→コントロールパネル→TCP/IP」で設定します。

「アップルメニュー→コントロールパネル→AppleTalk」を開き、経由先に「Ethernet」を選びます。



MacOS 7.6-9.2.2 サーバーへの接続

「アップルメニュー→セレクタ」を開きます。

「AppleShare」を選択し、「ファイルサーバの選択」で「VEGETABLE」(「基本設定」で設定した、コンピュータ名)を選び [OK]を押します。



ユーザー名/パスワードを入力して「接続」

※「フォルダ登録」で「ゲストユーザーの使用」を可能にしている場合、「ゲスト」でのアクセスが可能になります。 ※ユーザーパスワードは、この画面「パスワードの変更」で可能です。

ー 次のファイルサーバに接続します。"VEGETABLE"
○ ゲスト ● 登録利用者
名前: user
パスワード: ・・・・ 🔲 キーチェーンに追加
(暗号化パスワード転送)
パスワードの変更 キャンセル 接続 接続
J1-3.8.8

共有したいフォルダを選択し[OK]。

N	VEGETABLE 使用したい項目を選択してください。
	share
	チェックされた項目が起動時に開きます。
	(≠ャンセル) (OK) J1-3.8.8

デスクトップに選択した共有フォルダが現れます。このフォルダにアクセスして使用します。

MacOS X 10.1-10.4 ネットワークの設定

「アップルメニュー→システム環境設定→ネットワーク→TCP/IP」で設定します。

「AppleTalk」では、「AppleTalk使用」をチェックします。

00		ネットワ	ーク			6
し べてを表示	F12761 992	ド 起動ディスク				
	場	所:〔自動		;		
表示: 内蔵	Ethernet	•)			
	TCP/IP	PPPoE App	oleTalk ブロ	キシ		
	設定: 手入力			•		
			DNS #-//			_
	P アドレス: 192	.168.0.251				
サブネ	ットマスク:255	.255.255.0				
	ルータ:		検索ドメイ	>	(オプション)
Etherne	et アドレス: 00:0	a:95:67:1a:c8	例: apple.c earthlir	o.jp ik.net		

MacOS X 10.1-10.4 サーバーへの接続

	サーバへ接	続
リストからサーバ	を選ぶか、サーバの	0アドレスを入力します
場所: 🔒	VEGETABLE:*	:
🚱 *	Þ	
🚱 DEC	▶	
🚱 Local	▶	Sec. X
😫 VEGETABLE:*		
🚱 WORKGROUP	•	
	名前 URL	i: VEGETABLE:* : afp:/at/VEGETABLE:*
項目		
アドレス: afp:/at/	VEGETABLE:*	
よく使う項目に追加) (†	ャンセル 接続

リストからサーバーを選び、「接続」

サーバへ接続						
リストからサーバを選ぶか、サーバのアドレスを入力します						
場所: 😫 V	場所: 🔮 VEGETABLE:* 🚺 🔺					
🚱 *	Þ					
🚱 DEC	⊳					
🚱 Local	⊳	01-01-				
VEGETABLE:*						
🚱 WORKGROUP	►					
		名前: VEGETABLE:* URL: afp:/at/VEGETABLE:*				
4 項目						
アドレス: afp:/at/V	EGETA	BLE:*				
よく使う項目に追加		キャンセル 接続				

ユーザー名/パスワードを入力して「接続」

※Macintoshクライアントから、「ゲスト」アクセスはできません。

※ユーザーパスワードは、この画面「オプション->パスワードの変更」で可能です。

	次のファイルサーバに接続しま す"VEGETABLE":	
	 ○ ゲスト ● 登録ユーザ 	
	名前: nomura	1
	パスワード:]
(オプション キャンセル 接続	,

共有したいフォルダを選択し[OK]。

VEGETABLE マウントするポリュームを選択します
share
文字セット: 日本語 キャンセル OK

デスクトップに選択した共有フォルダが現れます。このフォルダにアクセスして使用します。



http://www.kirala21.com

←前ページ

↑メニュー

次ページ→

クライアントの設定-> Windowsドメイン/WINS/ブラウジング

■ドメインコントローラ

本製品は、WindowsNT4.0Server相当のプライマリドメインコントローラとして、動作させることが可能です。

※バックアップドメインコントローラにはなれません。

※ドメイングループの扱い、プリンタなどドメイン上の資源への権限設定など、Windowsドメインコントローラとは異なる部分があります。

ドメインコントローラの設定

本サーバーを、プライマリドメインコントローラにするには、「<u>詳細設定</u>」において、「ドメインコントローラ」を「設定する」 にしてください。

ドメインコントローラにするメリット

本サーバーをプライマリドメインコントローラにし、クライアントを、ドメインログオンの設定しした場合、以下の機能が得られ ます。

- ・クライアントで変更したパスワードが、本サーバーと同期される。
- ・クライアントマシンの時刻を、サーバーと同期させることができる。

・WindowsNT4.0/2000/Xpクライアントの場合、個別に接続ユーザーを登録しなくても、ドメインユーザーに対して、クライアント上の共有フォルダ、共有プリンタの権限設定が行える。

一クライアントの設定

※設定方法は、Windowsのバージョンにより多少異なります。

• Windows95/98/Me

「コントロールパネル->ネットワーク」における「Windowsネットワーククライアント」のプロパティで、「WindowsNTのドメ インにログオンする」にチェックを入れ、本サーバー「基本設定」の「ワークグループ名」で指定した名前を、「WindowsNTド メイン」として入力。

・WindowsNT4.0/2000/Xp(Professional) Administrator権限でログオンし、

1.本サーバー「コンピュータの登録」で、WindowsNT4.0/2000/Xpクライアントのコンピュータ名を登録。
 2.クライアントで、ドメインへの参加を登録。

(NT) 「コントロールパネル->ネットワーク」の「識別」で、で、「変更」->「プロパティ」ボタンを押し、ドメイン名を入力。 (2000) 「コントロールパネル->システム」の「ネットワークID」で、「プロパティ」ボタンを押し、「次のメンバ」として「ドメ イン」を選択し、ドメイン名を入力。

(Xp)「コントロールパネル->システム」の「コンピュータ名」で、「変更」ボタンを押し、「次のメンバ」として「ドメイン」を 選択し、ドメイン名を入力。

3.「OK」を押すと、「ドメインに参加する許可を与えられたアカウントのユーザー名とパスワードを入力してください」と聞いて きます。

ユーザー名:root

パスワード:adminユーザーのパスワード

を入力してください。

4.その際「このコンピュータアカウントをドメインに作成する」は行わないで下さい。

5.「x x x x ドメインへようこそ」などのメッセージがでれば完了です。

ご注意

※「使用されているアカウントはコンピュータアカウントです。このサーバーにアクセスするにはグローバルユーザーアカウント 又はローカルユーザーアカウントを使用して下さい。」

というエラーメッセージが出る場合は、「コンピュータの登録」が正しく出来ていません。

※WindowsXP(Professional)において、

「ドメインに接続できません。ドメイン コントローラがダウンしているか利用できない状態になっている、・・・」 のメッセージが出て、ドメインにログオンできない場合があります。その場合、

「コントロールパネル」 「管理ツール」 「ローカル セキュリティ ポリシー」において 「ローカル セキュリティ設定」 を起動して、「ローカル ポリシー」 「セキュリティ」フォルダにおいて「ドメイン メンバ:常にセキュリティ チャネル のデータをデジタル的に暗号化または署名する」を無効に設定してください。

■他ドメインコントローラ/サーバーへの認証の移譲

ネットワーク上に、別のドメインコントローラ/NT4.0/2000/XP(Professional)コンピュータがある場合、ユーザー認証を移譲する ことができます。

本サーバーには、ユーザー名の登録は必要ですが、パスワードの認証は、指定ドメインコントローラ/サーバーで行います。

認証が一箇所で行えることにより、本サーバーでは、パスワードのメンテナンスの必要がなくなります。

また、「ユーザーの自動追加」機能を使用すれば、移譲したサーバーで認証されたユーザーが、本サーバーに自動追加されるため、さらにメンテナンスが容易になります。

※認証を移譲した場合、Macintosh/FTPサーバーの認証も同様に別サーバーで行われます。

一他サーバーへの認証の移譲設定

「<u>詳細設定</u>」において、「ドメインコントローラ」を「認証を別サーバーに委ねる」にして、「認証を委ねるサーバー名」にサー バー名を設定してください。

126 / 165 ページ

WINS

WINSはWindows環境下における、IPアドレスとコンピュータ名の関連付けを行うネームサーバーです。

本製品では、「ドメインコントローラ」にした場合、WINSサーバーとして動作するようになります。

ネットワークがルータをまたぐ場合は必ず、ローカルネットワークにおいても、WINSサーバーを使用すると名前解決がスムーズ に行われます。

本サーバーを「ドメインコントローラ」以外に設定した場合で、ネットワーク上にWINSサーバーがある場合、「<u>詳細設定</u>」にお いて「WINSサーバー」を極力設定してください。

■コンピュータブラウジング

「ネットワークコンピュータ」「マイネットワーク」では、コンピュータの一覧が表示されますが、それら、ネットワーク上の共 有資源を管理するのが、マスタブラウザと呼ばれる機能です。

マスタブラウザは、ネットワーク上で、必要に応じて、いずれかのWindowsPCが担います。

本サーバーは、ドメインコントローラの設定により、以下のレベルで、マスタブラウザといしての役割の担いやすさが変わりま す。

■各設定における詳細情報

「<u>詳細設定</u>」における、「ドメインコントローラ」の設定による違い。

ドメインコントローラの設 定	プライマリ ドメインコントロー ラ	WINSサー バー	ローカル マスタブラウ ザ	ドメイン マスタブラウ ザ	ブラウジング OSレベル
設定する	0	0	0	0	2000Server以上 (65)
設定しない	×	×	0	×	2000Professional以 上 2000Server以下 (20)
認証を別サーバーに委ねる	×	×	×	×	-



http://www.kirala21.com

←前ページ

↑メニュー

クライアントの設定-> WindowsVista/7/8/8.1/10クライアント

WindowsVista/7/8/8.1/10クライアントから接続する場合、WindowsXP等と同様の設定に加え、以下の追加設定が必要になりま す。

以下設定を行わない場合、「認証エラー」となり接続できません。

🦳 「ローカルセキュリティポリシー」による設定

WindowsVista Business/Premium, Windows7 Professional以上、 Windows8/8.1 Pro以上、Windows10 Pro以上の場合。

※管理者権限が必要です。

※これらのWindowsをお使いの場合、以下の「レジストリエディタによる設定」でも設定は可能です。

「コントロールパネル」-「管理ツール」内にある、「ローカルセキュリティポリシー」を開きます。

「ローカルポリシー」「セキュリティオプション」にある

「ネットワークセキュリティ: LAN Manager認証レベル」

に対し

「LMとNTLMを送信する(ネゴシエートした場合NTLMv2セッションセキュリティを使う」

を設定してください。

🛼 ローカル セキュリティ ポリシー

ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)

🗢 🍬 🙍 📆 🗙 🖾 🔒		
🛃 セキュリティの設定	ポリシー	セキュリティの設定
> 🌇 アカウントポリシー	Imp ネットワーク アクセス: 匿名の SID と名前の変換を許可	該当なし
◇ 100-カル ボリシー	闘 ネットワーク アクセス:名前付きパイプと共有への匿名の	有効
> 📫 監査ホリン-	🔝 ネットワーク セキュリティ: Kerberos で許可する暗号化の	未定義
> 2 セキュリティオプション	🞆 ネットワーク セキュリティ: LAN Manager 認証レベル	LMとNTLMを送信する(ネゴシエー
> 📓 セキュリティが強化された Window	脳ネットワーク セキュリティ: LocalSystem による NULL セッ	未定義
🧰 ネットワーク リスト マネージャー ポリミ	◎ オットワーク セキュリテイ: NILM SSP ベース (セキュア KP ◎ カットローク やキュリティ NTLM SSP ベース (セキュア PD	128ビット喧方化か必要 128ビット喧与ルポム亜
> 🔛 公開キーのボリシー		120 [7]1頃 510/7必安 去定盖
> IIII ソフトウエアの制限のハリシー 、 IIII マプロケーミットンキリタロポリミッニ		未定義

次ページ→



レジストリエディタによる設定

WindowsVista HomePremium 以下, Windows7 HomePremium 以下 、 Windows8、Windows10 Home等の場合。 Windowsから「ローカルセキュリティポリシー」が省かれているため、直接レジストリエディタによる設定が必要になります。 ※管理者権限が必要です。

「ファイル名を指定して実行」あるいは「検索」等で"regedit"と入力し、レジストリエディタを起動。

- ・HKEY_LOCAL_MACHINE 以下の [SYSTEM]->[CurrentControlSet]->[Control]->[Lsa]を順にたどる
- ・[LmCompatibilityLeve |]がある場合、[LmCompatibilityLeve | をダブルクリックし、値を「1」に変更
- ・[LmCompatibilityLeve |]がない場合、DWORD値を持つ[LmCompatibilityLeve |]を作成し、"1"を設定

🏥 レジストリ エディター			- 🗆 X		
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ヘルプ(H)					
InitialMachineConfig IPMI Keyboard Layout Lsa Lsa LsaExtensionConfig LsaInformation ManufacturingMode MediaCategories	名前 Authentication Packages 题 Bounds 题 crashonauditfail 题 disabledomaincreds 题 everyoneincludesanonymous 题 forceguest 题 fullprivilegeauditing	種類 REG_MULTI_SZ REG_BINARY REG_DWORD REG_DWORD REG_DWORD REG_DWORD REG_BINARY	データ ^ msv1_0 00 30 00 00 00 20 00 00 0x00000000 (0) 0x00000000 (0) 0x00000000 (0) 0x00000000 (0) 0x00000000 (0) 00		
 MediaDRM MediaInterfaces MediaProperties MediaTypes MSDTC MUI NetDiagFx NetProvision NetTrace Network Network Network Second Structure 		REG_DWORD REG_DWORD REG_DWORD REG_DWORD REG_DWORD REG_DWORD REG_DWORD REG_DWORD REG_DWORD REG_DWORD REG_MULTI_SZ	0x00000001 (1) 0x00000001 (1) 0x000000368 (872) 0x00000001 (1) scecli 0x00000006 (6) 0x00000000 (0) 0x000000001 (1) 0x00000001 (1) kerberos msv1_0 schannel w		
コンピューター¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥ControlSet001¥Control¥Lsa					



http://www.kirala21.com

←前ページ

↑メニュー

次ページ→

その他情報-> 技術仕様

●基本システム

カーネル	Linuxカーネル2.6.32-693
Windowsサービス	Version 2.2.11-ja-1.0
Macintoshサービス	netatalk 1.6.1
プリンタサービス	samba, netatalk, lpr
WEB管理ツール	自社開発
FTPサーバー	vsftp-1.1.3
FTPクライアント	lftp-2.6.7
アンチウイルス(オプショ	Kasporsky Anti Virus/TM) 8
ン)	Raspersky Anti- Virus(TM) o

●主な使用ポート

ポートNO	プロトコル	説明
1	ddp (Apple Talk)	Routing Table Maintenance Protocol (Macintosh)
2	ddp (Apple Talk)	Name Binding Protocol (Macintosh)
4	ddp (Apple Talk)	AppleTalk Echo Protocol (Macintosh)
6	ddp (Apple Talk)	Zone Information Protocol (Macintosh)
21	tcp	ftp(server,client)
53	udp	dns
67	udp	BOOTP server (dhcp server)
68	udp	BOOTP client (dhcp client)
80	tcp, udp	管理ツール
123	tcp, udp	ntp(client)
137	tcp, udp	netbios name service (Windows)
138	udp	netbios datagram service (Windows)
139	tcp	netbios session service (Windows)
445	tcp. udp	microsoft-ds (Windows)
515	tcp	line printer spooler (lpr)
548	tcp, udp	AFP over TCP (Macintosh)

←前ページ

↑メニュー

次ページ→

その他情報-> 対応ネットワークインターフェースカード

対応ネットワークカード(イーサネット)

※対応はPCIバス(PCI-Eを含む)製品のみです。

※基本的には製品名ではなく、チップの型番で掲載しています。確認のためには、インタフェースのチップ型番を調べる必要があ ります。

※表は各ドライバにおける対応製品表記を記載したものです。弊社において動作確認を行ったものではありません。

※表に記載したものでも、ドライバの不備、ハードウェア環境、バージョン違い等により、動作しない場合があります。※必ずご購入前に動作をご確認ください。

※緑色のものは、前バージョンのあとに追加されたものです。

メーカー	製品名	使用ドライバ
	3c450,3c555,3c590,3c595,3c900,3c905,3C920,3c980,	3c59x
	3c982,3CSOHO100	
2	3c940	skge
Scom	3c985	acenic
	3C990,3CR990	typhoon
	3CSOHO100B	tulip
Abocom	21x4x DEC-Tulip,ADMtek Centaur-C	tulip
A contain	21x4x DEC-Tulip,EN-1216,EN-1217	tulip
Accton	SMC2-1211TX	8139too
Adaptec	ANA620xx/ANA69011A	starfire
Addtron	RTL8139	8139too
ADMtek	21x4x DEC-Tulip,NC100	tulip
	79c970,79c978	pcnet32
AMD	AMD-8111	amd8111e
ALi	M5261,ULi 1689,ULi 1573	uli526x
	21x4x DEC-Tulip	tulip
Allied Telesyn	RTL81xx	8139too
		r8169
Alteon Networks	AceNIC,Farallon PN9100-T	acenic
Altima	AC1000,AC1001,AC1003,AC9100	tg3
	Intrepid2,K2,Shasta,UniNorth,	sungem

Apple	UniNorth 2,Pangea	
	Tigon3	tg3
Asix	AX88141	tulip
	570x,	tg3
	(NetLink)	
	BCM57780,BCM57781,BCM57785,BCM57788,	
	BCM57790,BCM57791,BCM57795,	
	BCM5781,BCM5784,BCM5785,BCM5786,BCM5787,	
	BCM5789,BCM5906,	
	(NetXtreme)	
	5714S,BCM5700,BCM5701,BCM5702,BCM5703,	
	BCM5704,BCM5705,BCM5714,BCM5715,BCM5717,	
	BCM5718,BCM5719,BCM5720,BCM5721,BCM5722,	
	BCM5723,BCM5751,BCM5752,BCM5753,BCM5754,	
Broadcom	BCM5755,BCM5756,BCM5761,BCM5764,	
	BCM57760,BCM57761,BCM57765,BCM5780,	
	BCM5782,BCM5788,BCM5901,	
	BCM5725, BCM5727, BCM5762, BCM57762, BCM57766, BCM57780,	
	BCM5787M, BCM57764, BCM57767, BCM57782, BCM57786, BCM57787	
	BCM4401,BCM4402	b44
	NC370	bnx2
	(NetXtreme II)	
	BCM5706,BCM5708,BCM5709,BCM5716	
	(NetXtreme II)	bnx2x
	BCM57710,BCM57711,BCM57712,BCM57800,	
	BCM57810,BCM57840, BCM57811	
Brocade	-	bna
	T210	cxgb
	S310-CR,N320-G2-CR,S320-LP-CR,	cxgb3
	T302,T310,T320	
	PE10K,T404-BT,T420-BCH,T420-BT,T420-CR,	cxgb4
Chelsio	T420-CX,T420-SO,T422-CR,T440-BCH,	
	T440-CH,T440-CR, T440-LP-CR, T480,	
	B404, B420, B504, B520, T420, T420X, T440, T440F, T480, T504, T520,	
	T522, T540, T560, T580	
Cisco	VIC Ethernet NIC	enic
CNet	GigaCard	skge
		-

HNE-300	8139too
NetFlex-3/P,Netelligent 10/100,	tlan
ReadyLink 2000	ne2k-pci
RL100-ATX 10/100	winbond-840
RL100TX	tulip
HCF 56k Modem	tulip
Ethernet 100/10 MBit	dmfe
21x4x DEC-Tulip	tulip
RTL81xx	8139too
DECchip 21040,21041	de2104x
DECchip 21140,21142,21143	tulip
Farallon PN9000SX	acenic
-	ipg
-	tulip
DFE-550TX/FX,DFE-580TX,DL10050	sundance
RTL8139	8139too
DGE-528T, DGE-560T	r8169
DGE-530T	skge
DGE-550SX,DGE-550T,DGE-560SX,DGE-560T	sky2
DL2000	dl2k
RTL81xx	8139too
LAN9420/LAN9420i	smsc9420
BladeEngine2,BladeEngine3,OneConnect,OneConnect(Skyhawk-VF)	be2net
X3100 Series	vxge
Xframe,Xframe II	s2io
-	tg3
SC92031	sc92031
PN672TX	tulip
PCI NE2K	ne2k-pci
21145	tulip
80003ES2LAN,	e1000e
82562G/GT/V,82566DC/DM/MC/MM,	
82567LF/LM/V/,82571EB/PT,82572EI,	
82573E/L/V,82574L,82577LC/LM,8258DC/DM,	
82579LM/V,82583V,I217-LM,I217-V,I218-V,I218-LM,I129-M,I129-V	
	HNE-300 NetFlex-3/P,Netelligent 10/100, ReadyLink 2000 RL100-ATX 10/100 RL100TX HCF 56k Modem Ethernet 100/10 MBit 21x4x DEC-Tulip RTL81xx DECchip 21040,21041 DECchip 21140,21142,21143 Farallon PN9000SX - DECchip 21140,21142,21143 Farallon PN9000SX - DEE-550TX/FX,DFE-580TX,DL10050 RTL8139 DGE-528T, DGE-560T DGE-530T DGE-530T DGE-530T DGE-550SX,DGE-550T,DGE-560SX,DGE-560T DL2000 RTL81xx LAN9420/LAN9420i BladeEngine2,BladeEngine3,OneConnect,OneConnect(Skyhawk-VF) X3100 Series Xframe,Xframe II - SC92031 PN672TX PCI NE2K 21145 80003ES2LAN, 82567LF/LM/V/,82571EB/PT,82572EI, 82573E/L/V,82574L,82577LC/LM,8258BC/DM, 92573E/L/V,82574L,82577LC/LM,8258BC/DM, 92573E/LV/,82574L,82577LC/LM,8258BC/DM,

	Aculab E1/T1 PMXc,DP83815	natsemi
National Semiconductor	DP83065	cassini
	DP83820	ns83820
Netgear	GA620,GA630	acenic
NetVin	NV5000SC	ne2k-pci
NetVer	NX3031,NXB-10GCX4,NXB-10GXSR,	netxen_nic
Netzen	NXB-4GCU,XG Mgmt	
Northern Telecom	RTL81xx	8139too
	CK804,CK8S,MCP04,MCP2A,MCP51,MCP55,MCP61,	forcedeth
NVIDIA	MCP65,MCP67,MCP73,MCP77,MCP79,MCP89,	
	nForce,nForce2,nForce3	
Olicom	OC-2183,OC-2185,OC-2325,OC-2326	tlan
	Cassini	cassini
Oracla (SUN	GEM	sungem
Oracle/SUN	Happy Meal	sunhme
	Multithreaded	niu
Peppercon	ROL/F-100	8139too
Planey	-	tulip
ridnex	RTL81xx	8139too
	10GbE Converged	qlge
Ologic	cLOM8214, ISP8324 1/10GbE, QLE844X, QLE8830, QLE8C30	qlcnic
QLOGIC	ISP4022-based,ISP4032-based	qla3xxx
	57840	bnx2x
	Attansic L1	atl1
	Attansic L2	atl2
Qualcomm Atheros	AR8131,AR8132,AR8151,AR8152	atl1c
	AR8121,AR8113,AR8114	atl1e
	AR8161,AR8162,QCA8171,QCA8172,E2200	alx
RDC Semiconductor	R6040	r6040
	RTL-8129,RTL-8139/8139C/8139C+	8139too
	RTL-8029(AS)	ne2k-pci
Realtek	RTL-8101E,RTL-8102E,RTL-8110SC,RTL-8111,	r8169
	RTL-8129,RTL-8168B,RTL-8169,,RTL-8169SC	
	RTL-8139/8139C/8139C+	8139ср
Rohm	-	pch_gbe
Sega		8139too

Silicon Graphics	AceNIC	acenic
cic	190,191	sis190
515	SiS7016,SiS900	sis900
Solarflare	SFC4000,SFC9020,SFL9021, SFC9120, SFC9140, SFC9220	sfc
SMC	83c170,83c175	epic100
STMicroelectronics	21x4x DEC-Tulip	tulip
	IP1000,TC902x	ipg
Sundance	IP100A,ST201	sundance
	ТС902х	dl2k
Surecom	NE-34	ne2k-pci
	SK-9871,SK-9872	skge
SysKonnect¦	SK-9Dxx,SK-9Mxx	tg3
	SK-9E21D,SK-9S21	sky2
ток	RTL81xx	tulip
Tehuti Networks	10-Giga TOE	tehuti
Trident	4DWave DX	pcnet32
TTTech AG	TTP-Monitoring Card V2.0	8139ср
U.S. Robotics	USR997902	r8169
	VT6102,VT6105,VT6106S,VT6105M,VT86C100A	via-rhine
VIA	VT6120,VT6121,VT6122	via-velocity
	VT82C926	ne2k-pci
M/indu and	W89C840	winbond-840
vvindona	W89C940	ne2k-pci



http://www.kirala21.com

←前ページ

↑メニュー

次ページ→

その他情報-> 対応SCSI/RAIDカード

対応ATA/SCSI/SAS/RAIDカード

※対応はPCIバス製品のみです。

※基本的には製品名ではなく、チップの型番で掲載しています。確認のためには、インタフェースのチップ型番を調べる必要があ ります。

※表は各ドライバにおける対応製品表記を記載したものです。弊社において動作確認を行ったものではありません。

※表に記載したものでも、ファームウェアのバージョン、ドライバの不備、ハードウェア環境、バージョン違い等により、動作しない場合があります。

※必ずご購入前に動作をご確認ください。

※緑色は、前バージョン以降に追加されたものです。

	(1) ロ ク	インタ	住田ドニノバ
メーカー		フェース	
	5xxx/6xxx PATA-RAID	IDE	3w-xxxx
	7xxx/8xxx PATA/SATA-RAID	SATA	3w-xxxx
3ware	9xxx SATA-RAID, 9550sx,9650SE SATAII RAID	SATA	3w-9xxx
	9690SA SAS/SATAII RAID		
	9750 SAS2/SATA-II	SAS	3w-sas
	Themisto, Catapult, Tomcat, Callisto	SCSI	aacraid
	AAC-RAID series		
	ASR-2020ZCR, ASR-2025ZCR, ASR-2130S, ASR-2230S, ASR-2240S		
	Legend S220,S230, 2120S, 2200S, 3230S, 3240S		
	ASR-4005SAS, ASR-4000, ASR-4800S, AS4805SAS,	SAS	aacraid
	SRC 8x6G SAS, Series 7 6G SAS, Series 8 12G SAS, Series 9		
	ASR-2020SA, ASR-2025SA, ASR-2420SA, ASR-2620SA, ASR-	SATA	aacraid
	2820SA		
	AAR-2610SA, AAR-2410SA, AAR-2810SA, AAR-21610SA		
	ASC-29320/A/B/LP/ALP/LPE, ASC-39320/A/B/D,	SCSI	aic79xx
	AIC-7901/A, AIC-7902/B		
	AHA-2940/U/W/UW/D/U2/U2W/U2B, AHA-2930CU/UW/U2, AHA-	SCSI	aic7xxx
	2904, AHA-294x, AHA-2950U2B, AHA-39xx, AHA-		
	3940/U/UW/W/AU/AUW/AUWD/UWD/U2x, AHA-		
	3950U2B/U2x/U2D, AHA-3985, AHA-2944/W/UW, AHA-		

	3944/U/W//UW/AUWD, AHA-4944W/UW, AHA-29160/C/N/LP,		
Adaptec	AHA-19160, AHA-3960D, AAA-131U2		
	AIC-7815, AIC-7810, AIC-7821, AIC-7850, AIC-7855, AIC-3860,		
	AIC-1480, AIC-7860, AIC-7861, AIC-7870, AIC-7871, AIC-7872,		
	AIC-7873, AIC-7874, AIC-7875, AIC-7875, AIC-7876, AIC-7880U,		
	AIC-7890, AIC-7891, AIC-7895, AIC-7881U, AIC-7882U, AIC-		
	7883U, AIC-7884U, AIC-7885, AIC-7886, AIC-788x, AIC-7888, AIC-		
	7896, AIC-7896U2, AIC-7897U2,AIC-7892A/B/D/P, AIC-7899B/D/P		
	SAS AIC-9410W, AIC-9405W	SAS	aic94xx
	SAS ASC-58300		
	SCSI Adaptor (571E,571F)	SCSI	ipr
	SAS Adapter (572A,572C,572B,572D,572F)	SAS	ipr
	ServeRAID	SCSI	ips
	1420SA, 1430SA	SATA	sata_mv
	AAR-1210SA	SATA	sata_sil
	ASC-1405	SAS	mvsas
	Series 9	SAS	smartpqi
	SmartHBA-SA 4i/4e8i/8e/16i	SAS	hpsa
	ICP9085LI, ICP5085BR, ICP5445AU,	SAS	aacraid
Adaptec (ICP vortex)	ICP9024RO, ICP9014RO	SCSI	aacraid
	ІСР9047МА, ІСР9087МА, ІСР9067МА	SATA	aacraid
	ASC1100/1200, ABP940-U, ABP940-UW, ABP940-U2W, ABP960-	SCSI	advansys
Advanced System	U, ABP3950-U3W		
	M5228, M5229	IDE	pata_ali
	ULi M5288 SATA(AHCI)	SATA	ahci
ALI	ALi M5281, ULi 5287, ULi 5289	SATA	sata_uli
	ALi M5281 SATA RAID	SATA	sata_via
	CS5536	IDE	pata_cs5535
AMD	CS5536	IDE	pata_cs5536
	CS5536, AMD-755,756,766,768,81111 IDE	IDE	pata_amd
	Hudson IDE Controller	IDE	pata_atiixp
	Hudson SATA Controller,CZ SATA	SATA	ahci
	53c974	SCSI	tmscsim
	MegaRAID 428, 434	SCSI	megaraid
AMI/LSI Logic	MegaRAID 438, 466, 467		
	ARC-1110, ARC-1120, ARC-1130, ARC-1160, ARC-1170, ARC-1200,	SATA	arcmsr
	ARC-1210, ARC-1220, ARC-1230, ARC-1231, ARC-1260, ARC-1680,		

Areca Technology	ARC-1880		
	ARC-1300ix-16, 1320	SAS	mvsas
	ATP867	IDE	pata_atp867x
Artop Electronic	ATP850UF, ATP860, ATP865	IDE	pata_artop
	AEC6710, AEC6712/UW/U/S/D/SUW, AEC67160/S, AEC16712	SCSI	atp870u
ASMedia	ASM1060, ASM1061, ASM1062	SATA	ahci
Technology			
	Dual Channel BusMater IDE, 3xx PATA, SB400, SB600, SB700, SB800 IDE	IDE	pata_atiixp
ATI	SB600, SB700, SB800 SATA	SATA	ahci
	436E, IXP SB400 SATA	SATA	sata_sil
Atto	Ultra320 SCSI	SCSI	mptspi
	OSB4, OSB5, OSB6, BCM5785	IDE	pata_serverworks
Broadcom	K2, RAIDCore RC4000, BCM5785 [HT1000], HT1100	SATA	sata_svw
	400	FC	mtpfc
Brocade	415/815/41B/81B, 425/825/42B/82B,	FC	bfa
	804 8Gbps, 1860 16Gbps, 1867/1869 16Gbps		
BusLogic	BT-946C, Flashpoint LT	SCSI	BusLogic
Compag	Smart-2/P, Smart-2SL, Smart Array 221, 3100ES, 3200	SCSI	cpqarray
Compaq	(DEC) Smart Array 4200, 4250ES, 431		
DEC	NetRAID-4M, 5400S	SCSI	aacraid
	PowerEdge 2/SC, 2/DC,	SCSI	megaraid
	PowerEdge 4/DC, 4/SC, 4/Di, 4e/Si, 4e/Di	SCSI	megaraid_mbox
	PowerEdge 3/QC, 3/SC, 3/DC, 4/QC		
	PowerEdge 1750		
Dell	CERC RAID ATA100/4CH	IDE	megaraid_mbox
	PowerEdge 2, 320/DC, 2/Si	SCSI	aacraid
	PowerEdge 2400, 2450, 4400		
	PowerEdge 3/Si, 3/DiV, 3/DiL, 3/Di, 3/DiJ, 3/DiD, 3/DiB		
	CERC SATA 6ch	SATA	aacraid
	PowerEdge PERC 5i, 6i	SAS	megaraid_sas
DPT(adaptec)	SmartRAID V Controller	SCSI	dpt_i2o
	SmartRAID V Controller	SCSI	i2o_block
	PM2x24/PM3224, SmartCache/Raid I-IV	SCSI	eata
DTC	Domex 536	SCSI	dmx3191d
	Domex DMX3194UP	SCSI	initio

	LP6000, Proteus-X, Saturn, LP952, Thor, Helios, Zephyr, Neptune,	FC	lpfc
	Saturn-X, LP7000, LP8000, LP9000, LP9802, Thor-X, Viper, Herios-		
Emulex	X, Zephyr-X, Saturn-X, Proteus-X, Helios-X,		
	LightPulse 8Gb/s PCle, LPSe12002 EmulexSecure,		
	Lancer-X, LightPulse 16Gb, LPe32000		
Enmotus	8000 Storage	SATA	ahci
Future Domain	TMC-18C30	SCSI	fdomain
	Smart Array 5300, 5i, 532, 5312, 6i, 641, 642, 6400, 6400EM	SCSI	cciss
	3Gb/s SAS RAID, P800, P400, P400i, E200i, E200, E500, P700m	SAS	cciss
	P212, P410, P410i, P411, P711m, 712m, P812, P230i, P430,	SAS	hpsa
HP(Compaq)	P431, P731m, P830, P830i, Generation 6, Generation 8 controlles,		
	Generation 9 controlles, 1210m, P1224, P1228, P1224e, P1228e		
	NetRAID-1Si, NetRAID-3Si	SCSI	megaraid
	MegaRAID 438, MegaRAID T5		
	HPT366/368/370/370A/372/372N	IDE	pata_hpt366
	HPT366/368/370/370A/372/372A/372N/302/302N/371/371N/372N	IDE	pata_hpt3x2n
	HPT366/368/370/370A/372/372A/372N/302/302N/371/371N/374	IDE	pata_hpt37x
	HPT343/345/346/363	IDE	pata_hpt3x3
	RocketRAID 3220, 3320	SATA	hptiop
	361x, 362x, 364x, 366x, 368x, 369x, 452x		
	RocketRAID 1720, 1740, 1742, 230x, 2310	SATA	sata_mv
	RocketRAID 2644	SAS/SATA	rr2644
HighPoint	RocketRAID 2620, 2640	SAS/SATA	rr26xx
	RocketRAID 2710, 2711, 2720, 2721, 2722, 2724	SAS/SATA	rr272x_1x
	RocketRaid 2730, 2740, 2744	SATA	rr274x_3x
	RocketRaid 2760, 2762	SATA	rr276x
	RocketRAID 2782	SATA	rr278x
	RocketRAID 62x SATA	SATA	rr62x
	RocketRAID 64x SATA	SATA	rr64x
	RocketRAID 640L, 642L, 644L, 644LS	SATA	rr640l
	ServeRAID 8i, 8k/8k-14, 8k/8k-18	SAS	aacraid
	SCSI Adapter (2780,571B,571A)	SCSI	ipr
	SAS Adapter (572E,572A,572C,572B,571D,574E,57B3,)	SAS	ipr
IBM	IPR SAS Adapter (ASIC)		
	ServeRAID controller	SCSI	ips
	II, 3H, 3L, 4H, 4M, 4L, 4Mx, 4Lx, 5i , 5i, 6M , 6i, 7t, 7k, 7M		
ICP Vortex(intel)	GDT Raid Controller	SCSI	gdth

	INI-920 935 940 950	scsi	initio
Initio		CATA	coto inic162v
		IDE	pata_sch
	82371FB	IDE	pata_oldpiix
	82801, ICH4, ICH5, ICH6, ICH7, ICH8,	IDE	ata_piix
	6300ESB, 631xESB, 632xESB, 82371SB PIIX3, 82371AB/EB/MB		
	PIIX4, 82440MX, 82372FB PIIX5, Virtual PC		
	ІСН6, ІСН7, ІСН8, ІСН9, ІСН10,	SATA	ahci
	631xESB, 632xESB, EP80579		
	5 Series, 3400 Series, Ibex Peak, 6 Series,		
	C600/X79 series, 7 Series, Panther Point, DH89xxCC,		
	C2000, Wellsburg sSATA, Lynx Point-LP, 8 Series/C220, 9 Series		
	ValleyView, Coleto Creek, Wildcat Point-LP, Sunrise Point-LP,		
Intel	Sunrise Point-H		
	6thGen-skylake(Z170, H170, B150, H110),		
	7thGen-kabylake(200 series)		
	ІСН5, ІСН6, ІСН7, ІСН8, ІСН9, ІСН10,	SATA	ata_piix
	6300ESB, 631xESB, 632xESB, EP80579, 3100, 5 Series,		
	3400 Series, 6 Series, C600/X79 series, 7 Series		
	C2000, Wellsburg sSATA, DH89xxCC, Lynx Point-LP. 8		
	Series/C220, 9 Series		
	C600/X79 series, C602, C604/X79 series, C606, C608	SAS	isci
	80960RP (i960RP)	SCSI	megaraid
	80960RP (i960RP)	SCSI	i2o_block
	GD31244	SATA	sata_vsc
JMicron Technology	JMB362	SATA	ahci
	Integrated Smart Array, RAID LC2	SCSI	cpqarray
	MegaRAID	SATA	megaraid_mbox
	MegaRAID	SCSI	megaraid_mbox
	MagaRAID SAS 1078, 1078DE, 9240, 9260, Verde ZCR,	SAS	megaraid_sas
	2208, SAS-3 3108, SAS-3 3008,		
	SAS 2208 IOV, SAS3408, SAS3504, SAS3508, SAS3516,		
	SAS-3 3216/3224/3316		
LSI Logic	SAS1064, SAS4068, SAS1064ET, SAS1068E, SAS1078,	SAS	mptsas
	SAS8208ELP, SAS8208ELP		
	SAS2116, SAS2004, SAS2008, SAS2108, SAS2208	SAS	mpt2sas

	SAS2308, SSS6200, SAS3108, SAS3004, SAS3008		
	SAS3216, SAS3316, SAS3324, SAS3408, SAS3508, SAS3416, SAS3516	SAS	mpt3sas
	FC909, FC929, FC919, FC929X, FC919X, FC949X, FC939X, FC949ES	FC	mptfc
	53c1030, 53c1035	SCSI	mptspi
ITE	IT8213	IDE	pata_it8213
	IT8211F, IT8212	IDE	pata_it821x
	88SE6440,MV64460/64461/64462, 9180, 9480, 88SE644,	SAS	mvsas
	88SE9445, 88SE9480, 88SE9485		
	88SE6121, 88SE6414 SATA,	SATA	ahci
	88SE9123, 88SE9125		
Marvell	88SE912x, 88SE9170, 88SE9172, 88SE9230		
	88SE6101, 88SE6121, 88SE6145	IDE	pata_marvell
	MV885X5040, MV885X5041, MV885X5080, MV885X5081,	SATA	sata_mv
	MV885X6041, 885X6042, 885X6042, MV885X6081, 885X7042		
Micron	Samurai_IDE	IDE	ata_generic
	DAC960P, DAC960PD, DAC960PG,	SCSI	DAC960
	eXtremeRAID 2000/3000		
Mylex	AcceleRAID 352/170/160		
	U320 SCSI/RAID	SCSI	ipr
National	CS5535 IDE	IDE	pata_cs5535
Semiconductor			
	СК804, СК85, МСР04, МСР2А, МСР51, МСР55, МСР61, МСР65,	IDE	pata_amd
	MCP67, MCP73, MCP78S, nForce, nForce2, nForce3		
	МСР65, МСР67, МСР73, МСР77, МСР7В, МСР78S, МСР79,	SATA	ahci
nVidia	MCP89, MCP SATA2		
	GeForce 7100/nForce 630i, GeForce 8200		
	MCP04 , CK804, nForce2, nForce3, MCP51, MCP55, MCP61	SATA	sata_nv
OCZ Technology	RevoDrive 3, zDriveR4, PCI-Express SSD		
OPTi	82C558	IDE	ata_generic
Pacific Digital	ADMA-100 DiscStaQ	IDE	pdc_adma
	QMaster Controller	SATA	sata_qstor
PMC-Sierra	BR522x [PMC-Sierra maxRAID SAS Controller]	SAS	pmcraid
	PDC20246, PDC20263, PDC20262 (FastTrak66/Ultra66),	IDE	pata_pdc202xx_old
	PDC20265(FastTrak100 Lite/Ultra100), PDC20267		
	(FastTrak100/Ultra100),		
	PDC20275, PDC20268 (Ultra100 TX2), PDC20269, PDC20276	IDE	pata_pdc2027x

	(MBFastTrak133 Lite), PDC20270 (FastTrak100 LP/TX2/TX4),			
	PDC20271 (FastTrak TX2000), PDC20277 (SBFastTrak133 Lite)			
	PDC20318 (SATA150 TX4), PDC20319 (FastTrak S150 TX4),	SATA	sata_promise	
	PDC20371 (FastTrak S150 TX2plus), PDC20378 (FastTrak 378/SATA	A I		
	378), PDC20375 (SATA150 TX2plus), PDC20376 (FastTrak 376),			
	PDC40719 [FastTrak TX4300/TX4310], PDC40519 (FastTrak			
	TX4200), 20771 (FastTrak TX2300), PDC20571 (FastTrak TX2200),			
	PDC20579 SATAII 150 IDE Controller, PDC40779 (SATA 300 779),			
Promise	PDC40718 (SATA 300 TX4), PDC20518/PDC40518 (SATAII 150			
	TX4), PDC40775 (SATA 300 TX2plus), PDC20575 (SATAII150			
	TX2plus), PDC20619 (FastTrak TX4000)			
	PDC42819 [FastTrak TX2650/TX4650]	SATA	ahci	
	FastTrak TX8660			
	PDC20621 [SATA150 SX4]	SATA	sata_sx4	
	80333 [SuperTrak EX4350][SuperTrak EX24350][SuperTrak	SATA	stex	
	EX8350/EX16350][SuperTrak EX12350][SuperTrak EX24350],			
	80331 [SuperTrak EX8300/EX16300],			
	81384 [SuperTrak EX SAS and SATA RAID Controller], PM8010	SAS	stex	
	[SuperTrak EX SAS and SATA 6G RAID Controller]			
	SATAII 150 SX8	SATA	sx8	
	ISP10160, ISP1020, ISP1080, ISP12160, ISP1240, ISP1280	SCSI	qla1280	
	QLA2100, QLA200, QLA2300,	FC	qla2xxx	
QLogic	ISP2312, ISP2322, ISP2422, ISP2432, ISP2532, ISP2432M			
	SP232, SP202, SP212, ISP2714, ISP2722			
	R1010	IDE	pata_it821x	
RDC	1011, 1012	IDE	pata_rdc	
Samsung Electronics	Apple PCIe SSD, XP941 PCIe SSD	SATA	ahci	
	PCI0643, PCI0646, PCI0648, PCI0649	IDE	pata_cmd64x	
	PC10680	IDE	pata_sil680	
SiliconImage	3112, 3114, 3512	SATA	sata_sil	
	3132, 3124, 3531	SATA	sata_sil24	
	AHCI Controller	SATA	ahci	
SiS	180, 182 SATA Controller	SATA	sata_sis	
	5513 [IDE]	IDE	pata_sis	
ST Microelectronics	ST ConneXt	SATA	ahci	
	53c810, 53c820, 53c825, 53c815, 53c810AP, 53c860, 53c1510,	SCSI	sym53c8xx	
Symbios/LSI	53C896/897, 53c895, 53c885, 53c875, 53C1510, 53c895a,			
------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------	------	--------------	--
	53c875a, 53c1010, 53c875J			
Tekram	TRM-S1040 (DC395/DC315)	SCSI	dc395x	
Toshiba America	EX-IDE	IDE	ata_generic	
United	UM8673F, UM8886BF, UM8886A	IDE	ata_generic	
Microelectronics				
[UMC]				
	VT82C576MV	IDE	ata_generic	
VIA	VT82C586A/B/VT82C686/A/B/VT823x/A/C, CX700/VX700, VT82C576M/VT82C586, VT6410, VX800, VX855/VX875, 9000	IDE	pata_via	
	VT8237A, VT6420 , VT6421, VT8251, VT6421, 9000	SATA	sata_via	
Vitesse	VSC-7174	SATA	sata_vsc	
VMWare	PVSCSI SCSI Controller	SCSI	vmw_pvscsi	
WorkBit	Ninja(0x8008,f008,f02c)	IDE	pata_ninja32	
	NinjaSCSI-32	SCSI	nsp32	



http://www.kirala21.com

(C)kirala21 Co., Ltd.

「だいこん」オンラインマニュアル

←前ページ

↑メニュー

次ページ→

その他情報-> リリースノート

(1.5.2 (2003/08/01)

1.5.x初期バージョン

1.5.3 (2003/08/05)

- ・ユーザー名/グループ名の最大長を12より16に変更。
- ・フォルダ名文字に'\$'の使用を許可。
- ・印刷最終スプールが、印刷後にも残されていたが、削除するよう変更。

1.5.4 (2003/09/08)

- ・NTPサーバーとの時刻同期機能追加(詳細設定)
- ・「認証を別サーバーに委ねる」場合、認証を受けたユーザーを自動追加する機能追加(詳細設定)
- ・WINSサーバーのアドレス設定を追加(詳細設定)
- ・ユーザー/グループ/プリンタ/コンピュータ登録時、選択コンボボックス内を、文字順にソート
- ・ユーザー登録で「admin」、グループ登録で「管理者」を選択後、選択コンボボックス内が「新規登録」と表示されていたのを

修正

- ・ステータス画面で、ディスクの使用量が22G程度を超えた場合、正しく表示されていなかったのを修正
- ・コンソール画面で、日本語文字が乱れるのを一部修正
- ・Intel イーサーネットドライバアップデート。以下のチップに新たに対応。

Gigabit 82541,82542,82543,82544,82545,82547

PRO/100 82550

1.6.1 (2003/11/06)

・FTPサーバー機能追加。

- ・FTPサーバー、Macintosh認証において、「認証を別サーバーに委ねる」を有効にする。
- ・対Windows共有、FTPサーバーへのリモートバックアップ機能追加。
- ・バックアップセットの追加、名前変更などを可能に。履歴表示を詳細にする。
- ・DNSサーバーの設定を追加(詳細設定)。
- ・アクセス制限機能を追加(アクセス制限)。
- ・テキストファイルからのユーザーー括登録機能(メンテナンス)。
- ・設定ファイルのブラウザ画面での保存、復旧(メンテナンス)。
- ・自動シャットダウン機能(メンテナンス)。
- ・コンソール画面に「設定を初期状態に戻す」を追加。
- ・[users]グループを使用可能に。

・ブラウザシャットダウン画面において、接続ユーザーがいないのに「接続ユーザーがいます」メッセージが出ていたのを修正。

[]1.7.0 (2004/04/23)

- ・アクセス制限機能の再調整。
- ・自動シャットダウンで、「再起動なし、ディスクチェックあり」設定時の動作修正。
- ・DNSサーバー情報保存の修正。
- ・SCSIドライバ、ネットワークカードドライバのアップグレード、追加(詳しくは、対応情報)。
- ・メンテナンスにおいて、ログの表示機能追加。
- ・メンテナンスにおいて、マッキントッシュ向け、接続リセット機能追加。
- ・メンテナンス、ユーザーー括登録時、ホームフォルダ作成機能追加。
- ・IDEチャネル、3rd,4thの対応。
- ・ステータスにおいて、前回起動時刻、スワップファイルの表示追加。
- ・ステータスモニタリンク機能の追加。
- ・スワップファイル機能の追加。
- ・アンチウイルス機能(オプション)対応。

1.8.1c (2008/06/04)

(1.7.0->1.8.0-pr1)

- ・「モニタ」機能によるメール送付時、3番目のアドレスが無効であったのを修正
- ・「メンテナンス」に、ディスクのチューニング項目を追加
- ・グループ所属メンバーが30を超えたとき、再起動時、正しく読み込まれないのを修正
- ・対Windows共有に対するバックアップで、一部の漢字コードを含むファイル名の場合、コピーされなかったのを修正
- ・カーネールのアップ(2.4.18-14->2.4.22)
- ・i865チップセット、SATA (i865、Sil3112)をはじめ、新しいハードウェアに対応。
- ・sambaのアップ(2.2.7a->2.2.11)
- (1.8.0-pr1->pr2)
- ・Promise SATAカードドライバ変更
- (1.8.0-pr2->pr3)
- ・カーネルのアップ(2.4.22->2.4.28)、SATA系(ICH5/6など)の新ハードウェアに対応
- ・メンテナンスページにおいて表示が出来ない場合があるのを解消
- ・ステータスページ、250日以上連続稼動させた場合、CPUステータスが100%固定になるのを解消
- ・ステータスページ、ネットワークステータスを追加
- ・コンソール設定おいて、サブネットマスク、ゲートウェイの修正を可能に ■追加・修正内容 1.8.0-pr3->pr4 ・ステータスペー
- ジ、ネットワークステータスの表示バグ修正
- ・ステータスページ、DISK I/Oステータスを追加
- (1.8.0-pr4->pr4a)
- ・"x.x.x.x sent an invalid ICMP type 3, code 3 error to a broadcast:"メッセージへの対応

147 / 165 ページ

(1.8.0-pr4a->pr5)

- ・samba(Windows共有)の日本語版への変更(2.2.11-ja)
- ・Promise FastTrakTX2200/4200 対応
- (1.8.0-pr5->pr5a)
- ・ステータス画面でユーザー名がすべてuserと表示されてしまうのを修正
- (1.8.0-pr5a->pr6a)
- ・USBディスク対応
- ・RocketRAID133、434の問題修正
- ・Promise FastTrakでの問題修正
- ・RealTek8139/8169での問題修正
- (1.8.0-pr6a->pr7b)
- ・コンソール画面でのゲートウェイ設定を空白でもOKに
- ・ライブラリのアップデート(ユーザー数が非常に多い場合の設定エラーを修正)
- ・WEBステータス画面での、ディスク使用量の計算を変更
- ・Intel ICH7 SATAディスクのサポート
- ・WEBへのログインエラー時、再ログインリンクを作成
- ・一般ユーザー向けWEB画面を追加。一般ユーザーが自身のパスワード変更可能に
- ・バックアップ時に詳細な内容を表示する、フォアグラウンド処理を追加
- ・NIC VIA Velocityを追加
- ・アンチウイルスにおいて、2006年以降パターンファイル更新に障害が起こるのを回避するための修正バージョン(アンチウイル
- スのアップデートは下記を参照)
- (1.8.0-pr7b->pr8b)
- ・コンソール画面でのスクリーンセイバーを無効に
- ・1テラバイトオーバーのディスクサポート(2テラまで)
- ・Intel NICドライバアップデート
- ・バックアップエリアにおける、Macintosh環境のリセット処理を追加
- ・Adaptec 1210SA, Silicon Image 3512 サポート追加
- (1.8.0-pr8b->pr11)
- ・シャットダウン画面でCD-ROMの取り出しを可能に
- ・BROADCOMネットワークドライバのアップデート
- ・共有フォルダでファイルアクセスログのサポート(Win,FTP)
- ・共有フォルダでゴミ箱のサポート(Win,FTP)
- ・FTPでゲストアクセスのサポート
- ・バックアップで詳細ログを残すオプション
- ・Linuxカーネール、ドライバのアップデート
- ・USB CD-ROMのサポート
- ・3Wareドライバ追加
- ・F-Secureアンチウイルスでパターンファイル更新時のエラーを解消

- ・SAS系ドライバ追加 DELL PERC5他(megaraid) Adaptec adp94xx DELL SAS 5iR他(LSI Logic SAS106x)
- ・AACRAIDドライバアップデート
- (1.8.0-pr11->pr12)
- ・アンチウイルスエンジンをKasperskyに変更
- ・ahciドライバアップデート
- (1.8.0-pr12->pr13)
- ・アンチウイルスインタフェース修正
- ・モニタ機能で、メール送信時、送信サーバーの認証に対応
- ・ログのダウンロード対応
- ・ich9x対応(ahci,ata_piix)
- (1.8.0-pr13->1.8.1)
- ・SATA CD-ROMに対応
- ・Realtek, Intel, Broadcom ネットワークドライバアップデート、追加
- ・USBメモリ起動に対応
- ・「詳細設定」「認証を委ねるサーバー名」にIPアドレスの設定を可に
- ・1.8.0-pr4a以前からの日本語ファイル名アップデートツールを追加
- (1.8.1->1.8.1a)
- ・アンチウイルスで追加ライセンス登録に関する問題を修正
- (1.8.1a->1.8.1b)
- ・AACRAIDドライバの問題修正
- (1.8.1b->1.8.1c)
- ・「モニタ」機能で、ディスク残量チェックが設定されていない場合エラーとなる。メール件名の使用箇所の修正。

()1.8.2(2009/10/06)

- ・「メンテナンス」画面、ごみ箱内をすぐに削除する機能を追加
- ・ネットワークカードの登録時、未対応のカードがあると、他のカードが使用できない問題を修正
- ・Windowsで作成したフォルダに、Macintosh接続から書き込みができない問題を修正
- ・Windows共有へのバックアップ時、ファイルが隠しファイルになる問題を修正

1.8.3(2010/09/15)

- ・SMBによるリモートバックアップ時、2Gを超えるファイル転送が出来なかったのを修正
- ・Intelネットワークカードドライバをアップデート(e1000,e1000e,igb)

1.8.3a(2010/12/15)

- ・ドライバのアップデート(ahci,ata_piix,tg3)。
- インテルSATA(3400,3420)系の追加対応。
- Broadcomネットワークカードの追加対応。

()1.9.2(2016/04/10)

- ・カーネル/ドライバのアップデート。
- ・KasperpskyAntivirusのアップデート
- ・システムソフトウェア等、新しい環境に合わせて調整、再コンパイル。

(1.9.3(2016/08/10)

- ・ドライバ(skylake/ahci,e1000e.igb)のアップデート。
- ・Windowsへのバックアップ時、認証エラーを起こす問題の対処。
- ・古いWindows共有へのバックアップ時、文字化けを起こす問題への対処。

()1.9.4(2018/06/28)

・カーネル、ドライバのアップデート



http://www.kirala21.com

(C)kirala21 Co., Ltd.

「だいこん」オンラインマニュアル

↑メニュー

←前ページ

その他情報-> お問合せ

●お問合せは

販売店サポート窓口 _または 弊社サポート窓口

support@kirala21.com

までお願いいたします。

◎「だいこん」 オンラインマニュアル

Ver1.9.4 updated 2018/06/28

有限会社キララ21

http://www.kirala21.com

(C)kirala21 Co., Ltd.



http://www.kirala21.com

(C)kirala21 Co., Ltd.

次ページ→

「だいこん」オンラインマニュアル

←前ページ

↑メニュー

次ページ→

その他情報-> 1.8.0-pr4a以前からのアップデート

1.8.0-pr4a以前のバージョンをお使いの環境から、1.8.1以降へバージョンアップを行った場合、

一部漢字のフォルダ、ファイル名が、Windowsクライアントから見えなくなる場合があります。

漢字コードの扱いの違いにより、このような現象が起きます

対象となるフォルダ、ファイル名は、以下の文字を含むものです。

[SJIS:8754-875d]
IIIIVVVIVIIVIIXX
[SJIS:8782,8784, 878a, 8790-8792, 8795- 8797, 879a-879c]
N⊴TEL㈱≒≡√⊥∠∵∩∪
[SJIS:ed40-ed62]
/ 編褜
[SJIS:ed63-ed7e]
//////////////////////////////////////
[SJIS:ed80-ede0]
塚增 涇浯
[SJIS:ede1-edfc]
涖涬
[SJIS:ee40-ee62]
犾猤 礼神
[SJIS:ee63-ee7e]
祥禔
[SJIS:ee80-eee0]
董蘒 驎髙
[SJIS:eee1-eeec]
高鼎分 龠呉黑
[SJIS:eeef-eef8]
i ii iviv v vi viiviii x x
[SJIS:eef9,eefa-eefc]
[SJIS:fa54,fa5b]
¬∵

【対処方法】

対処として、以下の方法があります。

いづれかの方法で変換をお願いします。

■1.8.0-pr4a以前の環境で、対象となるフォルダ/ファイル名を変更する

問題となるファイル名/フォルダを、対象となる文字を含まないよう、事前に変更し、その後バージョンアップを行う方法です。 対象となるものが限られている場合、最も簡単で、確実な方法です。 どのファイル/フォルダが対象かわからない場合、数量が多い場合、以下の変換ツールを使用して変換をかけてください。

本製品を実行しているPCで、以下のように

vegatable>tools[enter]

と入力してください。

※この処理が可能なのは、「ディスクモード」で実行中の時のみです。



以下のようなメニュー画面になります。

1-9の番号を入力し[enter]で、処理は実行されます。

9[enter]で終了します。

No.>
9. exit
3. Kanji Conv /Delete log (kjconv.log)
2. Kanji Conv (<=1.8.0-pr4a)/exec RENAME
1. Kanji Conv (<=1.8.0-pr4a)/check Only
radish tools

◎変換対象となるファイル/フォルダ名のチェック

1. Kanji Conv (<=1.8.0-pr4a)/check Only

変換する必要のあるフォルダ/ファイル名が存在するかどうかのチェックを行います。 この処理では、チェックのみで、ファイル/フォルダ名は変更されません。 まずは、この処理を行い、変換の必要があるかどうか確認してください。

以下のように、チェックが行われます。[enter]キーで画面は終了します。

*** sjis to sjis converter ver 1.0.1 **** (c)kirala21

--- checking files ---[not renamed]---

--- [share area]---

/test/XXXXXX

--- [backup1 area]---

/test/XXXXXX

--- [backup2 area]---

/test/XXXXXX

--- files to be changed [3] ---

*** end ****

[share area]:共有フォルダの保存されているもの [backup1 area]: バックアップ1に保存されているもの [backup2 area]: バックアップ2に保存されているもの

/test/XXXXXX

など、対象となるフォルダ/ファイルが存在する場合、表示されます。 ただし、日本語ファイル名は、文字化けして、正しく表示されません。

・ファイル名を確認するには [<u>メンテナンス</u>]での「■システムログの参照」において、[kjconv.log]を参照してください。 処理の記録は、こちらに保存されたいます。

──変換対象となるファイル/フォルダ名の変換

2. Kanji Conv (<=1.8.0-pr4a)/exec RENAME

実際にファイル/フォルダ名の変換を行います。

<u>ここで変換を行うと、以前の環境(1.8.0-pr4a以前)に戻せませんので注意ください。</u>

どうしても戻す必要がある場合、

1.8.1環境で、関係するファイルをWindowsへ保存した後、「だいこん」から一旦削除し、 その後、

1.8.0-pr4a以前の環境に戻し、関係するファイルをWindowsから保存し直してください。

以下のように、変換が行われます。[enter]キーで画面は終了します。

*** sjis to sjis converter ver 1.0.1 **** (c)kirala21 ---- renaming files ---[not renamed]------- [share area]---/test/XXXXXX ---- RENAME [OK] ---- [backup1 area]---/test/XXXXXX ---- RENAME [OK] ---- [backup2 area]---/test/XXXXXX ---- RENAME [OK]

--- renamed files [3] error[0] --*** end ****

チェック時と同様、処理記録は、「■システムログの参照」において、[kjconv.log]を参照してください。

____処理記録(ログ)の削除

3. Kanji Conv /Delete log (kjconv.log)

処理記録ファイル[kjconv.log]は、削除しない限りいつまでも保存されます。 不要になった場合、この処理で削除してください。



http://www.kirala21.com

(C)kirala21 Co., Ltd.

↑メニュー

←前ページ

ブラウザ画面-> アンチウイルス

※この機能は、<u>オプション</u>として提供されます。

※「<u>ディスクモード</u>」でのみ、使用可能です。

※大量のファイルをスキャンする場合、パターンファイルの更新の際、「out of memory」のエラーが、「だいこん」画面、ある いは、messagesログに出る場合があります。「<u>詳細設定</u>」において、十分なスワップファイルを設定してご使用ください。

■アンチウイルス機能により、本サーバーに保管されるファイルについて、ウイルスチェックが行われます。

・Kaspersky Anti-Virus(TM) 組み込んだリアルタイムアンチウイルス機能です。

- ・Windowsファイル共有/Macintosh、FTPからの接続に関して、リアルタイムにウイルスチェックが行われます。
- ・定期スキャン機能により、全ファイルについて、定期ウイルススキャンが可能です。
- ・ウイルスパターンファイルは、自動的にインターネット経由で更新されます。

注意!

「だいこん」1.9より前のバージョンで、Kaspersky Antivirusを使用している場合、使用していたバージョンの「だいこん」で 「アンチウイルス」を「無効」にしてください。 その後、「だいこん」CDをVer1.9以降に入れ替え、「アンチウイルス」を設定 してください。

■有効化

アンチウイルス機能は、以下の手順に従って「有効化」することにより、使用可能な状態になります。

下記画面で、「有効化」ボタンを押してください。設定が始まります。

※処理にはしばらく(数分の場合もあり)かかります。

アンチウイルス機能 Kaspers	ky Anti-Virus(TM)
現在の状態	有効になっていません
	有効化

下記のように、「現在の状態」が、「有効」になれば完了です。

アンチウイルス機能	Kaspersky Anti-Virus(TM)	
現在の状態	有効	
		無効化

※「無効化」により、アンチウイルス機能は、削除されます。

次ページ→

アンチウイルスプロセス起動中です。しばらくお待ちください。

もう一度メニューより「アンチウイルス」を選択してください。

の表示が出た場合、画面左メニューより「アンチウイルス」をクリックして、再度画面を表示させてください。

■ライセンスの登録

プログラムのインストールが完了したら、次にアンチウイルス用、ライセンスキーの登録を行ってください。 ※「だいこん」のライセンスキーと、アンチウイルスのライセンスキーは別のものです。 ※ライセンスキーのご請求/ご購入は、弊社サポート(support@kirala21.com)まで、お願いいたします。

キーファイルの指定

現在この「ライセンスの登録」画面を表示させているパソコンにおいて、ライセンスキーファイルを読める状態に準備したあと、 「参照」ボタンを押し、ライセンスキーファイルを指定してください。「登録/更新」ボタンにより登録されます。

※「未登録」の状態

ライセンス		
ライセンスの状態	期限切れ	詳細表示
キーファイル	ファイルを選択 選択されてい	はせん
	登録 / 更新	

このように、「OK」になれば、ライセンスの登録は完了です。

ライセンス		
ライセンスの状態	OK 有効期限[2016/4/2]	詳細表示
キーファイル	ファイルを選択 選択されていません	
	登録 / 更新	

更新時のご注意

※ライセンスキーが期限切れになった場合「期限切れ」と表示されます。

※更新ライセンスは、必ず、期限切れになる1ヶ月前までにお申し込みください。

※更新ライセンスは、期限切れの前に登録してください。更新にならず、新規ご購入となってしまいます。

※更新時は、新しい「キーファイル」を登録することにより、有効期限が延長されます。

---以下は、ライセンスが有効の場合のみ表示されます。

■プロセス(プログラム)実行状況、WEB管理画面

アンチウイルスプロセス	[実行中] WEB管理[実行中]	再起動
Kaspersky WEB管理	http://192.168.254.102:9080 ※基本的な設定は現在のページのみで可能です。詳細な設定が必 い。 ※現在のページで登録/更新を行うと、設定は上書きされます。 ※共有フォルダは/mnt/hdf/share]以下にあります。	;要な場合使用してくださ

アンチウイルスプロセス

現在のアンチウイルスプログラムの実行状況を表示します。

[実行中] WEB管理画面[実行中]

通常はこのように表示されます。実行されていない場合など、「再起動」により、再起動をさせることができます。

Maspersky WEB管理

Kaspersyオリジナルの管理画面を表示します。

現在の画面のみで必要な登録、更新設定は可能ですが、より詳細な設定、より詳細なログ表示などを行いた場合に使用してください。

リンクをクリックすると表示されます。

初期ユーザーID:admin

初期パスワード:admin

※ユーザーID、パスワードは、「だいこん」とは別管理のものです。

※パスワードは、「Kaspersky WEB管理画面」内で変更が可能です。

Kaspersky WEB管理画面使用上の注意

・「Kaspersky WEB管理画面」の使用方法、設定方法は、画面内「ヘルプ」をご覧ください。

・現在の画面で「登録/更新」を行うと、その設定が優先され、「Kaspersky WEB管理画面」で設定した内容は無効になります。

・スキャン対象フォルダとして、「だいこん」の共有フォルダを指定する場合、"/mnt/hdN/share"以下にある各フォルダを指定してください。

※"N"は、ディスク環境によって変わります。"※共有フォルダは[/mnt/hdN/share]以下にあります"の表示をご覧ください。

■リアルタイムスキャン

「だいこん」に保存されるファイルが感染していなかどうか、ファイルが保存、読込されるタイミングでチェックする方法です。 Windows共有、FTP、Macintochからのアクセス、いずれに対しても有効です。

感染したファイルが広がるのを防ぐためには最も有効ですが、負荷の増大、保存、読込レスポンスの低下が起きますので、必要な フォルダを選んで設定してください。

リアルタイムスキャン 実行状態	 ● 使用する ○ 使用しない [実行中] 	
※以下の設定は「使用する」」	易合のみ必要です	
スキャン対象フォルダ		
全フォルダ	対象フォルダ	
test す 象外ファイル	→ 追加 削除 ← tmp:mdb ※対象からはずすファイルの拡張子を注て区切って入力	
	✓ 書庫ファイル(チェックで対象外)	
スキャン制限	次のサイズを超えるファイルをスキップので無効) 20 MB スキャンが次の時間を超えた場合スキップので無効) 60 秒	
ウイルス検出時の動作	感染が確認された時 推奨処理 ▼感染が疑われる時 推奨処理 ▼	
	登録 / 更新	

項目を変更後「登録/更新」ボタンで、有効となります。

一リアルタイムスキャン

使用する場合、「使用する」を選択してください。

実行状態

リアルタイムスキャン機能が動作している場合「実行中」、動作していない場合「停止中」と表示されます。

※「使用する」になっているのに、「実行中」とならない場合、もう一度「登録/更新」を押すか、「ログの」参照において、 「kavmonitor.log」ファイルの内容をご確認ください。

〇スキャン対象フォルダ

リアルタイムスキャンの対象とするフォルダを指定してください。 左「全フォルダ」の中から選択するものをクリックし、「追加」ボタンを押すことにより「対象フォルダ」となります。 「対象フォルダ」からはずす場合、右「対象フォルダ」でクリックし、「削除」ボタンを押してください。

一対象外ファイル

対象フォルダ内であっても、チェック対象外とするものを指定します。 感染の可能性の低いもの、サイズが大きく、チェックに時間がかかる場合などに指定してください。

拡張子の指定:対象外とするファイルの拡張子を、「:」(半角コロン)で区切って指定してください。 書庫ファイル: zip,lzhなど、書庫ファイルは、内部的に解凍処理を行いチェックを行いますので、処理に時間がかかります。リア ルタイムチェックでは、対象外とすることも可能です。

〇スキャン制限

指定のサイズより大きいファイル、スキャン処理が指定の時間を超えた場合、そのファイルに対するチェックをスキップします。

一 ウイルス検出時の動作

リアルタイムスキャンによりウイルスが検出された場合、感染したファイルをどう扱うかを指定します。

推奨処理・・・検出されたウイルス等の種類により、自動的に、駆除、削除等の処理が行われます。

駆除/削除・・・まずファイルからウイルスを取り除く駆除の処理が行われ、駆除ができない場合、ファイルの削除処理を行いま す。

隔離・・・隔離用フォルダに、そのファイルを移動します。

削除・・・バックアップが隔離用フォルダに作成された後、ファイルを削除します。

何もしない・・・特に処理は行いません。(ログに記録は残ります)

・感染が確認された時

ウイルスパターンチェックにより、感染ファイルと確認された時の動作。

「隔離」あるいは「削除」を推奨。

・感染が疑われる時

ウイルスパターンチェックでは完全に感染とは確認できなかったが、パターンが似通っているなど、

感染していることが疑わしい場合。

「隔離」を推奨。

■一括スキャン

「だいこん」に保存されているファイルが感染していなかどうか、定期的あるいは、指定時に一括してチェックする方法です。 タイミングはリアルタイムに比べ遅れますが、リアルタイムチェック時には発見されなかったウイルスを、最新のパターンファイ ルでチェック、リアルタイムまでは必要ないフォルダのチェック、リアルタイムではチェックされないシステムの領域チェックな ど、リアルタイムチェックと併用することをお勧めいたします。

一括スキャン			
実行状態	[停止中]		
スキャン対象フォルダ			
全フォルダ		対象フォルダ	
test 🔺		test 🔺	
	_→ 1	自加	
	21124		
	月小月末		
T			
対象外ファイル	※対象からはずすファイルの扱	拡張子を出て区切って入力	
	□ 書庫ファイル(チェック	7で対象外)	
スキャン制限	次のサイズを超えるファイルをスキッブ(0で無効) 0 MB		
	スキャンが次の時間を超えた場合スキップので無効) 0 秒		
ウノルフ接山時の新佐	感染が確認された時	推奨処理 ▼	
「ノイリレス1更正時の運加」を	感染が疑われる時	推奨処理 ▼	
	すぐに実行		
	○日毎	日毎(1:毎日) 時 分	
		○月○火○水○木○金○土○日	
	○毎週	時分	
スキャンの実行	○毎月	日時分分	
	_ _	年月日	
	○ 1回のみ	時分	
	○ システム起動時		
	◉ 自動実行しない		
	登録 /	更新	

項目を変更後「登録/更新」ボタンで、有効となります。

実行状態

一括スキャン処理が動作している場合「実行中」、動作していない場合「停止中」と表示されます。
 動作中は「処理中断」ボタンが表示され、途中で処理を中断することができます。
 ※複数の一括スキャン処理を同時に行うと、メモリが多く消費され、パフォーマンも低下します。

〇スキャン対象フォルダ

ー括スキャンの対象とするフォルダを指定してください。 設定方法は「リアルタイムスキャン」と同じです。

一対象外ファイル

対象フォルダ内であっても、チェック対象外とするものを指定します。 設定方法は「リアルタイムスキャン」と同じです。

スキャン制限

指定のサイズより大きいファイル、スキャン処理が指定の時間を超えた場合、そのファイルに対するチェックをスキップします。 設定方法は「リアルタイムスキャン」と同じです。

〇ウイルス検出時の動作

ー括スキャンによりウイルスが検出された場合、感染したファイルをどう扱うかを指定します。 設定方法は「リアルタイムスキャン」と同じです。

スキャンの実行

・「すぐに実行」

すぐに「一括スキャン」処理を始める場合。

対象フォルダ、検出時の動作などは保存された情報を用いますので、内容を変更した場合、一旦「登録/更新」後実行してください。

・定期的な実行

指定時刻に自動的に処理されます。夜間など、負荷の少ない時に実行することをお勧めいたします。

「毎日」「毎週」「毎月」「システム起動時」

を選んだ上で、日付、時刻、曜日などを指定してください。

■パターンファイルの更新

ウイルスの検出するために必要な「パターンファイル」を、Kasperskyサーバーよりダウンロードし最新にします。

パターンファイルに登録されていないウイルスは検知できないので、常に最新に保つことが重要です。

更新のためには、「だいこん」がインターネットに接続され、IPアドレス、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーアドレス (「詳細設定」で設定)などが正しく設定されていることが必要です。

バターンファイルの更新					
実行状態	[停止中]				
バージョン	database:2015/8/14 23:54(GMT) update:2015/8/15 15:18:23				
	バッシブFTP 🕢 使用する				
		□使用する			
ネットワーク設定		rfux			
	フロキンリーハー の使用	ポート	3128		
		認証ID			
		認証PASS			
	すぐに実行				
更新の実行	● 指定時間間隔で自動更新		5	時間毎	
	○ システム起動時に実行				
	○ 自動実行しない	1			
	- <u>-</u> -	録/更新			

項目を変更後「登録/更新」ボタンで、有効となります。

_____実行状態

パターンファイルの更新処理が動作している場合「実行中」、動作していない場合「停止中」と表示されます。

〇バージョン

現在のパターンファイルがいつ更新されたものかを表示します。 databse: 現在のパターンファイルの日付時刻です(GMTでの表示、JST(日本時間)は、-9時間です) update: 更新が行われた日付時刻です。

〇ネットワーク設定

・パッシブFTP

パッシブFTPモードで接続する場合、使用するにチェックを入れてください。(通常はチェック)

・プロキシサーバー

FTPまたはHTTPプロトコルでのインターネット接続がプロキシサーバーを経由する場合、指定してください。

使用する場合「使用する」にチェックを入れ、必要な情報を入力してください。

- ※「アドレス」は、IPアドレスまたは、サーバー名を入力。
- ※「認証ID/PASS」は認証が必要な場合のみです。

●更新の実行

- ・「すぐに実行」
- すぐに「パターンファイル更新」処理を始める場合。

ネットワーク設定どは保存された情報を用いますので、内容を変更した場合、一旦「登録/更新」後実行してください。

・定期的な実行

「指定時間間隔で自動更新」「システム起動時に実行」「自動実行しない」を選択。 常にパターンファイルを最新にするために、「指定時間間隔で自動更新」をお勧めいたします。 5時間など、更新間隔を指定してください。

「システム起動時に実行」は、マシン起動時に自動的に更新を行う指定です。

■隔離フォルダの管理/ログの参照

隔離フォルダの管理	
現在の使用状態	ファイル数: 2 使用容量: 136Byte 最終処理日: 2015-11-12 23:27:21 内容表示
ファイルの処理	指定ファイルを復帰 ID: ● 以前の場所 ● 共有フォルダ test ▼ ※共有フォルダの場合、指定フォルダのルートフォルダに*.res'名で復帰
ログの参照	
ログファイルの指定	bl_20151111_222241167_1061.log.0000
	参照実行 ダウンロード

一隔離フォルダの管理

「リアルタイムスキャン」「一括スキャン」において、「隔離」/「バックアップ」されたファイルの管理を行います。

・現在の使用状況

現在「隔離」/「バックアップ」されているファイルの数、総容量、最終処理日を表示します。

「内容表示」:ファイルの一覧表示を行います。

*** Anti-Virus Contents of quarantine folder ***

 ID assign share
 file name
 type
 threat
 threat name
 add time

 1
 data
 test
 ???m?F 920765.crdownload
 Backup
 Virware
 EICAR-Test-File
 2015-11-12
 23:26:03

 2
 data
 test
 ???m?F 177635.crdownload
 Backup
 Virware
 EICAR-Test-File
 2015-11-12
 23:27:21

*** End Anti-Virus Contents ***

ID: ファイルのID番号です。「指定ファイルを復帰」の際、この番号を指定します。

assign: data/backup1/backup2の割り当て。

share: 共有フォルダ名。

filename: ファイル名(文字化けして正しく表示できない場合があります)

type: Backup 削除前のバックアップ

Infected 感染したファイル

Error スキャン中エラー

PasswordProtected パスワード保護されたファイル

Corrupted 破損したファイル

Curable 駆除できる可能性のあるファイル

Clean 感染していないファイル

UserAdded ユーザーにより追加されたファイル

threat: 脅威の内容

threat name: 脅威の名前

add time: 隔離フォルダに追加された時刻

・ファイルの処理

「指定ファイルを復帰」:上記「内容表示」で表示したIDを指定し、ファイルを復帰します。

復帰場所は「以前の場所」か、「共有フォルダ」の選択が可能です。

- ・フォルダ構成の変更により、以前の場所に戻せない場合、「共有フォルダ」を指定してください。
- ・「共有フォルダ」をし指定した場合、指定の共有フォルダのルートフォルダに、

[ファイル名].resという名前で復帰します。

「全削除」:隔離フォルダ内の全ファイルを一斉に削除します。

()ログの参照

参照するログファイルを選んで、「参照実行」ボタンを押してください。

また、「ダウンロード」で、ログファイルをダウンロードすることができます。

ログ内容は「Kaspersky WEB管理画面」の方が、より見やすい形で表示されます。



http://www.kirala21.com

(C)kirala21 Co., Ltd.